

Color Printia LASER

B5WY-1571-01 Z0



Color Printia LASER XL シリーズ

ソフトウェアガイド

カラーページプリンタ XL-C2340

FUJITSU

本書の見かた

製品の呼び方

本文中では、製品名称などを次のように略して表記します。

製品名称	本文中の表記
Windows® 7 Ultimate 64 ビット版	Windows 7
Windows® 7 Enterprise 64 ビット版	
Windows® 7 Professional 64 ビット版	
Windows® 7 Home Premium 64 ビット版	
Windows® 7 Ultimate 32 ビット版	
Windows® 7 Enterprise 32 ビット版	
Windows® 7 Professional 32 ビット版	
Windows® 7 Home Premium 32 ビット版	
Windows® 7 Starter	
Windows Vista® Ultimate 64 ビット版	Windows Vista
Windows Vista® Enterprise 64 ビット版	
Windows Vista® Business 64 ビット版	
Windows Vista® Home Premium 64 ビット版	
Windows Vista® Home Basic 64 ビット版	
Windows Vista® Ultimate 32 ビット版	
Windows Vista® Enterprise 32 ビット版	
Windows Vista® Business 32 ビット版	
Windows Vista® Home Premium 32 ビット版	
Windows Vista® Home Basic 32 ビット版	
Microsoft® Windows Server® 2008 R2, Standard	Windows Server 2008 R2
Microsoft® Windows Server® 2008 R2, Enterprise	
Microsoft® Windows Server® 2008, Standard (64-bit)	
Microsoft® Windows Server® 2008, Standard without Hyper-V™ (64-bit)	
Microsoft® Windows Server® 2008, Enterprise (64-bit)	
Microsoft® Windows Server® 2008, Enterprise without Hyper-V™ (64-bit)	
Microsoft® Windows Server® 2008, Standard (32-bit)	Windows Server 2008 (R2 以外)
Microsoft® Windows Server® 2008, Standard without Hyper-V™ (32-bit)	
Microsoft® Windows Server® 2008, Enterprise (32-bit)	
Microsoft® Windows Server® 2008, Enterprise without Hyper-V™ (32-bit)	
Windows® XP Professional x64 Edition	Windows XP
Windows® XP Professional	
Windows® XP Home Edition	
Microsoft® Windows Server® 2003 R2, Standard x64 Edition	
Microsoft® Windows Server® 2003 R2, Enterprise x64 Edition	
Microsoft® Windows Server® 2003 R2, Standard Edition	
Microsoft® Windows Server® 2003 R2, Enterprise Edition	
Microsoft® Windows Server® 2003, Standard x64 Edition	
Microsoft® Windows Server® 2003, Enterprise x64 Edition	
Microsoft® Windows Server® 2003, Standard Edition	
Microsoft® Windows Server® 2003, Enterprise Edition	

マーク



プリンタを正しく動作させるための注意や制限です。
誤った操作をしないため、必ずお読みください。



プリンタを使用するときに知っておくと便利なことや参考になること
です。
お読みになることをお勧めします。

画面例、イラストについて

- このマニュアルに掲載されている画面例の IP アドレスやホスト名などは一例であり、実際の入力内容を表すものではありません。
- 機種、ソフトウェアのバージョン、OS によっては、画面例とは表示内容が一部異なることがあります。
- このマニュアルに掲載されているプリンタのイラストは、説明の都合上、本来接続されているケーブル類を省略していることがあります。

搭載ソフトウェアの IPv6 対応について



本プリンタは、IPv6 Ready Logo Phase 1 テストに合格しています。

商標および著作権について

Microsoft、Windows、Windows Vista、Windows Server は、米国 Microsoft Corporation および / またはその関連会社の商標です。

その他の各製品名は、各社の商標、または登録商標です。

その他の各製品は、各社の著作物です。

目 次

本書の見かた	1	プリンタの追加	15
製品の呼び方	1	ジョブの自動転送	16
マーク	1	複数のプリンタで同時に印刷する	17
画面例、イラストについて	1	Color Printia LASER InternetService を起動する	19
搭載ソフトウェアの IPv6 対応について	1	コメントを追加する	20
商標および著作権について	1	自動的に IP アドレス再設定	21
目 次	2	削除します	21
1 ソフトウェア	5	Network Extension	22
添付 CD-ROM のご紹介	6	動作環境	22
「Color Printia LASER プリンタユーティリティ」のメニュー	6	インストールします	22
カラーユーティリティ	8	プリンタの設定を確認します	23
カラー調整ユーティリティ	8	オプションの自動設定をします	24
色見本印刷ユーティリティ	8	削除します	24
動作環境	8	Color Printia LASER InternetService	25
カラーユーティリティをインストールします	9	動作環境	25
起動します	9	起動します	25
削除します	9	設定します	26
ネットワークユーティリティ	10	パスワードの設定	27
FUJITSU LPR ユーティリティ (11 ページ)	10	ステータスウィンドウを使います	34
Network Extension (22 ページ)	10	機能説明	34
Color Printia LASER InternetService (25 ページ)	10	表示例	34
ユーティリティの機能一覧	10	2 いろいろな用紙に印刷するための設定	35
FUJITSU LPR ユーティリティ	11	はがき、往復はがき、封筒に印刷したい	36
動作環境	11	ラベル紙に印刷したい	38
インストールします	11	3 プリンタドライバの機能と便利な印刷機能	41
起動します	13	[設定] ダイアログ	42
リモートプリントの設定	13	[ユーザ定義サイズの設定] ダイアログ	42
ファイルのダウンロード	14	[給紙オプション] ダイアログ	43
ジョブの表示、削除と手動転送	14	[通常印刷] ダイアログ	44
プリンタのステータス	15		

〔製本印刷〕 ダイアログ	44	印刷データをファイルに出力したい	72
〔ポスター印刷〕 ダイアログ	45	4 カラーについて	73
〔カスタム設定〕 ダイアログ	45	カラー・マッチングについて	74
〔印刷オプション〕 ダイアログ	46	カラー・マッチング	74
〔ウォーターマーク〕 ダイアログ	46	利用できるカラーマネージメントシステム	74
〔フォント〕 ダイアログ	47	カラー・マッチングする（カラー調整）	75
〔その他〕 ダイアログ	48	パレットカラーを変更してカラー・マッチングしたい	76
〔カラー〕 ダイアログ	49	ガンマ値や色相を変更してカラー・マッチングしたい	81
〔カラー調整 詳細設定〕 ダイアログ	49	カラー調整の設定をファイルに保存したい	84
〔カラー〕 ダイアログ（モノクロ詳細設定）	50	カラー調整の設定をファイルから読み込みたい	86
〔デバイスオプション〕 ダイアログ	51	カラー調整の設定を削除したい	88
複数ページを1枚に印刷したい	52	黒の部分の仕上がりを変更したい	89
複数枚に拡大して印刷したい（ポスター印刷）	53	モノクロ（白黒）で印刷したい	90
任意の用紙サイズ（ユーザ定義サイズ）に印刷したい（カスタムページ・長尺印刷）	54	文字と背景の間のすき間をなくしたい（ブラックオーバープリント）	91
両面印刷したい	55	色見本印刷して希望色のRGB値を決めたい	92
モノクロ（白黒）の印刷速度を変更したい	56	特定の色味を強くしたい、または弱くしたい	95
トレイを自動的に選択したい	57	5 プリンタメニューの使い方について	97
表紙のみ別のトレイから給紙したい（表紙印刷）	58	省電力モード（パワーセーブ）に入るまでの時間を変更したい	98
同じ用紙サイズを大量に印刷したい	59	スリープモードに入るまでの時間を変更したい	99
用紙サイズを変更したい	60	印刷をキャンセルしたい	102
ウォーターマークを印刷したい（スタンプ印刷）	61	コンピューターからプリンタの状態を確認したい	103
文書を部単位で印刷したい	62	コンピューターからプリンタの設定を変更したい	104
小冊子を作りたい（製本印刷）	63	プリンタ内蔵フォントを確認したい	105
印刷品位を変更したい	65	プリンタの操作パネルでIPアドレスを設定したい	106
細線がかずれるのを防ぎたい	66	6 ネットワーク機能について	107
100%の黒を黒トナーのみで印刷したい	67	ネットワーク設定項目の一覧	108
プリンタフォントに置き換えて印刷したい	68	ネットワーク機能を初期化します	116
コンピューターのフォントで印刷したい	69	ネットワークの設定情報（Network Information）を印刷します	117
プリンタドライバの設定を保存して、繰り返し使用したい	70		
トナーをセーブして試し印刷したい	71		

IP アドレスの設定	118	Windows 7/Windows Vista/ Windows Server 2008 に関する制限事項	169
IP アドレスとは	118	Windows XP Service Pack2/ Windows Server 2003 Service Pack1 に 関する制限事項	170
コンピューターの IP アドレス	118		
プリンタの IP アドレスを確認します	119		
プリンタの IP アドレスを設定します	120		
通信を暗号化します (SSL/TLS)	121	付 錄	171
設定方法	121	インターフェース仕様	172
証明書作成手順	121	USB インタフェース仕様	172
使用方法	124	ネットワークインターフェース仕様	172
IP アドレスでのアクセス制限機能 (IP フィルタ) を使います	128		
起動と設定方法	128		
MAC アドレスでのアクセス制限機能を使います	131		
起動と設定方法	131		
メール送信機能 (SMTP) を使います	135		
電子メール送信の設定をします	135		
発生した障害を定期的に通知します	138		
障害が発生したことを通知します	140		
SNMP を使います	143		
IPv6 を使います	144		
IPv6 の設定をします	144		
IPv6 アドレスを確認します	146		
OS 標準のインストーラでインストールします (RAW 印刷／LPR 印刷)	147		
OS 標準のインストーラでインストールします (IPP 印刷)	154		
7 困ったときには	159		
Windows から印刷できない	160		
ネットワーク経由で印刷できない	161		
プリンタドライバを削除するには	162		
アンインストーラを使用して削除する場合	162		
アンインストーラを使用せずに削除する場合	163		
プリンタドライバを更新するには	166		
プリンタドライバのバージョンを確認するには	168		

1 ソフトウェア

添付 CD-ROM のご紹介	6
カラーユーティリティ	8
ネットワークユーティリティ	10
FUJITSU LPR ユーティリティ	11
Network Extension	22
Color Printia LASER InternetService	25

添付 CD-ROM のご紹介

本製品には「Color Printia LASER プリンタユーティリティ」CD-ROM が添付されています。

この CD-ROM には、プリンタドライバ、ネットワークに接続して使用するため必要なソフトウェア、プリンタをより快適に使用するためのソフトウェアが格納されています。

「Color Printia LASER プリンタユーティリティ」のメニュー

「Color Printia LASER プリンタユーティリティ」をコンピューターにセットすると、次の「Color Printia LASER プリンタユーティリティ セットアップ」ウィンドウが自動的に表示されます。ウィンドウのメニューから、ソフトウェアのインストールなどが行えます。



OS により、表示されるメニューが一部異なります。

① はじめにお読みください

CD-ROM に格納されているソフトウェアの留意事項が表示されます。

② プリンタドライバのインストール

プリンタドライバをインストールします。



お使いの OS が Windows 7/Windows Server 2008 R2 で、USB 接続でプリンタを使用する場合は、インストールの途中で「USB ケーブルを接続してください」と表示されてから、コンピューターとプリンタを接続してください。詳しくは、「USB 接続で Windows にセットアップします」(ハードウェアガイド) をご覧ください。

③ FUJITSU LPR ユーティリティ

LPR 印刷時に、プリンタの状態を確認したり、ジョブを管理したりするためのツールをインストールします。「FUJITSU LPR ユーティリティ」(11 ページ) 参照

④ Network Extension

本製品に取り付けられたオプションの情報やプリンタの情報を取得し、プリンタの「プロパティ」ウィンドウ内に反映するためのツールをインストールします。「Network Extension」(22 ページ) 参照

⑤ 色見本印刷ユーティリティ

プリンタで RGB 色の色見本を印刷するためのユーティリティです。
「色見本印刷ユーティリティ」(8 ページ) 参照

⑥ カラー調整ユーティリティ

ディスプレイに表示される色とプリンタで出力される色が近づくように色を調整するソフトウェアです。「カラー調整ユーティリティ」(8 ページ) 参照

⑦ PrintBarrier お試し版

「PrintBarrier お試し版」をインストールします。
詳しくは、「Color Printia LASER プリンタユーティリティ」の「PBARRIER」フォルダーの「README.TXT」をご覧ください。

⑧ RepoAgent お試し版

「Repo Agent お試し版」をインストールします。
詳しくは、「Color Printia LASER プリンタユーティリティ」の「REPOAGNT」フォルダーの「README.TXT」をご覧ください。

⑨ かんたんバーコード Lite

「かんたんバーコード Lite」をインストールします。

詳しくは、「Color Printia LASER プリンタユーティリティ」の「BARCODE」フォルダーの「README.TXT」をご覧ください。

⑩ 画面で見るマニュアル

「画面で見るマニュアル」を選択するウィンドウが表示されます。



- ・「Color Printia LASER プリンタユーティリティ セットアップ」ウィンドウが自動的に表示されない場合は、CD-ROM のアイコンを右クリックして、表示されるメニューから [開く] をクリックして内容を表示し、「XLSTART.EXE」をダブルクリックしてください。
- ・Windows 7/Windows Vista/Windows Server 2008 の場合、自動再生時や「XLSTART.EXE」をダブルクリックしたときに、「自動再生」ウィンドウが表示されます。実行されるプログラムが「XLSTART.EXE」であることを確認し、「Xlstart.exe の実行」をクリックしてください。



カラーユーティリティ

カラー調整ユーティリティ



プリンタのカラーマッチングを調整します。パレットカラーの出力色の調整や、ガンマ値や原色の色相・色彩を調整することによって出力色の全体傾向を変更することができます。

色見本印刷ユーティリティ



プリンタで RGB 色の見本を印刷します。印刷された色見本を見て、希望する色をアプリケーションでどのような RGB 色の指定をするか確認することができます。

動作環境

Windows 7/Windows Vista/Windows Server 2008/Windows XP/Windows Server 2003 日本語版の動作するコンピューター



セットアップにはコンピューターの管理者の権限が必要です。

カラーユーティリティをインストールします

- ① プリンタに添付の CD-ROM 「Color Printia LASER プリンタユーティリティ」をコンピューターにセットします。

「Color Printia LASER プリンタユーティリティ セットアップ」ウィンドウが自動的に表示されます。



「Color Printia LASER プリンタユーティリティ セットアップ」ウィンドウが自動的に表示されない場合は、CD-ROMのアイコンを右クリックして、表示されるメニューから[開く]をクリックして内容を表示し、「XLSTART.EXE」をダブルクリックしてください。

- ② 「カラー調整ユーティリティ」(または「色見本調整印刷ユーティリティ」)をクリックします。



(OS により表示されるメニューが一部異なります)



Windows 7/Windows Vista/Windows Server 2008 で「ユーザー アカウント制御」ウィンドウが表示されたら、「はい」または「続行」をクリックします。

「使用許諾契約」が表示されたら、内容をよくお読みください。「はい」(または「使用許諾契約の全条項に同意します」)をクリックすると「インストール先の選択」ウィンドウが表示されます。

- ③ 画面の指示に従ってセットアップします。
 ④ 画面の右上の☒をクリックし、画面を閉じます。

起動します

- ① [スタート] - [すべてのプログラム] - [FUJITSU] - 起動したい「カラー調整ユーティリティ」(または「色見本調整印刷ユーティリティ」)を選択します。

詳しくは

- ・「色見本印刷して希望色の RGB 値を決めたい」(92 ページ)
- ・「パレットカラーを変更してカラーマッチングしたい」(76 ページ)
- ・「ガンマ値や色相を変更してカラーマッチングしたい」(81 ページ)

をご覧ください。

削除します

Windows 7/Windows Vista/Windows Server 2008 の場合

- ① [スタート] - [コントロールパネル] を選択し、[プログラムのアンインストール] をクリックします。
 ② 削除するユーティリティを選択し、[アンインストール] をクリックします。
 ③ 「ユーザー アカウント制御」ウィンドウが表示されたら、「はい」または「続行」をクリックします。
 ④ 画面に従って削除します。

Windows XP/Windows Server 2003 の場合

- ① [スタート] - [コントロールパネル] を選択し、[プログラムの追加と削除] をクリックします。
 ② 削除するユーティリティを選択し、[削除] をクリックします。
 ③ 画面に従って削除します。



ネットワークユーティリティ

ネットワーク接続時に使用するユーティリティです。

必要に応じてインストールしてください。

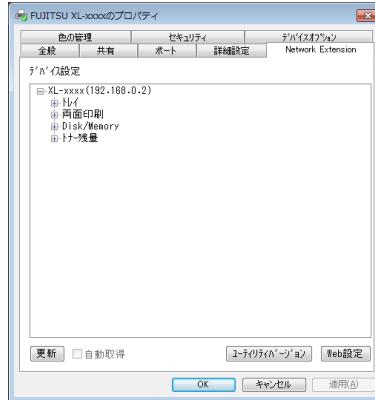
FUJITSU LPR ユーティリティ (11 ページ)



ネットワーク接続での印刷、印刷ジョブの管理、プリンタのステータスを確認することができます。

プリンタ検索機能、ジョブ転送機能、同報印刷機能などを装備しています。

Network Extension (22 ページ)



プリンタドライバからプリンタの設定項目を確認したり、プリンタのオプション構成の設定ができます。

オプション構成の設定変更は「デバイスオプション」タブから行います。

Color Printia LASER InternetService (25 ページ)



Web ブラウザーから、プリンタのメニュー やネットワークの設定を遠隔操作できます。

FUJITSU LPR ユーティリティ

ネットワーク接続での印刷、印刷ジョブの管理、プリンタのステータス確認ができます。

動作環境

Windows 7/Windows Vista/Windows Server 2008/Windows XP/Windows Server 2003 日本語版の動作するコンピューター



- ・セットアップにはコンピューターの管理者の権限が必要です。
- ・LPR ユーティリティを使用して追加したプリンタは、共有プリンタとして利用できません。

インストールします

- ① プリンタの電源を ON にします。
- ② プリンタに添付の CD-ROM 「Color Printia LASER プリンタユーティリティ」をコンピューターにセットします。

「Color Printia LASER プリンタユーティリティ セットアップ」ウィンドウが自動的に表示されます。



「Color Printia LASER プリンタユーティリティ セットアップ」ウィンドウが自動的に表示されない場合は、CD-ROM のアイコンを右クリックして、表示されるメニューから [開く] をクリックして内容を表示し、「XLSTART.EXE」をダブルクリックしてください。

- ③ [FUJITSU LPR ユーティリティ] を選択する



(OS により表示されるメニューが一部異なります)



Windows 7/Windows Vista/Windows Server 2008 で「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示されたら、「はい」または「続行」をクリックします。

「使用許諾契約」が表示されたら、内容をよくお読みください。「使用許諾契約の全条項に同意します」を選択し、「次へ」をクリックします。

以降は画面の指示に従ってインストールします。

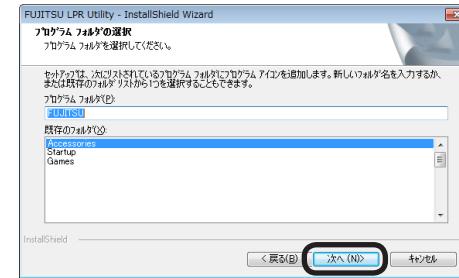
- ④ すでにFUJITSU LPR ユーティリティがインストールされて起動している場合、終了する画面が表示されるので、[はい] をクリックします。
- ⑤ セットアッププログラムが開始されるので、[次へ] をクリックします。
- ⑥ インストール先とスプール先のフォルダを確認し、[次へ] をクリックします。



- ⑦ [スタートアップに登録する] にチェックが入っていることを確認し、[次へ] をクリックします。



- ⑧ プログラムフォルダ名を確認し、[次へ] をクリックします。



- ⑨ [完了] をクリックします。



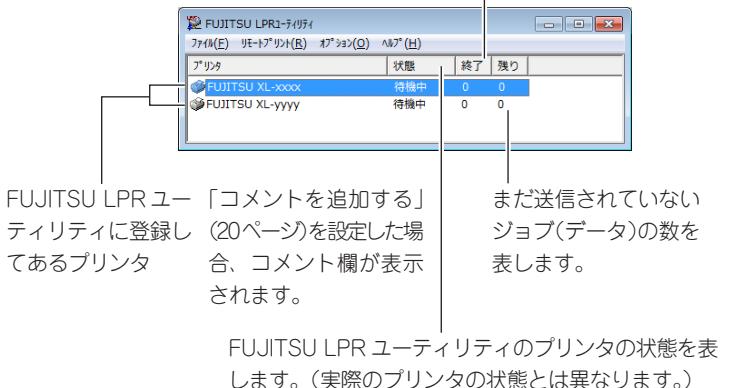
以上でインストールは完了です。

起動します

- ① [スタート] - [すべてのプログラム] - [FUJITSU] - [FUJITSU LPR ユーティリティ] を選択します。

下のような画面が表示されます。

「複数のプリンタで同時に印刷する」
(17 ページ) を設定した場合に表示されます。



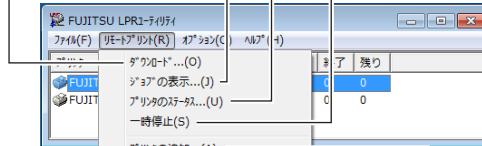
リモートプリントの設定

印刷ジョブを表示したり削除します。複数台の XL-C2340 を使用していれば、ジョブを手動で転送することができます。

ファイルをプリンタに
ダウンロードします。

プリンタのパネルに表示されるステータス
をコンピューター上で確認することができます。

ジョブを一時停止します。



FUJITSU LPR ユーティリティに
登録されているプリンタを削除しま
す。

FUJITSU LPR ユーティリティに
プリンタのIPアドレスを変
更したり、ジョブの自動転送
を設定します。

プリンタのネットワーク設定や、メ
ニュー設定を行うための Web ブラ
ウザを起動します。



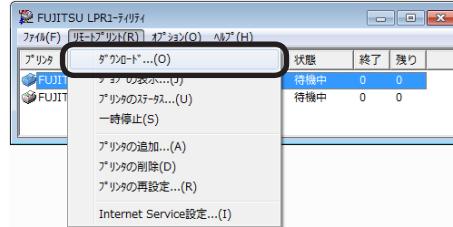
【リモートプリンタ】メニューの [プリンタの追加]、[プリンタの削
除]、[プリンタの再設定] および、[オプション] メニューの [設定]
を選択したときに、「この処理を行う権限がありません」と表示さ
れた場合は、「FUJITSU LPR ユーティリティ」を一度終了（画面右下
の通知領域に常駐している場合も終了）させて、次の手順で起動し
直してから設定してください。

[スタート] - [すべてのプログラム] - [FUJITSU] - [FUJITSU LPR ユ
ーティリティ] の順に選択し、右クリックして表示されるメニューか
ら [管理者として実行] をクリックします。

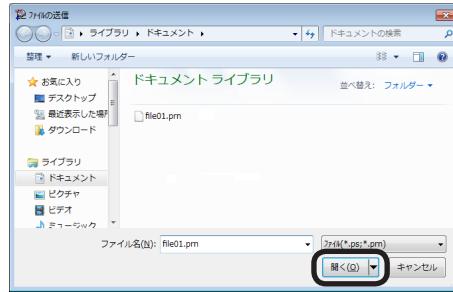
ファイルのダウンロード

ファイルをプリンタにダウンロードすることができます。

- ① プリンタを選択します。
- ② [リモートプリント] メニューの [ダウンロード] を選択します。



- ③ ダウンロードするファイルを選択し、[開く] をクリックします。



ファイルのダウンロードが開始されます。

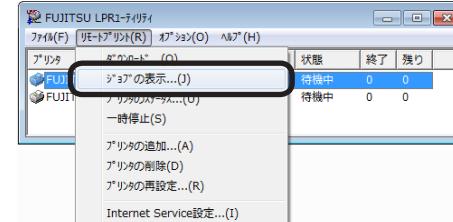
ジョブの表示、削除と手動転送

印刷ジョブを表示したり、削除することができます。

また、プリンタが使用中やオフライン、用紙切れなどで印刷ができない場合、印刷ジョブを他のプリンタへ転送することができます。

- 注.**
- ・他社プリンタへは転送できません。
 - ・同じプリンタ機種名へ転送してください。

- ① プリンタを選択します。
- ② [リモートプリント] メニューの [ジョブの表示] を選択します。



ジョブが表示されます。

- ③ 削除したい印刷ジョブを選択し、[ジョブ] メニューの [削除] を選択します。



ジョブが削除されます。

- ④ 転送したい印刷ジョブを選択し、[ジョブ] メニューの [転送] で転送先のプリンタを選択します。



転送先のプリンタにジョブが送られます。



転送できるプリンタは、あらかじめ FUJITSU LPR ユーティリティにセットアップされている必要があります。

プリンタのステータス

プリンタのステータスを表示させることができます。

- ① プリンタを選択します。

- ② [リモートプリント] メニューの [プリンタのステータス] を選択します。



プリンタのステータスが表示されます。



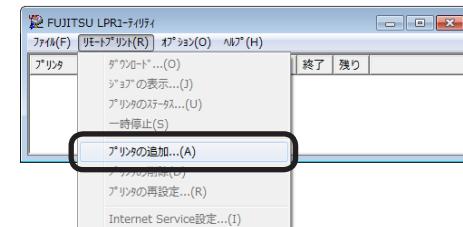
[ジョブ表示] ダイアログの「ステータス」でも確認することができます。

プリンタの追加

印刷先のポートを FUJITSU LPR ポートに変更することができます。

- すでに FUJITSU LPR ユーティリティに登録されているプリンタは設定できません。ポートを変更したい場合は、「プリンタの再設定」を選択してください。

- ① [リモートプリント] メニューの [プリンタの追加] を選択します。



- ② [プリンタ] を選択し、[IP アドレス] にプリンタの IP アドレスを入力し、[OK] をクリックします。

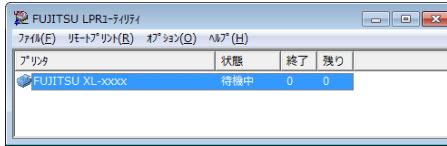


[プリンタ] には、「プリンタと FAX」フォルダーにプリンタドライバーが追加されている場合のみ表示されます。ネットワークプリンタに設定している場合は表示されません。



[検索] をクリックしてネットワーク上の XL-C2340 を検索することもできます。

メインウィンドウにプリンタが追加されます。



ジョブの自動転送

プリンタが使用中やオフライン、用紙切れなどで印刷ができない場合、自動的に印刷ジョブを他のプリンタへ転送することができます。

- 注! ● 他社プリンタへは転送できません。
- 必ず、同じプリンタ機種名へ転送してください。

① プリンタを選択します。

② [リモートプリント] メニューの [プリンタの再設定] を選択します。

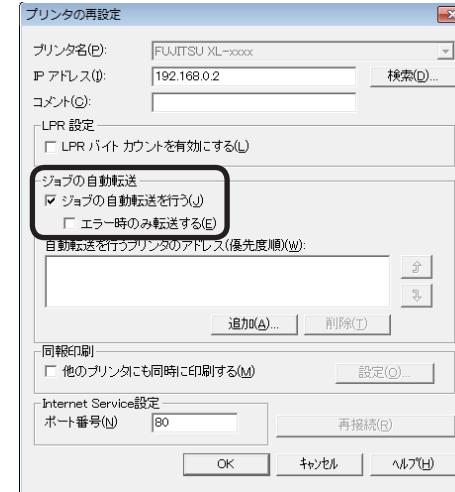


③ [詳細設定] をクリックします。

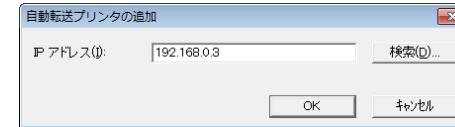


④ [ジョブの自動転送を行う] にチェックを付けます。

プリンタが「オフライン」や「用紙切れ」などのエラーのときのみ転送したい場合は、[エラー時のみ転送する] にもチェックを付けます。



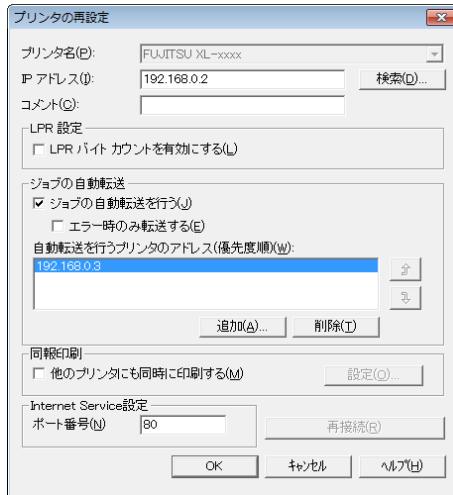
⑤ [追加] をクリックし、転送先の IP アドレスを設定します。



メモ

【検索】をクリックして、ネットワーク上の XL-C2340 を検索することができます。

⑥ 転送先の候補の数だけ、⑤の操作を繰り返します。



× ۰

転送先の優先順を変更するには、[自動転送を行うプリンタのアドレス]から優先順を変更するプリンタを選択し、横の[↑]ボタン、または[↓]ボタンをクリックします。([↑]ボタンをクリックすると優先度が上がり、[↓]ボタンをクリックすると優先度が下がります)。

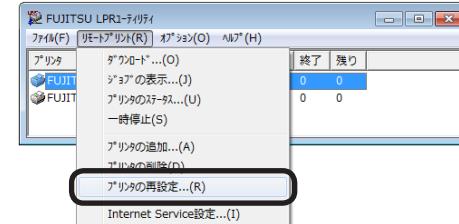
⑦ [OK] をクリックします。

複数のプリンタで同時に印刷する

一度の印刷指示で複数のプリンタに印刷することができます。

注! 同時に印刷するプリンタは、必ず同じプリンタ機種を指定してください。

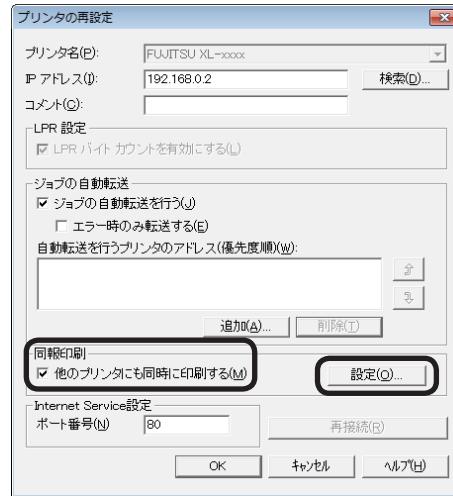
- ① プリンタを選択します。
 - ② [リモートプリント] メニューの [プリンタの再設定] を選択します。



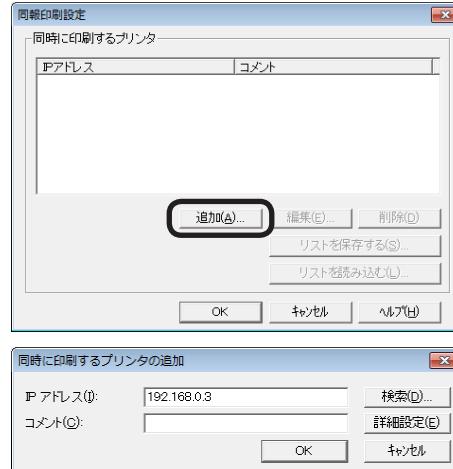
- ③ [詳細設定] をクリックします。



- ④ [他のプリンタにも同時に印刷する] にチェックを付け、[設定] をクリックします。



- ⑤ [追加] をクリックし、同時に印刷するプリンタの IP アドレスを設定します。



メモ 同時に印刷するプリンタに対しても、コメントを追加することができます。
(20 ページ)

- ⑥ 追加したいプリンタの数だけ、⑤の操作を繰り返します。

メモ

- [リストを保存] をクリックすることにより、追加したプリンタの情報を保存することができます。
- 保存したプリンタの情報は、[リストを読み込む] をクリックすることにより、読み込みや削除することができます。

- ⑦ [OK] をクリックします。

Color Printia LASER InternetService を起動する

FUJITSU LPR ユーティリティより、プリンタのネットワーク設定や、メニュー設定を行うための Web ブラウザーを起動します。

メモ 各設定の設定方法については「Color Printia LASER InternetService」(25 ページ)をご覧ください。

① プリンタを選択します。

② [リモートプリント] メニューの [Internet Service 設定] を選択します。



メモ Web ポート番号が変更されている場合は、FUJITSU LPR ユーティリティのポート番号の設定を次の手順で変更してください。

① プリンタを選択します。

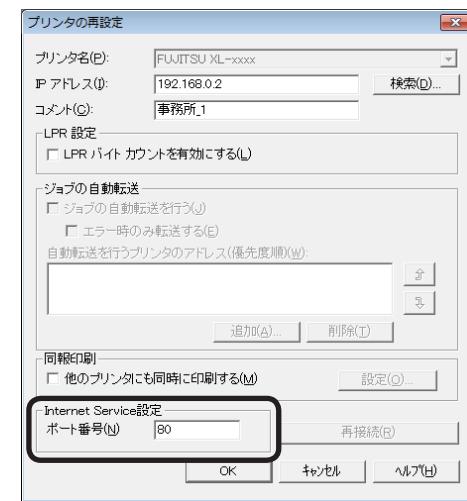
② [リモートプリント] メニューの [プリンタの再設定] を選択します。



③ [詳細設定] をクリックします。



④ [ポート番号] に、Web ポート番号を入力します。



⑤ [OK] をクリックします。

コメントを追加する

FUJITSU LPR ユーティリティに追加したプリンタへ、コメントを追加することができます。

メモ プリンタの設置場所、プリンタのオプション装置などを入力すると便利です。

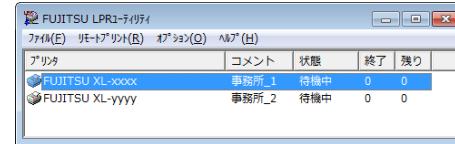
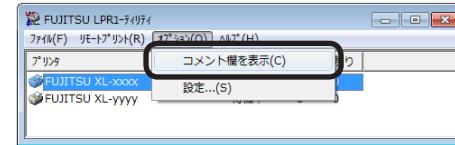
- ① プリンタを選択します。
- ② [リモートプリント] メニューの [プリンタの再設定] を選択します。



- ③ [コメント] にコメントを入力し、[OK] をクリックします。



- ④ [オプション] メニューの [コメント欄を表示] を選択します。



自動的に IP アドレス再設定

DHCP サーバーに接続しプリンタの電源を入れるたびにプリンタの IP アドレスが変更になる場合、自動的に変更された IP アドレスを検索し再設定することができます。

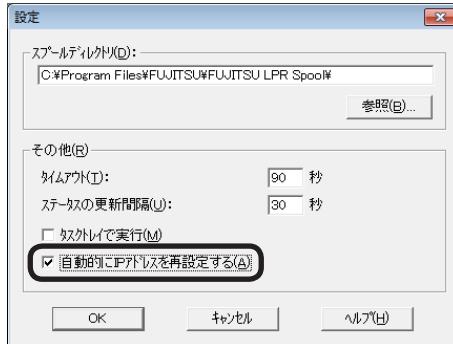


検索対象は、FUJITSU LPR ユーティリティの検索範囲設定に従います。

- ① [オプション] メニューの [設定] を選択します。



- ② [自動的に IP アドレスを再設定する] にチェックを付けます。

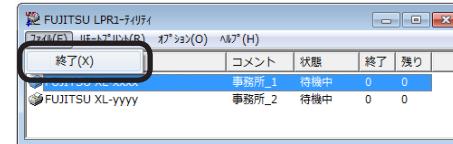


- ③ [OK] をクリックします。

削除します

FUJITSU LPR ユーティリティを削除（アンインストール）するときは、次の操作を行います。

- ① [ファイル] メニューの [終了] を選択します。



- ② [スタート] - [すべてのプログラム] - [FUJITSU] - [FUJITSU LPR ユーティリティ] - [FUJITSU LPR ユーティリティの削除] を選択します。

- ③ [はい] をクリックします。



削除が開始されます。



Network Extension

プリンタドライバからプリンタの設定項目を確認したり、プリンタのオプション構成の設定が容易にできます。

動作環境

Windows 7/Windows Vista/Windows Server 2008/Windows XP/Windows Server 2003 日本語版が動作しているコンピューター
TCP/IP で動作しているコンピューター

- ・ プリンタドライバと連動して動作するため、プリンタドライバのインストールが必要です。
- ・ TCP/IP のネットワーク接続でプリンタドライバのインストールを行うと、自動的に Network Extension がインストールされます。
- ・ IPv4 アドレス環境で、プリンタドライバの接続先が次の場合にのみ動作します。
 - FUJITSU LPR Port
 - Standard TCP/IP Port
- ・ セットアップにはコンピューターの管理者の権限が必要です。



インストールします

- ① プリンタの電源を ON にします。
- ② プリンタに添付の CD-ROM 「Color Printia LASER プリンタユーティリティ」をコンピューターにセットします。

「Color Printia LASER プリンタユーティリティ セットアップ」ウィンドウが自動的に表示されます。



「Color Printia LASER プリンタユーティリティ セットアップ」ウィンドウが自動的に表示されない場合は、CD-ROM のアイコンを右クリックして、表示されるメニューから [開く] をクリックして内容を表示し、「XLSTART.EXE」をダブルクリックしてください。



- ・ Windows 7/Windows Vista/Windows Server 2008 で、[自動再生] が表示されたら [Startup.exe の実行] をクリックします。
- ・ Windows 7/Windows Vista/Windows Server 2008 で「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示されたら、[はい] または [続行] をクリックします。

- ③ [Network Extension] を選択します。



(OS により表示されるメニューが一部異なります)

- 注!** Windows 7/Windows Vista/Windows Server 2008 で「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示されたら、「はい」または「続行」をクリックします。
「使用許諾契約」が表示されたら、内容をよくお読みください。
[はい] をクリックすると、インストールを開始します。

以降は画面の指示に従ってインストールします。

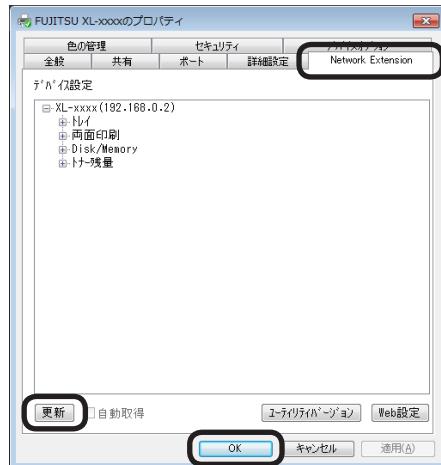
- ④ [完了] をクリックします。

以上でインストールは完了です。

プリンタの設定を確認します

接続しているプリンタの設定内容などが確認できます。

- 注!** Network Extension をインストールしても、動作環境に一致しない場合は [オプション] タブは表示されません。



- ① Windows 7 では [スタート] - [デバイスとプリンター] を選択します。

Windows Vista/Windows Server 2008 では [スタート] - [コントロールパネル] を選択し、[プリンタ] をクリックします。
Windows XP/Windows Server 2003 では [スタート] - [プリンタとFAX] を選択します。

- ② [FUJITSU XL-C2340] アイコンを右クリックし、[プロパティ] (Windows 7 では [プリンタのプロパティ]) を選択します。

- ③ [NetworkExtension] タブをクリックします。

- ④ [更新] ボタンをクリックします。
「デバイス設定」にプリンタの設定内容が表示されます。

- ⑤ [OK] をクリックします。

メモ [Web 設定] ボタンをクリックすると、自動的に Web ブラウザが起動し、プリンタの設定内容が表示されます。詳しくは、「Color Printia LASER InternetService」(25 ページ)をご覧ください。

オプションの自動設定をします

接続しているプリンタのオプション構成を取得して、プリンタドライバの設定を自動的に行なうことができます。

 Network Extension をインストールしても、動作環境に一致しない場合は設定できません。



- ① Windows 7 では [スタート] - [デバイスとプリンター] を選択します。

Windows Vista/Windows Server 2008 では [スタート] - [コントロールパネル] を選択し、[プリンタ] をクリックします。

Windows XP/Windows Server 2003 では [スタート] - [プリンタとFAX] を選択します。

- ② [FUJITSU XL-C2340] アイコンを右クリックし、[プロパティ] (Windows 7 では [プリンタのプロパティ]) を選択します。

- ③ [デバイスオプション] タブをクリックします。

- ④ [プリンタの情報を取得する] をクリックします。

- ⑤ [OK] をクリックします。

削除します

Windows 7/Windows Vista/Windows Server 2008 の場合

- ① [スタート] - [コントロールパネル] を選択し、[プログラムのアンインストール] をクリックします。

- ② [FUJITSU Network Extension] を選択し、[アンインストール] をクリックします。

- ③ 「ユーザー アカウント制御」 ウィンドウが表示されたら、[はい] または [続行] をクリックします。

- ④ 画面に従って削除します。

Windows XP/Windows Server 2003 の場合

- ① [スタート]-[コントロールパネル]を選択し、[プログラムの追加と削除]をクリックします。

- ② [FUJITSU Network Extension] を選択し、[削除] をクリックします。

- ③ 画面に従って削除します。

Color Printia LASER InternetService

プリンタのネットワークの設定や、メニュー設定ができます。
設定の変更は、管理者モードで行います。

動作環境

Microsoft Internet Explorer Ver.5.5以上がインストールされているコンピューター
TCP/IP で動作しているコンピューター

メモ お使いのブラウザーの設定が次のようにになっているか確認してください。

Microsoft Internet Explorer Ver.5.5 の場合は、[ツール] メニューの
[インターネットオプション] - [セキュリティ→このゾーンのセキュリティレベル] を「中」に設定します。

Microsoft Internet Explorer Ver.6.x の場合は、[ツール] メニューの[インターネットオプション] - [プライバシー] - [設定] を「中」に設定します。

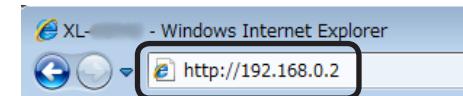
次の説明は、下記の環境を例にしています。

プリンタ : XL-C2340
プリンタの IP アドレス : 192.168.0.2
Web ブラウザー : Internet Explorer 8

注. MAC アドレスは、ネットワークの設定情報 (Network Information) に表示されています。(117 ページ)

起動します

- ① Web ブラウザーを起動します。
- ② [アドレス] に URL 「[http:// プリンタの IP アドレス /](http://192.168.0.2)」を入力し、Enter キーを押します。



プリンタが検出されたら、「プリンタステータス」ウィンドウが表示されます。



注. IP アドレスに 1 術または 2 術までの数値を含む場合、数値の前に「0」を入力しないでください。通信が正しく行われない場合があります。

(例) 正しい入力値: [http://192.168.0.2/](http://192.168.0.2)
誤った入力値: [http://192.168.000.002/](http://192.168.000.002)

設定します

注! Color Printia LASER InternetService でプリンタの設定変更を行うには、プリンタの管理者としてログインする必要があります。

① [管理者のログイン] をクリックします。

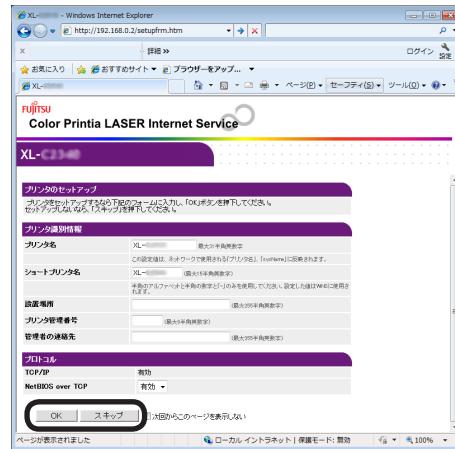


② [ユーザー名] に「xladmin」、[パスワード] に現在のパスワードを入力し、[OK] をクリックします。



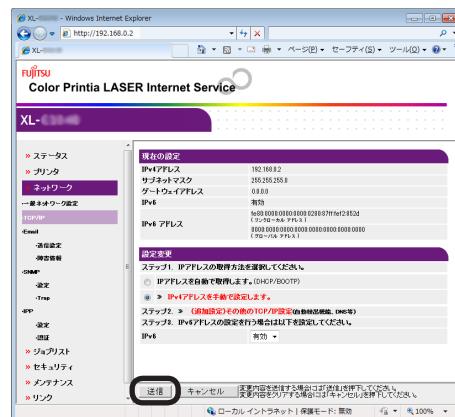
メモ パスワードの初期値は「PrintiaLaser」です。

③ プリンタ情報を設定し、[OK] または [スキップ] をクリックします。

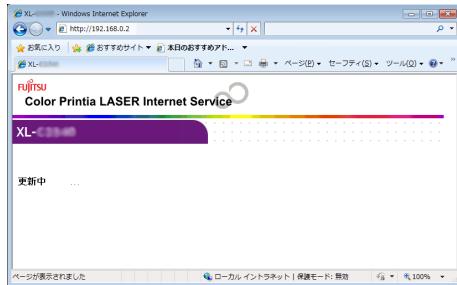


- 注!**
- [スキップ] をクリックすると、設定を省略できます。
 - [次回からこのページを表示しない] にチェックを付けて、[OK] または [スキップ] をクリックすると、次回以降のログイン時に表示されなくなります。

④ 必要な設定をした後、[送信] をクリックします。



- ⑤ 新しい設定値がプリンタに送信されると、下の画面が表示されます。



パスワードの設定

プリンタの管理者としてログインするときに使用するパスワードを変更することができます。

- ① [管理者のログイン] をクリックします。

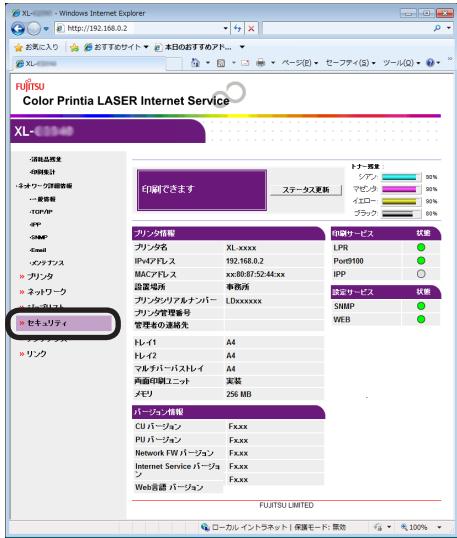


- ② [ユーザー名] に「xladmin」、[パスワード] に現在のパスワードを入力し、[OK] をクリックします。



パスワードの初期値は「PrintiaLaser」です。

③ [セキュリティ] タブをクリックします。



④ [管理者パスワード変更] をクリックします。



⑤ [新しい管理者のパスワード] に新しいパスワードを入力し、[新しいパスワードの再入力] に再度新しいパスワードを入力します。



- ・パスワードを入力すると、画面上では「●●●●●」と表示されます。
- ・パスワードは0～15桁までの英数字を入力してください。
- ・パスワードに英文字が入っている場合、大文字／小文字を正しく入力してください。

⑥ [送信] をクリックします。

新しいパスワードが設定されると、次の画面が表示されます。



⑦ プリンタに設定値が保存され、ネットワーク機能が再起動します。

新しいパスワードは、次の設定を変更するときから有効となります。プリンタの電源のOFF/ONは必要ありません。

ステータス タブ

[プリンタステータス]

プリンタの状態を確認できます。操作パネル上の表示と同じ情報を表示するほか、「障害情報」としてプリンタに発生しているすべての警告やエラーを表示します。

また、各ネットワークサービスの動作状況やプリンタ情報の一覧、プリンタに設定されているIPアドレスも確認することができます。

[プリンタ詳細情報]

プリンタのシステム情報を確認することができます。

[ネットワーク詳細情報]

ネットワークの設定情報を確認することができます。

プリンタ タブ◎

◎：プリンタの管理者としてログインした場合に表示されます。

[一般プリンタ設定]

ネットワーク上で確認できるプリンタの情報を設定できます。

[印刷設定]

コピー枚数、自動トレイ切り替え、モノクロ印刷速度、印刷品質、印刷位置などを設定できます。プリンタドライバを使用する場合には、この設定よりもプリンタドライバで設定した値が優先されます。

[用紙設定]

各トレイの用紙サイズ、名称付け、カスタム用紙などを設定できます。プリンタドライバを使用する場合には、この設定よりもプリンタドライバで設定した値が優先されます。

[カラー設定]

色の濃度補正、色の位置ずれ補正などを設定できます。

[プリンタ構成設定]

パワーセーブへの移行、アラーム発生時の動作、タイムアウトなどを設定できます。

[インターフェース設定]

USBインターフェースを設定できます。

[メモリ設定]

受信バッファーサイズの設定を実行します。

[システム設定]

ニアライフワーニング発生時の LED/LCD の制御方法を設定できます。

[保存 / 復元]

現在のメニュー設定を保存、または保存しているメニュー設定に変更することができます。

 プリンタタブのメニュー設定が対象となります。

[ヘキサダンプ]

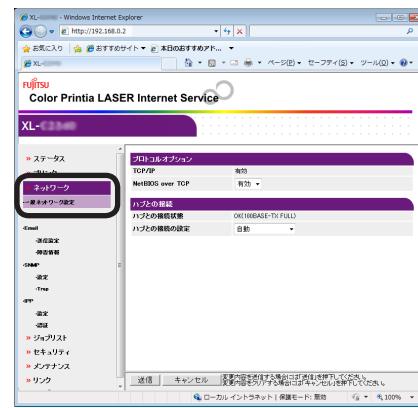
受信した印刷データをすべて16進数で表示します。プリンタを再起動すると本モードを抜けます。

[プリンタ情報印刷]

ネットワーク設定情報 (Network Information)、デモページなどを印刷します。

ネットワーク タブ◎

◎：プリンタの管理者としてログインした場合に表示されます。

**[一般ネットワーク設定]**

使用しないネットワークプロトコルを停止することができます。

[TCP/IP]

TCP/IPに関する情報を設定できます。

[Email]

プリンタに発生した事象を Email で通知する機能を設定できます。

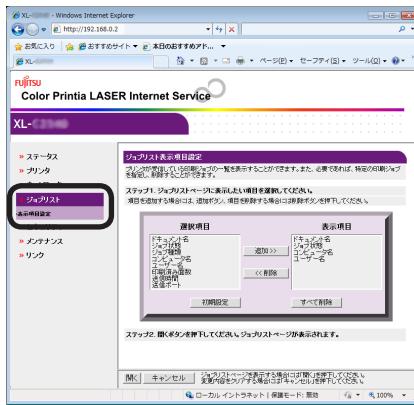
[SNMP]

SNMPに関する情報を設定できます。

[IPP]

IPP印刷をする機能を設定できます。

ジョブリスト タブ



[表示項目設定]

プリンタに送られた印刷ジョブの一覧を表示します。不要なジョブであれば削除することも可能です。

セキュリティ タブ◎

◎：プリンタの管理者としてログインした場合に表示されます。



[プロトコル ON/OFF]

使用しないネットワークプロトコル、ネットワークサービスを停止することができます。

[IP フィルタリング]

TCP/IPによるアクセスを制限することができます。「IP アドレスでのアクセス制限 (IP フィルタ)」を使います、「この人には印刷だけ許可しよう」、「この人には設定変更も許可しよう」といった要求にこたえる機能です。社外からのアクセスにも対応できます。ただし、本機能はIP アドレスに関する充分な知識を必要とします。設定によってはプリンタにネットワークからアクセスできなくなってしまうような重大なトラブルを招きます。

[MAC アドレスフィルタリング]

MAC アドレスによるアクセス制限をすることができます。

「この人には印刷だけ許可しよう」、「この人には設定変更も許可しよう」といった要求にこたえる機能です。社外からのアクセスにも対応できます。ただし、本機能は MAC アドレスに関する充分な知識を必要とします。設定によってはプリンタにネットワークからアクセスできなくなってしまうような重大なトラブルを招きます。

[暗号化 (SSL/TLS)]

Web ページからの設定および IPP 印刷時にコンピューター（クライアント）－プリンタ間の通信を暗号化できます。

[管理者パスワード変更]

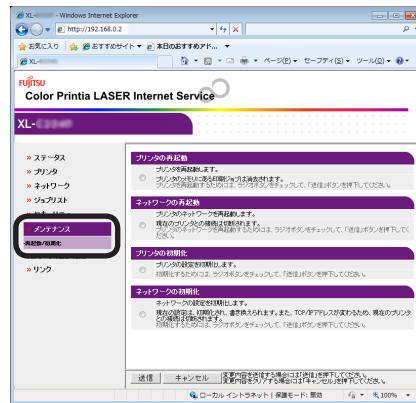
プリンタ本体の操作パネル「機能設定メニュー」の「管理者用メニュー」に入るためにパスワードを変更することができます。パスワードの初期値は「aaaaaa」です。

[ネットワークパスワード変更]

Internet Service の「管理者のログイン」用のパスワードを変更することができます。パスワードの初期値は「PrintiaLaser」です。

メンテナンス タブ◎

◎：プリンタの管理者としてログインした場合に表示されます。



[再起動 / 初期化]

プリンタの再起動

プリンタを再起動します。ネットワーク機能も同時に再起動されますので、再起動が完了するまで Web ブラウザーからアクセスしても、Web ページは表示されません。

ネットワークの再起動

ネットワーク機能だけを再起動します。プリンタに対してネットワーク経由でアクセスしている場合にはこのコネクションは切断されてしまいます。再起動が完了するまで Web ブラウザーからアクセスしても、Web ページは表示されません。

プリンタの初期化

プリンタを初期化します。初期化すると、プリンタは動作できますが、手動で設定した情報は失われてしまいます。

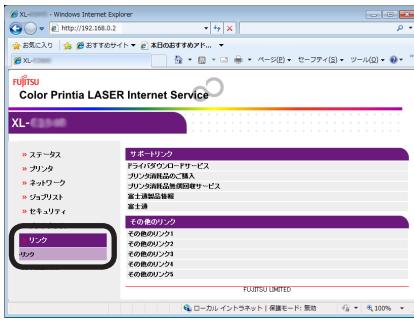
ネットワークの初期化

ネットワークを初期化します。初期化すると、プリンタは動作できますが IP アドレスが初期状態に戻ってしまうため、手動で設定した情報は失われてしまいます。その場合は、Internet Service も表示できなくなります。

[ネットワークの規模の設定]

ネットワーク上でより効率よく動作するための設定です。スパニングツリー機能をもつHUBを使用する場合、クロスケーブルでコンピューターとプリンタを1対1で接続する場合などに効果を発揮します。

リンク タブ



[リンク]

製造元で設定したリンクのほか、管理者が設定したリンクを表示します。

[リンク編集メニュー]

管理者が好きなURLを設定できます。

サポートリンクを5件、その他リンクを5件登録できます。

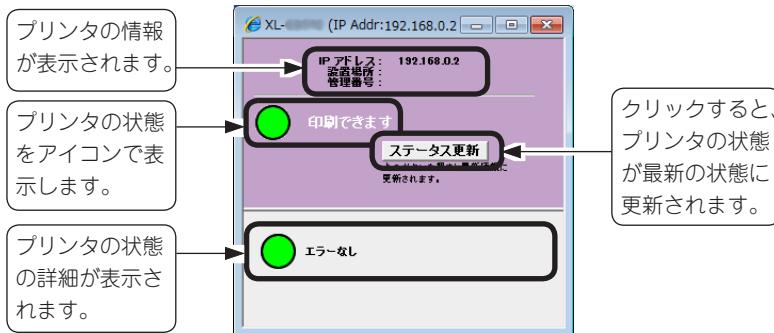
URLは、http://も含めて入力してください。

ステータスウィンドウを使います

ネットワーク上のコンピューターからプリンタの状態を Web ブラウザーで確認できます。

注! 「Color Printia LASER InternetService」(25 ページ) の「動作環境」を確認してください。

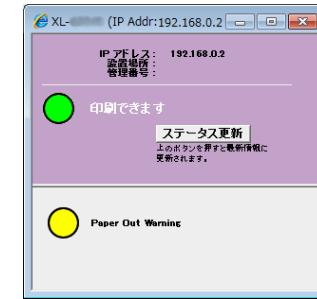
機能説明



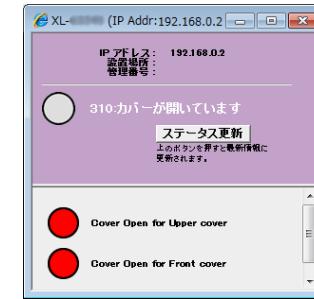
プリント状態アイコン	詳細
緑色の丸	エラーなし / オンライン
黄色の丸	警告 (印刷は可能)
赤色の丸	エラー (印刷は不可能)
紫色の丸	オフライン

表示例

〈トレイに用紙がない場合〉



〈カバーが開いている場合〉



2

いろいろな用紙に印刷するための設定

はがき、往復はがき、封筒に印刷したい 36

ラベル紙に印刷したい 38



- ・この章では、[ワードパッド] を例にしています。
- ・アプリケーションにより画面や手順が異なる場合があります。
- ・プリンタドライバやユーティリティの各設定項目の詳しい説明は「オンラインヘルプ」をご覧ください。
- ・プリンタドライバやユーティリティのバージョンアップにより、本書の記載が異なる場合があります。

はがき、往復はがき、封筒に印刷したい

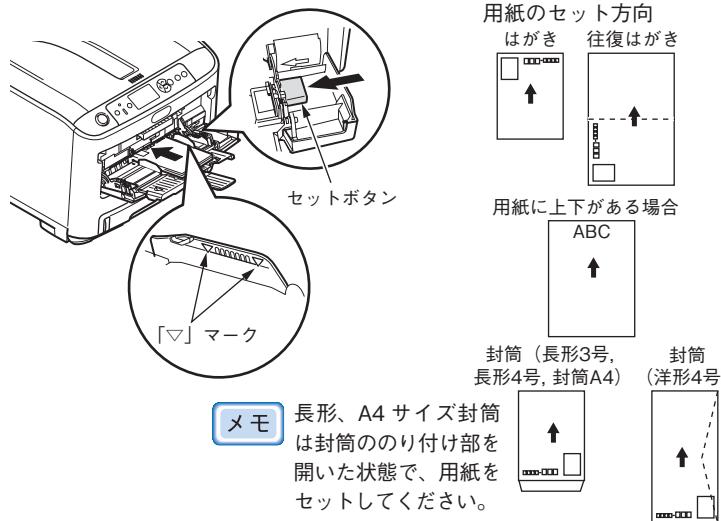
2

メモ 使用できるはがき・封筒の種類については、「使用できる用紙」（ハードウェアガイド）をご覧ください。

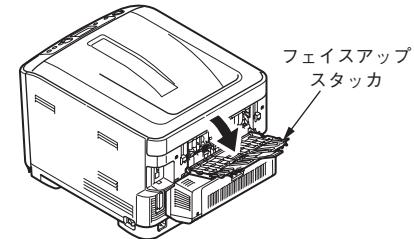
1 用紙をセットし、セットボタンを押します。

はがき、往復はがき、封筒はマルチパーパストレイから印刷します。
詳しくは「印刷します」（ハードウェアガイド）をご覧ください。

- メモ** マルチパーパストレイから手差しで1枚ずつ印刷することもできます。
詳しくは「印刷します」（ハードウェアガイド）をご覧ください。
- 注!**
- ・はがき、往復はがき、封筒は用紙カセットからの印刷や、両面印刷はできません。
 - ・印刷速度は遅くなります。



2 フェイスアップスタッカを開きます。



3 印刷したいファイルを開きます。

4 プリンタドライバで[用紙サイズ]、[給紙方法]、[用紙種類]を選択し、印刷します。



- ① [ファイル]メニューの [ページ設定]を選択します。
- ② [サイズ]で [はがき]、[往復はがき] または [封筒 XXX (XXX は封筒の種類)]、[印刷オプション] タブで [縦] または [横] を選択し、[OK] をクリックします。
- ③ [ファイル]メニューの [印刷]を選択します。
- ④ [詳細設定]をクリックします。
- ⑤ [設定]タブの [給紙方法]で [マルチパーパストレイ]を選択し、[用紙種類]を印刷する用紙種類に合わせて、[OK]をクリックします。
- ⑥ 「印刷」ウィンドウで [OK] または [印刷]をクリックし、印刷します。



ラベル紙に印刷したい

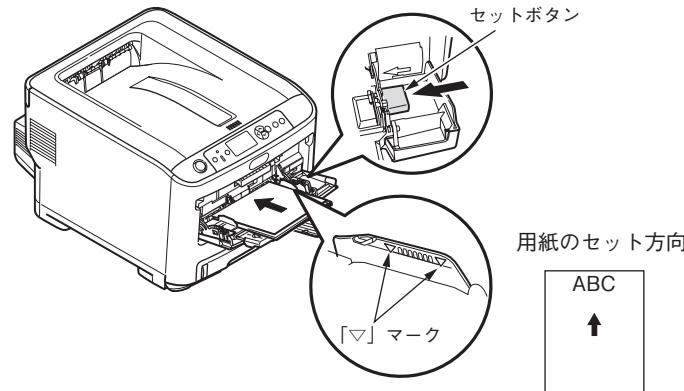
2

1 用紙をセットし、セットボタンを押します。

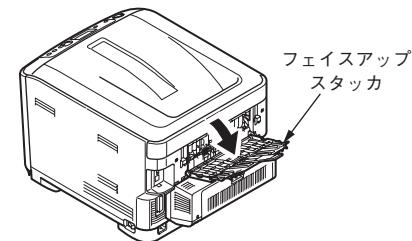
ラベル紙はマルチパーカストレイから印刷することができます。
詳しくは「印刷します」(ハードウェアガイド)をご覧ください。

メモ マルチパーカストレイから手差しで1枚ずつ印刷することもできます。
詳しくは「印刷します」(ハードウェアガイド)をご覧ください。

- 注!**
- ラベル紙は用紙カセットからの印刷や、両面印刷はできません。
 - 印刷速度は遅くなります。

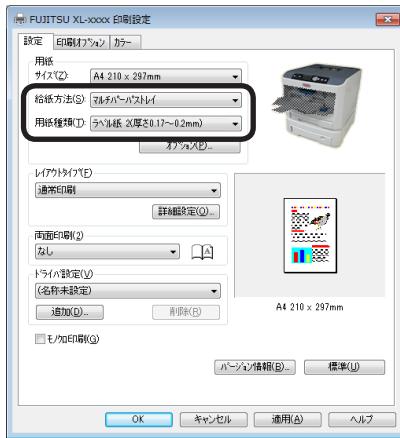


2 フェイスアップスタッカを開きます。



3 印刷したいファイルを開きます。

4 プリンタドライバで[用紙サイズ]、[給紙方法]、[用紙種類]を選択し、印刷します。



- ① [ファイル]メニューの [ページ設定]を選択します。
- ② [サイズ]で[A4]または[レター]、[印刷の向き]で[縦]または[横]を選択し、[OK]をクリックします。
- ③ [ファイル]メニューの [印刷]を選択します。
- ④ [詳細設定]をクリックします。
- ⑤ [設定]タブの [給紙方法]で [マルチペーパートレイ]、[用紙種類]で [ラベル紙 1] または [ラベル紙 2] を選択して、[OK]をクリックします。
- ⑥ 「印刷」ウィンドウで [OK] または [印刷]をクリックし、印刷します。

(MEMO)

2

3

プリンタドライバの機能と便利な印刷機能

プリンタドライバの機能

[設定] ダイアログ	42
[印刷オプション] ダイアログ	46
[カラー] ダイアログ	49
[デバイスオプション] ダイアログ	51

便利な印刷機能

複数ページを 1 枚に印刷したい	52
複数枚に拡大して印刷したい（ポスター印刷）	53
任意の用紙サイズ（ユーザ定義サイズ）に印刷したい（カスタムページ・長尺印刷）	54
両面印刷したい	55
モノクロ（白黒）の印刷速度を変更したい	56
トレイを自動的に選択したい	57
表紙のみ別のトレイから給紙したい（表紙印刷）	58
同じ用紙サイズを大量に印刷したい	59
用紙サイズを変更したい	60
ウォーターマークを印刷したい（スタンプ印刷）	61
文書を部単位で印刷したい	62
小冊子を作りたい（製本印刷）	63
印刷品位を変更したい	65
細線がかずれるのを防ぎたい	66
100%の黒を黒トナーのみで印刷したい	67
プリンタフォントに置き換えて印刷したい	68
コンピューターのフォントで印刷したい	69
プリンタドライバの設定を保存して、繰り返し使用したい	70
トナーをセーブして試し印刷したい	71
印刷データをファイルに出力したい	72



- この章では、[ワードパッド] を例にしています。
- アプリケーションにより画面や手順が異なる場合があります。
- プリンタドライバやユーティリティの各設定項目の詳しい説明は「オンラインヘルプ」をご覧ください。
- プリンタドライバやユーティリティのバージョンアップにより、本書の記載が異なる場合があります。

[設定] ダイアログ

用紙やレイアウトなどを設定します。



項目	内 容
用紙	サイズ (初期設定: A4) ・ ユーザ定義サイズ 定形用紙サイズ以外のサイズに印刷するときはユーザ定義サイズを選択します。[ユーザ定義サイズの設定] ダイアログが表示され任意の用紙サイズの指定ができます。
	給紙方法 (初期設定: 自動選択) 印刷するときに始点となる給紙口を選択します。「自動選択」を選択すると「サイズ」で指定したサイズの用紙がセットされている給紙口を自動的に選んで印刷します。トレイ 2 はオプションの拡張給紙ユニットが取り付けられているときに表示されます。[給紙オプション] ダイアログの「自動トレイ切り替え」にチェックが付いている場合も、選択した給紙口が始点となります。
	用紙種類 (初期設定: 普通紙 (坪量 64 ~ 74g/m²)) 印刷する用紙の種類 (厚さ) を選択します。
[オプション] ボタン	[給紙オプション] ダイアログが表示されます。

項目	内 容
レイアウトタイプ (初期設定: 通常印刷)	通常印刷、製本印刷、ポスター印刷、N-up 印刷を設定します。[詳細設定] をクリックすると [オプション] ダイアログが表示されます。ページ配置やとじしろ位置を設定します。
両面印刷 (初期設定: なし)	両面印刷のあり/なしを設定します。
ドライバ設定	ドライバの設定に設定名を付けて 14 種類まで保存できます。
モノクロ印刷 (初期設定: <input checked="" type="checkbox"/>)	カラータブの [カラーモード] の設定を [モノクロ] に変更します。
[標準] ボタン	[設定] ダイアログで設定した内容をすべて初期設定に戻します。

メモ 両面印刷ができる用紙は A4、A5、B5、レター、リーガルサイズ、用紙の坪量が 64g ~ 120g/m² の用紙となります。

[ユーザ定義サイズの設定] ダイアログ

このダイアログは [設定] ダイアログのサイズで、[ユーザ定義サイズ] を選択したときに表示されます。



項目	内 容
幅	ユーザ定義サイズ用紙の幅を 64.0 ~ 215.9mm または 2.52 ~ 8.50 インチの範囲で設定できます。
長さ	ユーザ定義サイズ用紙の長さを 127.0 ~ 1320.8mm または 5.00 ~ 52.0 インチの範囲で設定できます。
単位	幅、長さの単位を「ミリ」、「インチ」で指定できます。
[標準] ボタン	幅、長さの値を標準値 (幅: 210.0 長さ: 297.0 [mm] または幅: 8.27 長さ: 11.69 [インチ]) にします。

[給紙オプション] ダイアログ

このダイアログは、[設定] ダイアログで [オプション] をクリックすると表示されます。



項目	内容	
用紙サイズ変換	用紙サイズを変換する (初期設定: <input type="checkbox"/>)	「変換」のリストで指定した用紙にアプリケーションの用紙サイズを拡大 / 縮小して印刷する場合にチェックします。 変換「A3->A4」のように、右向き矢印とその左側に[設定]ダイアログの「用紙サイズ」で指定されている用紙のサイズ、右側に実際に印刷する用紙サイズを表示します
表紙印刷	1ページ目の給紙方法を指定する (初期設定: <input type="checkbox"/>)	1ページ目だけを別の用紙で印刷する場合にチェックします。チェックすると次の項目が表示されます。 表紙方法 表紙の給紙先を指定します。 用紙種類 用紙の種類(厚さ)を選択します。
給紙オプション	自動トレイ切り替え (初期設定: <input checked="" type="checkbox"/>)	印刷時に給紙しているトレイの用紙がなくなった場合に同じ用紙のあるトレイから自動的に給紙する場合にチェックします。 トレイ1またはトレイ2(オプション)で印刷時に用紙がなくなった場合は、マルチバーパストレイに用紙があってもマルチバーパストレイへの自動トレイ切り替えは行いません。
マルチバーパストレイ設定	手差しとして扱う (初期設定: <input type="checkbox"/>)	マルチバーパストレイを手差しトレイとして扱う場合にチェックします。オンラインスイッチを押すごとで、1枚ずつ印刷します。複数枚の用紙を連続給紙する場合は、チェックを外します。

項目	内容
[用紙サイズの追加] ボタン	[追加用紙サイズ] ダイアログを表示し、任意の名称でユーザ定義サイズの用紙を登録できます。登録された用紙は[設定]ダイアログの「サイズ」の選択肢に追加されます。
[標準] ボタン	[給紙オプション] ダイアログで設定した内容をすべて初期設定に戻します。

[用紙サイズの追加] ダイアログ

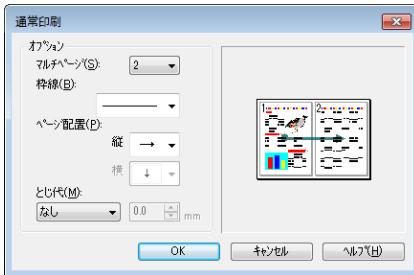
このダイアログは [設定] ダイアログの [オプション] を選択し、[用紙サイズの追加] をクリックすると表示されます。



項目	内容
名称	追加する用紙サイズの名称を指定します。
幅	ユーザ定義サイズ用紙の幅を 64.0 ~ 215.9mm または 2.52 ~ 8.50 インチで設定できます。
長さ	ユーザ定義サイズ用紙の長さを 127.0 ~ 1320.8mm または 5.00 ~ 52.00 インチで設定できます。
単位	幅、長さの単位を「ミリ」、「インチ」で指定できます。
[追加] ボタン	「名称」を入力すると有効になります。
[変更] ボタン	追加した用紙サイズを変更します。
[削除] ボタン	追加した用紙サイズを削除します。

[通常印刷] ダイアログ

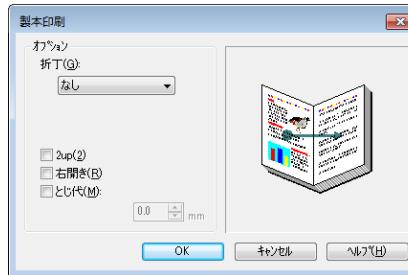
[設定] ダイアログのレイアウトタイプで「通常印刷」または「N-up」を選択し、[詳細設定] をクリックすると表示されます。



項目	内容
オプション	マルチページ 1枚の用紙に割り付けるページ数を選択します。 [設定] ダイアログのレイアウトタイプで選択した内容が表示されます。この画面での変更もできます。 1,2,4,6,8,9,16up の7種類の設定ができます。 2ページ以上を設定すると、次のとじ代以外の項目が表示されます。
	枠線 割り付けたページの周囲に印刷する枠線について設定します。
	ページ配置 縦 (2up 以上) 割り付けたページをどのような順序で印刷するか選択します。 割り付けるページ数 (N-up)、「印刷の向き」(縦横)によって設定できるページ配置が換わります。
	ページ配置 横 (4up 以上)
	とじ代 (初期設定:なし) とじ代の有無、位置、幅 0.0 ~ 30.0mm の設定ができます。

[製本印刷] ダイアログ

[設定] ダイアログのレイアウトタイプで「製本印刷」を選択し、[詳細設定] をクリックすると表示されます。



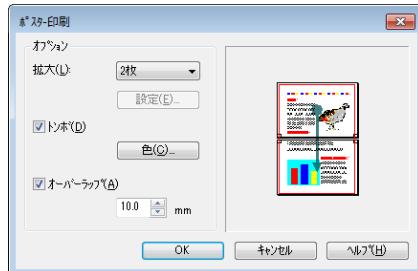
項目	内容
オプション	折丁 (初期設定:なし) 何ページで折丁を作成するか選択します。 2up がチェックの場合は、() 内の設定値になります。 ・なし 紙を全部まとめて折って本を作成します。 ・4 (8) 1枚ごとに紙を折って作成した折丁を合わせて本を作成します。 ・8 (16) 2枚ごとに紙を折って作成した折丁を合わせて本を作成します。 ・12 (24) 3枚ごとに紙を折って作成した折丁を合わせて本を作成します。 ・16 (32) 4枚ごとに紙を折って作成した折丁を合わせて本を作成します。
2up (初期設定: <input checked="" type="checkbox"/>)	2-up 製本印刷をする場合にチェックします。
右開き (初期設定: <input checked="" type="checkbox"/>)	本を右開きにする場合にチェックします。
とじ代 (初期設定: <input checked="" type="checkbox"/>)	とじ代を付けるときにチェックします。 とじ代の幅を設定する項目が有効になります。 0.0mm ~ 30.0mm の設定ができます。



- ・ 製本印刷ができない場合は、次のようにプリントプロセッサの設定を変更してください。
 - ・ Windows XP/Windows Server 2003 の場合
 - ①[スタート] - [プリンタとFAX] の順にクリックする
 - ②印刷を行うプリンタアイコンを右クリックし、[プロパティ] - [詳細設定] - [プリントプロセッサ] - [XLC2340PP3] の順にクリックする
 - ③[OK] をクリックする
 - ・ 共有プリンタとして利用する場合、製本印刷ができません。

[ポスター印刷] ダイアログ

[設定] ダイアログのレイアウトタイプで [ポスター印刷] を選択し、[詳細設定] をクリックすると表示されます。



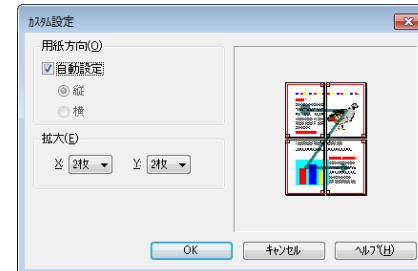
項目	内容
拡大	(初期設定: 2枚) 1ページを何枚に拡大して印刷するか選択します。2、4、9枚とカスタムが設定できます。 「カスタム」を選択すると [設定] ボタンが有効になります。
トンボ	(初期設定: <input checked="" type="checkbox"/>) トンボを付けて印刷する場合にチェックします。 [色] ボタンをクリックすると、トンボの色を指定できます。
オーバーラップ	(初期設定: <input checked="" type="checkbox"/>) 重なり部分を付けて印刷する場合にチェックします。 重なる部分は 0.1mm ~ 20.0mm の設定ができます。



- ・ ポスター印刷ができない場合は、次のようにプリントプロセッサの設定を変更してください。
 - ・ Windows XP/Windows Server 2003 の場合
 - ①[スタート] - [プリンタとFAX] の順にクリックする
 - ②印刷を行うプリンタアイコンを右クリックし、[プロパティ] - [詳細設定] - [プリントプロセッサ] - [XLC2340PP3] の順にクリックする
 - ③[OK] をクリックする
 - ・ 共有プリンタとして利用する場合、ポスター印刷ができません。

[カスタム設定] ダイアログ

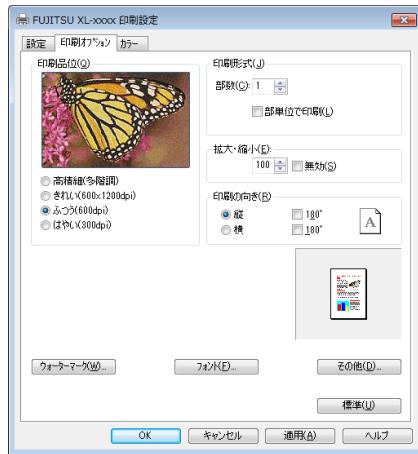
[ポスター印刷] ダイアログの [拡大] 設定で、[カスタム] をし、[設定] をクリックすると表示されます。



項目	内容
用紙方向	自動設定
拡大	X: 2枚, Y: 2枚

[印刷オプション] ダイアログ

印刷品質に関する設定を行います。



項目		内 容
印刷品位 (初期設定：ふつう (600dpi))		印刷の品位(印刷データの解像度)を高精細(多階調)、きれい(600×1200dpi)、ふつう (600dpi)、はやい (300dpi) の4種類から選択します。
印刷形式	部数 (初期設定：1 部)	印刷する部数を1～999で設定します。
	部単位で印刷 (初期設定： <input type="checkbox"/>	2部以上印刷する場合にチェックします。プリンタ側で部単位印刷を行います。
拡大・縮小 (初期設定：100%、無効： <input type="checkbox"/>		拡大・縮小率を設定します。1%～400%までの指定ができます。アプリケーションに拡大・縮小する機能がないことを通知する場合は、無効をチェックします。
印刷の向き	(初期設定：縦)	印刷するイメージの向きを縦／横で選択します。
	180° (初期設定： <input type="checkbox"/>	印刷するイメージを上下反転します。

項目	内 容
[ウォーターマーク] ボタン	ウォーターマーク印刷を設定します。クリックすると [ウォーターマーク] ダイアログが表示されます。
[フォント] ボタン	フォントを設定します。クリックすると [フォント] ダイアログが表示されます。
[その他] ボタン	他のオプションを設定します。
[標準] ボタン	[印刷オプション] ダイアログで設定した内容をすべて初期設定に戻します。

[ウォーターマーク] ダイアログ

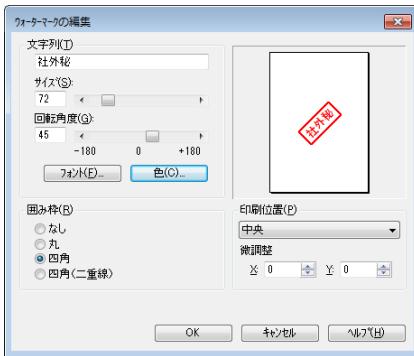
印刷結果にイメージ（ウォーターマーク）を重ね合わせる場合に設定します。[新規] または [編集] をクリックすると、[ウォーターマークの編集] ダイアログが表示されます。



項目	内容
〔新規〕ボタン	文字列、フォント、スタイルなどを入力し、新規にウォーターマークを作成します。新規に登録できる種類は10種類で、あらかじめ登録されている6種類と合わせて、最大で16種類のウォーターマークを登録することができます。
〔削除〕ボタン	登録したウォーターマークを削除します。あらかじめ登録されている6種類については削除することはできません。
〔編集〕ボタン	登録したウォーターマークを編集します。
最初のページのみ付加	チェックすると、印刷する先頭ページのみウォーターマークを付加します。

[ウォーターマークの編集] ダイアログ

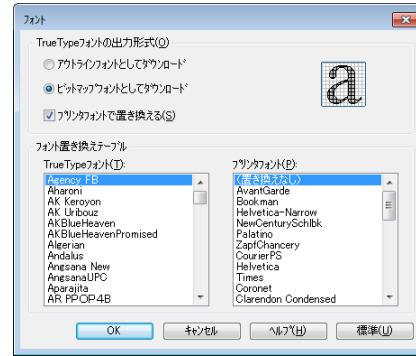
[ウォーターマーク] ダイアログの [新規] または [編集] をクリックすると表示されます。



項目	内 容
文字列	<p>重ね合わせる文字列やそのフォント、スタイル、サイズ、傾き、色を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「文字列」 重ね合わせる文字列を指定します。 ここで指定した文字列が登録名となります。最高で半角 63 文字まで指定できます。 「サイズ」 文字列の文字サイズを 1 ~ 600 ポイントの範囲で指定します。 「回転角度」 文字列の傾きを -180° ~ 180° の範囲で指定します。0° で水平になります。 「[フォント] ボタン」 文字列のフォントを指定します。 「[色] ボタン」 文字列の色を指定します。
囲み枠 (初期設定: なし)	ウォーターマークの文字列の囲みについて設定します。
印刷位置 (初期設定: 中央)	<p>ウォーターマークの印刷位置を指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「[微調整]」 ウォーターマークの位置を設定します。 「[X]」と「[Y]」は調整値で、-1000 ~ 1000 の範囲で入力ができます。 設定された位置に対して、右方向と下方向が正の値、左方向と上方向が負の値とする座標で調整できます。 ウォーターマークの印刷位置はプレビューに反映されます。

[フォント] ダイアログ

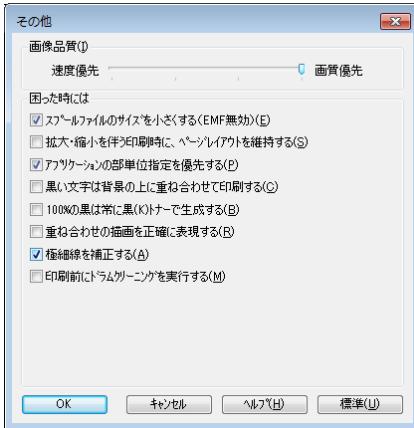
[印刷オプション] ダイアログの [フォント] をクリックすると表示されます。



項目	内 容
TrueType フォント の出力形式	TrueType フォントをアウトラインフォントとしてプリントにダウンロードし、プリント内部で展開してフォントイメージを作成します。このため、一般的には Windows の負荷が小さくなり、プリントの負荷が大きくなります。ただし、一部の TrueType フォントは、この設定にかかわらずビットマップフォントとしてダウンロードされる場合があります。
ビットマップフォントとしてダウンロード	TrueType フォントをビットマップフォントとしてプリントにダウンロードします。この場合、Windows でフォントイメージを作成してプリントへ送信するため、一般的には Windows の負荷が大きくなり、プリントの負荷が小さくなります。
プリントフォントで置き換える (初期設定: <input checked="" type="checkbox"/>)	フォント置き換えをする場合にチェックします。フォント置き換えテーブルが有効になります。
フォント置き換え テーブル	TrueType フォント / プリンタフォント

[その他] ダイアログ

「印刷オプション」ダイアログの「[その他]」をクリックすると表示されます。
(※画面は例です。設定条件により設定ができない項目もあります。)



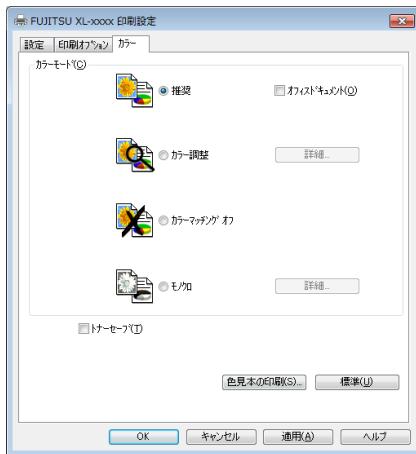
項目	内容
画像品質	速度優先 / 画質優先 画像の印刷品質を設定します。「画質優先」を設定すると、印刷品質は良くなります。ただし、印刷スピードが遅くなります。
困った時には	スプールファイルのサイズを小さくする (初期設定: <input checked="" type="checkbox"/>) 本設定を <input type="checkbox"/> にすると、通常のスプールファイル形式が EMF (Enhanced Metafiles) となり、印刷開始からアプリケーションに処理を戻すまでの時間が短くなります。ただし、アプリケーションによってはスプールファイルのサイズが非常に大きくなる場合や、印刷結果が画面と異なる場合がありますので、その場合には本設定をチェックしてください。 なお、「プリンタへ直接印刷データを送る」設定、「詳細な印刷機能を有効にする」が <input type="checkbox"/> の設定 (Windows 7/Windows Server 2008/Windows XP/Windows Server 2003 の場合) の場合は、EMF 形式でスプールできないため、本設定を <input type="checkbox"/> にした場合でも効果はありません。

項目	内容
困った時には	拡大・縮小を伴う印刷時に、ページレイアウトを維持する (初期設定: <input type="checkbox"/>) マルチページ、「用紙サイズ変換」、「とじ代」、「製本印刷機能」を使用すると一行に収まる文字数や、ページ内に収まる行数が変化し、ページレイアウトが変わることがあります。チェックすると、ページレイアウトは変わりません。ただし、図形の塗りパターンが拡大、縮小されることで、印刷結果が変わることがあります。一部のアプリケーションで画面上の描画結果から、それで印刷される場合にチェックすると、正常に印刷することができます。
アプリケーションの部単位指定を優先する (初期設定: <input checked="" type="checkbox"/>)	アプリケーションの印刷オプションで選択した部単位印刷機能を優先します。 アプリケーションで指定した部単位の設定に従った印刷を行うようにします。 アプリケーションによっては変わらない場合があります。
黒い文字は背景の上に重ね合わせて印刷する (初期設定: <input type="checkbox"/>) 背景に色を付けて印刷した場合に黒い文字との間に色ずれによってできる白いすき間を作らないようにします。背景の色はそのままにして、その上に黒い文字を重ねて印刷します。	黒い文字は背景の上に重ね合わせて印刷する (初期設定: <input type="checkbox"/>) 背景に色を付けて印刷した場合に黒い文字との間に色ずれによってできる白いすき間を作らないようにします。背景の色はそのままにして、その上に黒い文字を重ねて印刷します。
100% の黒は常に黒 (K) トナーで生成する (初期設定: <input type="checkbox"/>) [印刷品質] ダイアログの「黒の生成」で「自動」または、「CMYK トナーで生成」が指定されている場合、本設定をチェックすると、100% の黒 (RGB (0,0,0)) を、黒 (K) トナーのみを使用して表現します。	100% の黒は常に黒 (K) トナーで生成する (初期設定: <input type="checkbox"/>) [印刷品質] ダイアログの「黒の生成」で「自動」または、「CMYK トナーで生成」が指定されている場合、本設定をチェックすると、100% の黒 (RGB (0,0,0)) を、黒 (K) トナーのみを使用して表現します。
重ね合わせの描画を正確に表現する (初期設定: <input type="checkbox"/>) 図形などの重ね合わせを描画するドキュメントで、重なりの部分の色が正確に表現されない場合、本設定をチェックすると重なりの部分の色を正確に表現することができます。ただし、本設定をチェックすると印刷速度が若干遅くなることがあります。通常は、チェックを外してご使用ください。 一部のアプリケーションで図の背景が黒く塗りつぶされてしまう場合などに、本設定をチェックすると、正常に印刷できることがあります。	重ね合わせの描画を正確に表現する (初期設定: <input type="checkbox"/>) 図形などの重ね合わせを描画するドキュメントで、重なりの部分の色が正確に表現されない場合、本設定をチェックすると重なりの部分の色を正確に表現することができます。ただし、本設定をチェックすると印刷速度が若干遅くなることがあります。通常は、チェックを外してご使用ください。 一部のアプリケーションで図の背景が黒く塗りつぶされてしまう場合などに、本設定をチェックすると、正常に印刷できることがあります。
極細線を補正する (初期設定: <input checked="" type="checkbox"/>) 極端に細い線がかすれて見づらい場合に、本設定をチェックすると、極細線が見やすくなるように線を膨らませる補正を行います。例えば輪郭線付きの矩形を使用したバーコードを印刷するときに、矩形の輪郭線が補正により膨らむことでバーコードがつぶれて印刷される場合に、本設定を <input type="checkbox"/> にすると、バーコードの読み取り精度を上げることができます。	極細線を補正する (初期設定: <input checked="" type="checkbox"/>) 極端に細い線がかすれて見づらい場合に、本設定をチェックすると、極細線が見やすくなるように線を膨らませる補正を行います。例えば輪郭線付きの矩形を使用したバーコードを印刷するときに、矩形の輪郭線が補正により膨らむことでバーコードがつぶれて印刷される場合に、本設定を <input type="checkbox"/> にすると、バーコードの読み取り精度を上げることができます。
印刷前にドラムクリーニングを実行する (初期設定: <input type="checkbox"/>) 印刷前にドラムクリーニングを実行する場合にチェックします。	印刷前にドラムクリーニングを実行する (初期設定: <input type="checkbox"/>) 印刷前にドラムクリーニングを実行する場合にチェックします。

[カラー] ダイアログ

4種類のカラー モードを設定します。

「[カラー調整 詳細設定] ダイアログ」(49ページ)、「[カラー] ダイアログ (モノクロ 詳細設定)」(50ページ)を選択すると、明暗(ブライテネス、コントラスト)を調整できるようになります。



項目	内 容	
カラー モード (初期設定: 推奨)	推奨	アプリケーションで指定された色をプリンタでカラー調整して印刷します。最適なカラー印刷の設定です。通常は、この設定でお使いください。
	カラー調整	選択すると [詳細] ボタンが有効になります。カラー調整を行いたい場合のみにお勧めします。調整によっては印刷された色が画面の色と著しく異なる結果となる場合があります。
	カラーマッチング オフ	ドライバまたはプリンタでカラー調整を行わず、指定された色のまま印刷を行います。アプリケーションでカラーマッチングをする場合に設定します。
	モノクロ	選択すると [詳細] ボタンが有効になります。カラーをモノクロ(階調をもった白黒)に変換して印刷します。

項目	内 容
オフィスドキュメント (初期設定: <input checked="" type="checkbox"/>	カラートナーの濃度を控えめにして印刷します。
トナーセーブ (初期設定: <input checked="" type="checkbox"/>	トナーを節約した印刷を行います。チェックすると印刷品位は落ちますが、トナーを節約することができます。カラー モードで「モノクロ」を設定している場合は、グレーアウトされます。トナーセーブをチェックした場合、中間調の濃度に対してトナー量を50%セーブして印刷を行います。イエロー / マゼンタ / シアン / 黒の100%濃度に対しては、トナーセーブを行いません。
色見本の印刷	色見本の印刷を行います。印刷には「色見本印刷ユーティリティ」が必要です。「色見本印刷ユーティリティ」(8ページ)

[カラー調整 詳細設定] ダイアログ

カラー モードで、[カラー調整] - [詳細設定] ボタンをクリックすると表示されます。



項目	内 容
RGB カラー設定	<p>カラー調整 (初期設定: モニタ (6500K) / 自動)</p> <p>カラーモードのカラーマッチング処理における色の表現方法を設定します。お使いのRGB入力機器に一致する条件の項目を選択します。・モニタ (6500K) / 自動カラーマッチングのときに、モニタ (色温度 6500K)との相性および写真、図形、文字ごとに最適な色で印刷します。</p> <ul style="list-style-type: none"> モニタ (6500K) / コントラスト重視 カラー マッチングのときに、モニタ (色温度 6500K)との相性および写真などの自然画に適した階調性を重視した方法で色を表現します。 モニタ (6500K) / 鮮やかさ重視 モニタ (色温度 6500K)との相性および図形や文字に適した鮮やかさを重視した方法で色を表現します。 モニタ (9300K) カラー マッチングのときに、モニタ (色温度 9300K)との相性および写真などの自然画に適した階調性を重視した方法で色を表現します。 デジタルカメラ カラー マッチングのときに、写真が明るくなるように色を表現します。 撮影環境条件やシーンなど、場合によっては他のカラー調整項目を選択した方が良い場合があります。 sRGB プリンタの色再現域内の色はそのままとし、プリンタの色再現域に入らない色は、プリンタの色再現域内で、外殻の色にマッチングします。 特定の色をマッチングするのに適しています。
ユーザ設定	カラー調整ユーティリティ (カラー調整、ガンマ/色相補正) で登録された項目が選択可能になります。カラー調整ユーティリティで、登録した項目がない場合は、表示されません。「カラー調整ユーティリティ」(8 ページ)
黒の生成	自動 文書に最適な黒の生成を行います。
	CMYK トナーで生成 黒、グレーを CMYK トナーを使って印刷します。
	黒 (K) トナーのみで生成 黒、グレーを K トナーのみを使って印刷します。
明暗の調整	ライトネス (初期値: 0) 印刷の明るさを調整します。 - 50 ~ 50 まで選択できます。設定値を大きくすると明るい印刷結果になります。
	コントラスト (初期値: 0) 印刷の鮮やかさを調整します。 - 50 ~ 50 まで選択できます。設定値を大きくすると明暗の差がはっきりした印刷結果になります。

[カラー] ダイアログ (モノクロ詳細設定)

カラー モードで、[モノクロ] - [詳細設定] ボタンを選択すると表示されます。
ライトネス (明暗)、コントラスト (濃淡) の微調整が可能です。



項目	内 容
明暗の調整	ライトネス (初期値: 0) 印刷の明るさを調整します。 - 50 ~ 50 まで選択できます。設定値を大きくすると明るい印刷結果になります。
	コントラスト (初期値: 0) 印刷の鮮やかさを調整します。 - 50 ~ 50 まで選択できます。設定値を大きくすると明暗の差がはっきりした印刷結果になります。

[デバイスオプション] ダイアログ

デバイスオプションの設定は、プリントフォルダーから設定するプリンタのプロパティで表示されます。

アプリケーションの印刷設定のプロパティでは表示されません。



プリンタフォルダーの [XL-xxxx] – [プロパティ] (または [プリンターのプロパティ]) – [デバイスオプション] の順にクリックして表示します。



ネットワークを利用した接続方法でも、Network Extension がインストールされていない場合は、[プリンタの情報を取得する] ボタンと「設定情報」は表示されません。Network Extension については、22ページをご覧ください。

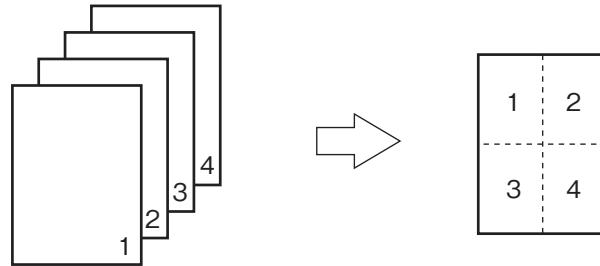
項目	内容
利用可能な装置	トレイ (カセット) 数 (初期設定: 1)
[プリンタの情報を取得する] ボタン	Network Extension を使用してプリンタの設定内容を読み出し、利用可能な装置を設定します。また、トレイ構成やトナー残量などのプリンタ情報を設定情報欄に表示します。
バージョン情報	[バージョン情報] ダイアログが表示され、プリンタドライバのバージョン情報が表示されます。



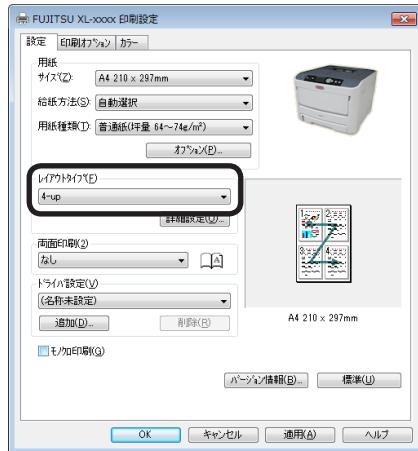
複数ページを1枚に印刷したい

3

複数ページのデータを1枚の用紙に縮小して印刷できます。



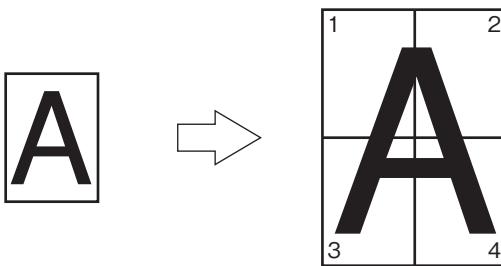
- この機能はデータを縮小して印刷する機能なので、用紙の中央が正確に合わない場合があります。
- とじ代も設定できます。
- アプリケーションによっては利用できない場合があります。



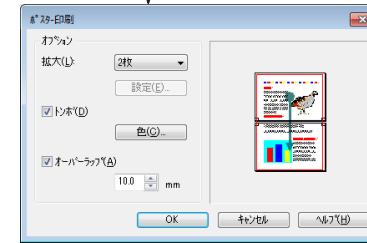
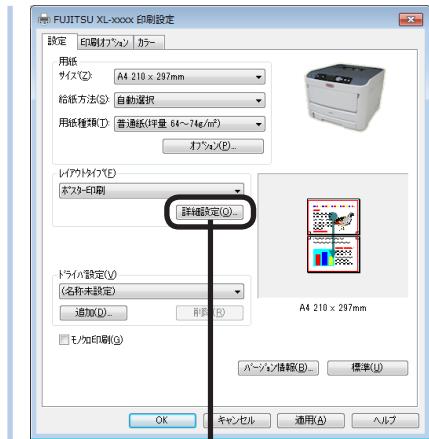
- 1 印刷したいファイルを開きます。
- 2 [ファイル]メニューの [印刷] を選択します。
- 3 [詳細設定] をクリックします。
- 4 [設定]タブの[レイアウトタイプ]で [n-up] (nは1枚に印刷するページ数) を選択します。
- 5 [詳細設定] をクリックし、必要に応じて [枠線]、[ページ配置]、[とじ代] を設定します。とじ代は上下左右に0～30mmまで設定できます。

複数枚に拡大して印刷したい（ポスター印刷）

元のデータを拡大し、複数枚の用紙に分割して印刷できます。



注! [ポスター印刷] が動作しない場合は、[デバイスとプリンター] フォルダー、[プリンタとFAX] または [プリンタ] フォルダーの [FUJITSU XL-C2340] アイコンを右クリックし、[プロパティ] - [詳細設定] - [プリントプロセッサ] で [XLC2340PP3] を選択してください。



- ① 印刷したいファイルを開きます。
- ② [ファイル] メニューの [印刷] を選択します。
- ③ [詳細設定] をクリックします。
- ④ [設定] タブの [レイアウトタイプ] で [ポスター印刷] を選択します。
- ⑤ [詳細設定] をクリックし、必要に応じて [拡大]、[トンボ]、[オーバーラップ] などを設定できます。

メモ [拡大] で [カスタム] を選択し、縦横に並べる枚数を指定することもできます。



任意の用紙サイズ（ユーザ定義サイズ）に印刷したい（カスタムページ・長尺印刷）

独自の用紙サイズを設定して通常の用紙サイズと同じように使用できます。

【設定できるサイズ】

幅：64～215.9mm

長さ：127～1320.8mm

【用紙カセットから給紙できるサイズ】

トレイ1：幅105～215.9mm 長さ148、203～356mm

トレイ2、3：幅148～215.9mm 長さ210～356mm

（オプション）

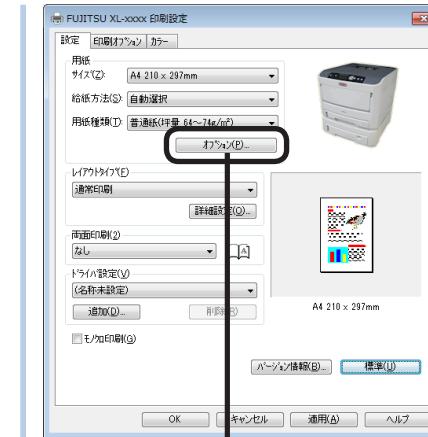
【両面印刷できるサイズ】

幅：148～215.9mm

長さ：210～356mm



- ・長さが356mmを超える用紙の印刷（長尺印刷）は、フェイスアップで排出してください。
- ・用紙サイズは縦長に設定し、プリンタにセットしてください。
- ・アプリケーションによっては利用できない場合があります。
- ・マルチパーパストレイから給紙する場合、用紙サポートでサポートしきれない長さの用紙は手で支えてください。
- ・用紙カセット（トレイ1～3）から給紙する場合は、プリンタ本体の「メニュー」の「用紙サイズ」を「カスタム」に設定する必要があります。
- ・「給紙オプション」ウィンドウの「自動トレイ切り替え」は、デフォルト設定では有効（チェックあり）になっています。印刷中に用紙が無くなると、別トレイから給紙することができます。カスタムサイズ用紙を特定のトレイのみから印刷するときは、無効（チェックを外す）にしてください。



① Windows 7では[スタート]-[デバイスとプリンター]-[FUJITSU XL-C2340]を選択します。

Windows Vista/Windows Server 2008では、[スタート]-[コントロールパネル]-[プリンタ]を選択します。

Windows XPでは、[スタート]-[コントロールパネル]-[プリンタとその他のハードウェア]-[プリンタとFAX]を選択します。

Windows Server 2003では、[スタート]-[プリンタとFAX]を選択します。

② [FUJITSU XL-C2340]アイコンを右クリックし、[印刷設定]を選択します。

③ [設定]タブの[オプション]をクリックします。

④ [給紙オプション]ウィンドウで[用紙サイズの追加]をクリックします。

⑤ [用紙サイズの追加]ウィンドウで[名称]、[幅]、[長さ]を入力します。

⑥ [追加]をクリックします。

作成した用紙は、[設定]タブの[サイズ]リストの下の方に表示されます。合計32個まで定義できます。

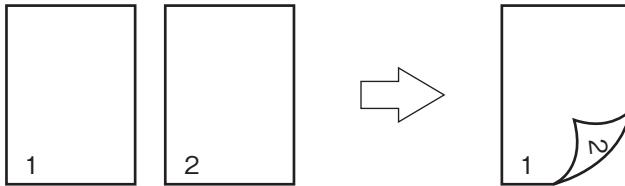


両面印刷したい

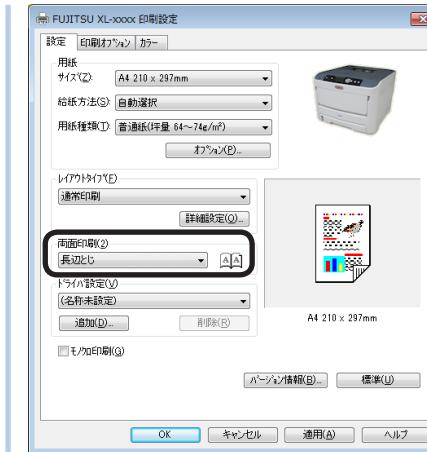
用紙の両面に印刷することができます。

両面印刷できる用紙サイズはA4、A5、B5、レター、リーガル。A6用紙は使用できません。

両面印刷できる用紙の厚さは、64～120g/m²です。それ以外の厚さでは紙づまりの原因になりますので使えません。



アプリケーションによっては利用できない場合があります。



- ① 印刷したいファイルを開きます。
- ② [ファイル]メニューの [印刷]を選択します。
- ③ [詳細設定]をクリックします。
- ④ [設定]タブの [両面印刷]で [長辺とじ] または [短辺とじ]を選択します。



モノクロ（白黒）の印刷速度を変更したい

3

プリンタの操作パネルでモノクロ印刷速度を設定します。

- ① ボタンを数回押して [管理者用メニュー] を選択し、 設定ボタンを押します。
- ② パスワード入力画面になるので、 ボタンまたは ボタンで1桁目の英小文字、または数字を選択し、 設定ボタンを押します。次の桁に移るので、同様の手順で入力します。
- メモ パスワードの初期値は「aaaaaa」です。
- 最後に 設定ボタンを押します。
- ③ ボタンまたは ボタンを押して [印刷設定] を選択し、 設定ボタンを押します。
- ④ ボタンを数回押して [モノクロ印刷速度] を選択し、 設定ボタンを押します。
- ⑤ ボタンまたは ボタンを押して、設定したい速度を選択し、 設定ボタンを押します。
- 設定した速度の左側に * が付きます。
- ⑥ オンラインボタンを押し、[印刷できます] を表示します。

「モノクロ速度優先」の場合

モノクロの大量印刷に適しています。ジョブの先頭がモノクロページの場合にモノクロモードの36PPMで印刷しますが、ジョブの途中にカラーページが来るとカラーモードの34PPMに切り替えてジョブの最後まで印刷します。[カラー速度優先]と比較し、モノクロ・カラーページの印刷モードが切り替わるときの待ち時間が発生するため、印刷時間が長くなる場合があります。

「カラー速度優先」の場合

カラーの印刷に適しています。モノクロ・カラーページいずれの場合も常にカラーモードの34PPMで印刷しますので、モノクロ・カラーページの印刷モードが切り替わるときの待ち時間はありませんが、カラー(YMC)ドラムカートリッジの寿命が短くなります。

「ドラム寿命優先」の場合

1つのジョブ内でカラーページの後にモノクロページを大量に含むデータを印刷する場合に適しています。モノクロページは常にモノクロモードの36PPM、カラーページは常にカラーモードの34PPMで印刷します。モノクロ・カラーページの印刷モードが切り替わるときの待ち時間が発生しますが、[モノクロ速度優先]、[カラー速度優先]と比較して、カラー(YMC)ドラムカートリッジの寿命を延ばすことができます。

メモ PPMとは1分間あたりの印刷枚数のことです。



トレイを自動的に選択したい

プリンタドライバで設定した用紙サイズに一致するトレイ（トレイ1、トレイ2（オプション）、トレイ3（オプション）、マルチパーパストレイ）を自動的に選択して印刷できます。



- トレイ1、マルチパーパストレイは操作パネルで用紙サイズを設定してください。トレイ2（オプション）、トレイ3（オプション）は必ず用紙サイズダイヤルで用紙サイズを設定してください。詳しくは「印刷します」（ハードウェアガイド）をご覧ください。
- 【マルチパーパストレイ設定】の【トレイの使い方】の初期値は、【使用しない】になっています。この場合、マルチパーパストレイは自動トレイ選択の対象になりません。



1 操作パネルでMPトレイ（マルチパーパストレイ）の使い方を設定します。



① ボタンを数回押して【メニュー】を選択し、 設定ボタンを押します。



② 【トレイ構成】が選択されているので、 設定ボタンを押します。



③ ボタンを数回押して【マルチパーパストレイ設定】を選択し、 設定ボタンを押します。



④ ボタンを数回押して【トレイの使い方】を選択し、 設定ボタンを押します。



⑤ ボタンを数回押して【用紙違いの時】を選択し、 設定ボタンを押します。



⑥ オンラインボタンを押し、【印刷できます】を表示します。



2 プリンタドライバで【給紙方法】を設定します。



① 印刷したいファイルを開きます。

② 【ファイル】メニューの【印刷】を選択します。

③ 【詳細設定】をクリックします。

④ 【設定】タブの【給紙方法】で【自動選択】を選択します。

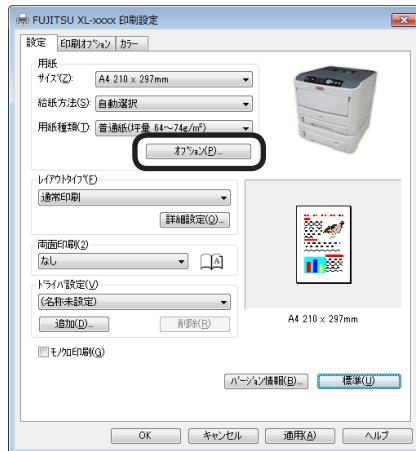


表紙のみ別のトレイから給紙したい（表紙印刷）

複数ページの印刷ジョブで1ページ目を別のトレイから給紙できます。1ページ目の用紙の色や厚さを変えて表紙などを作成する場合に使用します。

3

メモ 表紙に使用する用紙は、2枚目以降を印刷するトレイとは別のトレイにセットしておきます。



- ① 印刷したいファイルを開きます。
- ② [ファイル]メニューの [印刷] を選択します。
- ③ [詳細設定] をクリックします。
- ④ [設定] タブの [オプション] をクリックします。



- ⑤ [表紙印刷] の [1ページ目の給紙方法を指定する] にチェックを付け、[給紙方法] をメニューから選択します。必要に応じて用紙厚を設定します。

同じ用紙サイズを大量に印刷したい

トレイ1、トレイ2（オプション）、トレイ3（オプション）、マルチパーカストレイに同じ用紙をセットしている場合に、印刷中のトレイの用紙がなくなったら、他のトレイから継続して印刷することができます。



- トレイ1、マルチパーカストレイは操作パネルで用紙サイズを設定してください。トレイ2（オプション）、トレイ3（オプション）は必ず用紙サイズダイヤルで用紙サイズを設定してください。操作パネルで、用紙カセットのメディアウェイト、メディアタイプと、マルチパーカストレイの用紙サイズ、メディアウェイト、メディアタイプを一致させてください。詳しくは「印刷します」（ハードウェアガイド）をご覧ください。
- 【マルチパーカストレイ設定】の【トレイの使い方】の初期値は、【使用しない】になっています。この場合、マルチパーカストレイは自動トレイ切り替えの対象なりません。

1 操作パネルで MP トレイ（マルチパーカストレイ）の使い方を設定します。

① ボタンを数回押して【メニュー】を選択し、 設定ボタンを押します。

② 【トレイ構成】が選択されているので、 設定ボタンを押します。

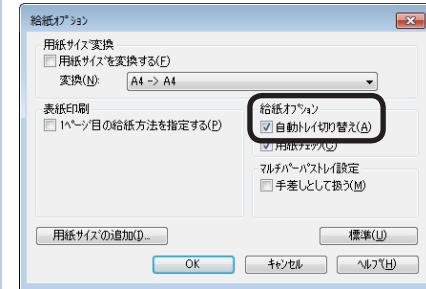
③ ボタンを数回押して【マルチパーカストレイ設定】を選択し、 設定ボタンを押します。

④ ボタンを数回押して【トレイの使い方】を選択し、 設定ボタンを押します。

⑤ ボタンを数回押して【用紙違いの時】を選択し、 設定ボタンを押します。

⑥ オンラインボタンを押し、【印刷できます】を表示します。

2 プリンタドライバで【自動トレイ切り替え】を設定します。

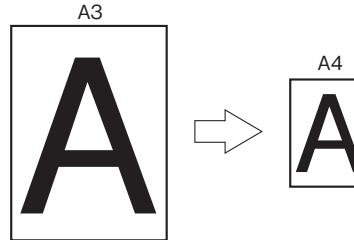


- 印刷したいファイルを開きます。
- 【ファイル】メニューの【印刷】を選択します。
- 【詳細設定】をクリックします。
- 【設定】タブの【オプション】をクリックします。
- 【自動トレイ切り替え】にチェックを付けます。

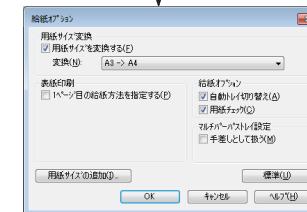
用紙サイズを変更したい

印刷するドキュメントには手を加えずに、編集サイズと異なる用紙サイズに合わせ、拡大または縮小して印刷できます。

3



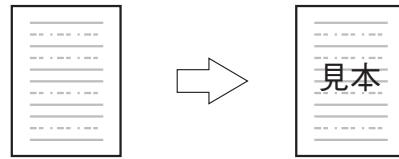
 アプリケーションによっては正常に動作しない場合があります。



- ① 印刷したいファイルを開きます。
- ② [ファイル]メニューの [印刷]を選択します。
- ③ [詳細設定]をクリックします。
- ④ [設定]タブの [サイズ]で編集する用紙サイズを選択します。
- ⑤ [オプション]をクリックします。
- ⑥ [用紙サイズを変換する]にチェックを付け、[変換]で印刷したい用紙サイズを選択します。

ウォーターマークを印刷したい（スタンプ印刷）

印刷するドキュメントには手を加えずに、文字を自由に設定し【見本】や【社外秘】などの文字を重ね印刷できます。



① 印刷したいファイルを開きます。

② [ファイル]メニューの【印刷】を選択します。

③ [詳細設定]をクリックします。

④ [印刷オプション]タブの【ウォーターマーク】をクリックします。

⑤ [新規]をクリックします。

⑥ 「ウォーターマークの編集」ウィンドウで【文字列】を入力し【サイズ】ほかを選択します。

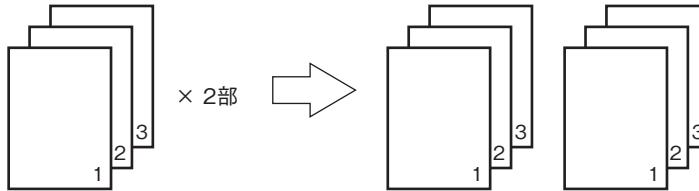
⑦ [OK]をクリックします。



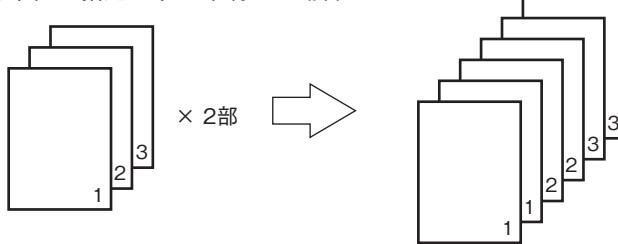
文書を部単位で印刷したい

印刷ジョブをプリンタのメモリに蓄えて部単位で印刷することができます。

部単位を指定して印刷した場合



部単位を指定せずに印刷した場合



- 印刷ジョブを蓄えるメモリの容量が不足した場合、「部単位印刷エラーです／オンラインボタンを押してください」を表示します。
「オンライン」ボタンを押すとワーニング表示は消えます。
- アプリケーションによっては利用できない場合があります。



- 印刷したいファイルを開きます。
- [ファイル]メニューの [印刷]を選択します。
- [詳細設定]をクリックします。
- [印刷オプション]タブで [部数]に印刷部数を入力し、[部単位で印刷]にチェックを付けます。

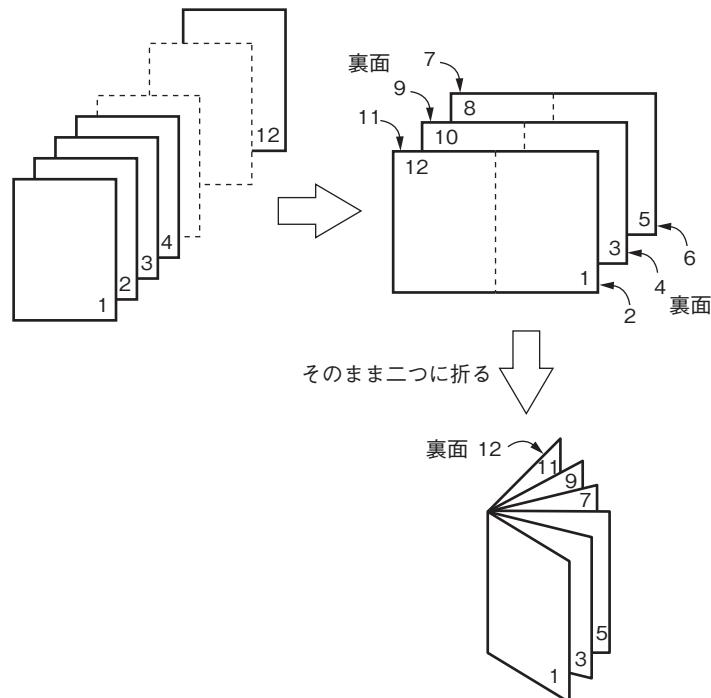


小冊子を作りたい（製本印刷）

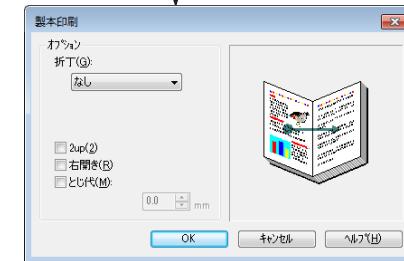
パンフレットのような小冊子を作成できます。



アプリケーションによっては正常に動作しない場合があります。



【注】[製本印刷] が選択できない場合は、[デバイスとプリンター] フォルダー、[プリンタとFAX] または [プリンタ] フォルダーの [FUJITSU XL-C2340] アイコンを右クリックし、[プロパティ] - [詳細設定] - [プリントプロセッサ] で [XLC2340PP3] を選択してください。



① 印刷したいファイルを開きます。

② [ファイル] メニューの [印刷] を選択します。

③ [詳細設定] をクリックします。

④ [設定] タブの [レイアウトタイプ] で [製本印刷] を選択します。

⑤ [詳細設定] をクリックし、必要に応じて [折丁]、[2up]、[右開き]、[とじ代] を設定します。

折丁

製本するページの単位です。

右開き

小冊子が右開きになるよう印刷します。

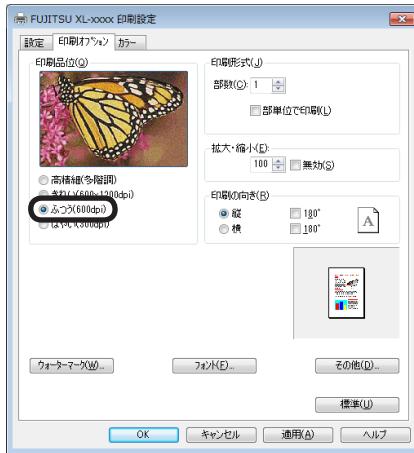
- ⑥ [設定] タブの [サイズ] で用紙サイズを選択し、[オプション] をクリックして [用紙サイズを変換する] にチェックを付けて、[変換] で該当する値を選択します。

メモ (例) A4 サイズの用紙を使用して A5 サイズの小冊子を作る場合
[詳細設定] の [用紙サイズ] で [A4] を選択します。

注! [小冊子] 印刷では、ウォーターマークは正しく印刷できません。

印刷品位を変更したい

初期設定では、「ふつう(600dpi)」に設定されています。お使いの環境に合わせて[印刷品位]を設定してください。



- ① 印刷したいファイルを開きます。
- ② [ファイル]メニューの [印刷]を選択します。
- ③ [詳細設定]をクリックします。
- ④ [印刷オプション]タブの [印刷品位]を変更します。



細線がかされるのを防ぎたい

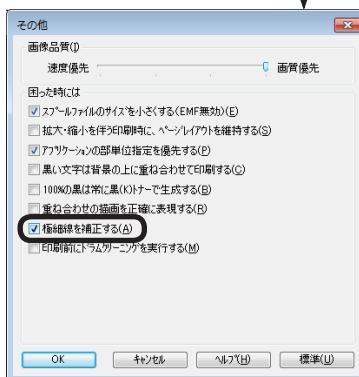
アプリケーションから極細線が指定されたとき、線がかされて印刷されるのを防ぎます。この機能は標準でオンになっています。

3

メモ アプリケーションによってはバーコードなどの間隔が狭くなることがあります。その場合はこの機能をオフにしてください。



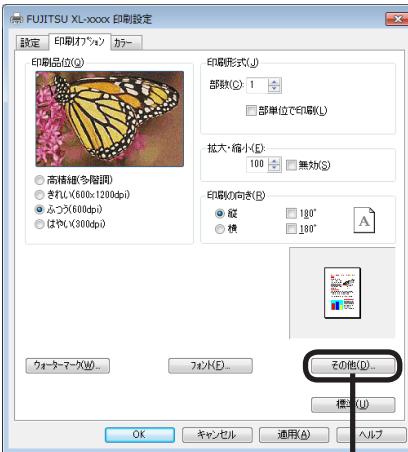
- ① 印刷したいファイルを開きます。
- ② [ファイル]メニューの[印刷]を選択します。
- ③ [詳細設定]をクリックします。
- ④ [印刷オプション]タブの[その他]をクリックします。



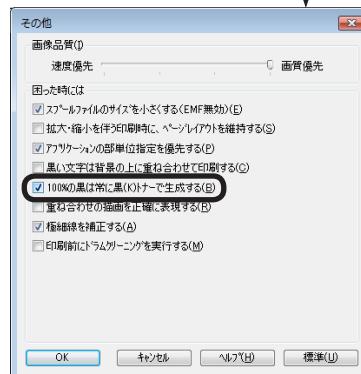
- ⑤ [極細線を補正する]にチェックを付けます。



100%の黒を黒トナーのみで印刷したい



- ① 印刷したいファイルを開きます。
- ② [ファイル] メニューの [印刷] を選択します。
- ③ [詳細設定] をクリックします。
- ④ [印刷オプション] タブの[その他] をクリックします。



- ⑤ [100%の黒は常に黒(K)トナーで生成する] にチェックを付けます。

プリントフォントに置き換えて印刷したい

データの転送量を少なくしたい、印刷を速くしたい場合に、TrueTypeフォントをプリンタ内蔵フォントに置き換えて印刷できます。

- ・ フォントの置き換え機能は、文書の体裁は保持しますが、フォントのデザインを再現させるものではありません。フォントのデザインを正確に印刷する必要がある場合は、フォントの置き換え機能を無効にしてください。
- ・ 独自のプリンタドライバを使用している一部のアプリケーションでは、フォントの置き換え機能が正常に動作しないことがあります。
- ・ コンピューターの管理者の権限が必要です。



- ① 印刷したいファイルを開きます。
- ② [ファイル]メニューの [印刷]を選択します。
- ③ [詳細設定]をクリックします。
- ④ [印刷オプション]タブの [フォント]をクリックします。
- ⑤ 「フォント」ウィンドウの [プリンタフォントで置き換える]にチェックを付けます。
- ⑥ [フォント置き換えテーブル]でTrueTypeフォントをどのプリンタフォントに置き換えるかを指定します。

置き換えフォント一覧表

コンピューター側で選択したフォント	フォント種別	印刷に使用するフォント
通常表示	Adobe Illustratorなどの表示	
中ゴシック BBB	ChuGothicBBB Medium	TT 平成角ゴシック体 W5
中ゴシック BBB- 等幅	ChuGothicBBB Medium Mono	TT 平成角ゴシック体 W5
Osaka	Osaka Regular	TT 平成角ゴシック体 W5
Osaka- 等幅	Osaka Regular-Mono	TT 平成角ゴシック体 W5
リュウミンライト -KL	Ryumin Light KL	TT 平成明朝体 W3
リュウミンライト -KL- 等幅	Ryumin Light KL Mono	TT 平成明朝体 W3
平成角ゴシック	HeiseiKakuGothic W5	TT 平成角ゴシック体 W5
平成明朝	HeiseiMincho W3	TT 平成明朝体 W3
本明朝 -M	HonMincho-Medium	TT 平成明朝体 W3
丸ゴシック -M	MaruGothic-Medium	TT -

TT : TrueType フォント



コンピューターのフォントで印刷したい

TrueType フォントを画面表示のまま出力できます。



印刷時間が長くなることがあります。



- ① 印刷したいファイルを開きます。
- ② [ファイル]メニューの [印刷]を選択します。
- ③ [詳細設定]をクリックします。
- ④ [印刷オプション]タブの[フォント]をクリックします。
- ⑤ 「フォント」ウィンドウの[プリントフォントで置き換える]のチェックを外します。

アウトラインフォントとしてダウンロード

プリンタでフォントイメージを作成します。

ビットマップフォントとしてダウンロード

プリンタドライバでフォントイメージを作成します。



プリンタドライバの設定を保存して、繰り返し使用したい

プリンタドライバで設定した内容を保存することができます。

複数箇所の設定を変更した内容を保存しておくと、次回からドライバ設定を指定するだけで自動的に複数箇所の設定が保存されていた内容に変更されます。



- ① Windows 7 では [スタート]-[プリンターとデバイス] を選択します。

Windows Vista/Windows Server 2008 では、[スタート]-[コントロールパネル]-[プリンタ]を選択します。

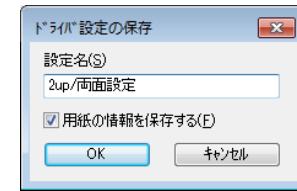
Windows XP では、[スタート]-[コントロールパネル]-[プリンタとその他のハードウェア]-[プリンタとFAX]を選択します。

Windows Server 2003 では、[スタート]-[プリンタとFAX]を選択します。

- ② [FUJITSU XL-C2340] アイコンを右クリックし、[印刷設定]を選択します。

- ③ レイアウトタイプ、印刷オプション、カラーなど各設定を変更します。

- ④ [設定] タブの [ドライバ設定] で [追加] を選択します。

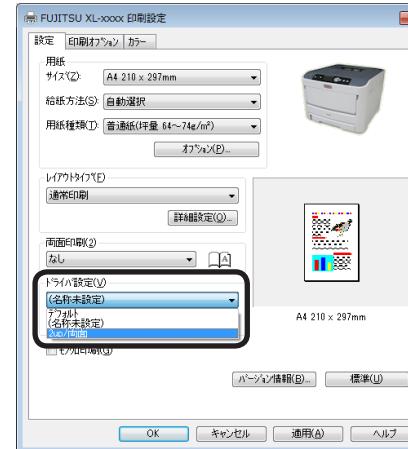


- ⑤ [設定名] に設定の名前を入力し、[OK] をクリックします。

用紙の情報を保存する
チェックを付けると、[設定] タブの [用紙] の設定も保存します。

メモ 最大 14 個まで保存することができます。

保存した設定を呼び出して使います



- ① 印刷したいファイルを開きます。

- ② [ファイル] メニューの [印刷] を選択します。

- ③ [ドライバ設定] で、使用する設定を選択し、[OK] をクリックします。

トナーをセーブして試し印刷したい

トナーの消費量を節約するように印刷します。全体の色を明るくすることでトナーの消費量を節約します。同時に100%黒の色はそのまま保存することで、きれいな黒文字の再現を両立させています。

トナーセーブをしてもなるべく画像のバランスが失われにくくするために中間調をバランスよく明るくすることで調整します。このため、トナーの節約の量は印刷画像によって異なります。



- 100%黒の色には無効です。
- 印刷モードが【モノクロ】のときは有効になりません。



【トナーセーブ】と【オフィスドキュメント】の設定を有効／無効にしたときの印刷の濃度の目安

【オフィスドキュメント】はプリンタドライバの【カラー】タブ、または【カラー】パネルで設定します。

例えば、シアン100%の色を印刷したときの濃度は表のようになります。

数値が小さいほど、印刷結果は明るい感じになります。

✓：有効 -：無効

トナーセーブ	オフィスドキュメント	印刷の濃度
-	-	100%（標準の設定）
-	✓	約95%
✓	-	約85%
✓	✓	約70%

実際のトナーセーブとオフィスドキュメントの設定による印刷の濃度の変化は、印刷する画像によって異なります。



① 印刷したいファイルを開きます。

② [ファイル]メニューの【印刷】を選択します。

③ [詳細設定]をクリックします。

④ [カラー]タブの【トナーセーブ】をチェックします。



オフィス文書に適した濃度にトナー量を調整し、文書の見やすさを保ちながら、トナー消費量をセーブする場合は、【オフィスドキュメント】にチェックします。

100%黒の濃度はそのまま保持しますので、黒文字の読みやすさも損ないません。



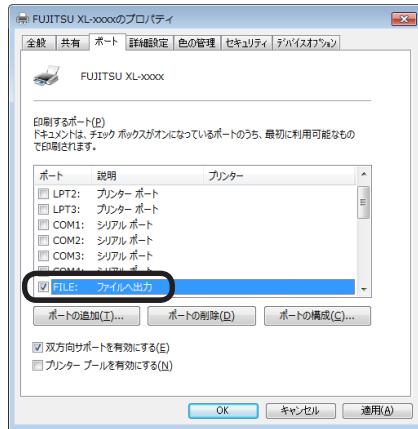
印刷データをファイルに出力したい

印刷データをファイルに書き出して保存することができます。



コンピューターの管理者の権限が必要です。

3



- ① Windows 7 では [スタート]-[プリンターとデバイス] を選択します。

Windows Vista/Windows Server 2008 では、[スタート]-[コントロールパネル]-[プリンタ]を選択します。

Windows XP では、[スタート]-[コントロールパネル]-[プリンタとその他のハードウェア]-[プリンタとFAX]を選択します。

Windows Server 2003 では [スタート]-[設定]-[プリンタとFAX]を選択します。

- ② [FUJITSU XL-C2340]アイコンを右クリックし、[プロパティ] (Windows 7 では [プリンターのプロパティ]) を選択します。

- ③ [ポート]タブの[印刷するポート]で[FILE:]を選択し、[OK]をクリックします。

- ④ 印刷します。[ファイルへ出力]で [出力先ファイル名] を入力し、[OK]をクリックします。

4 カラーについて

カラーマッチングについて	74
カラーマッチングする（カラー調整）	75
パレットカラーを変更してカラーマッチングしたい	76
ガンマ値や色相を変更してカラーマッチングしたい	81
カラー調整の設定をファイルに保存したい	84
カラー調整の設定をファイルから読み込みたい	86
カラー調整の設定を削除したい	88
黒の部分の仕上がりを変更したい	89
モノクロ（白黒）で印刷したい	90
文字と背景の間のすき間をなくしたい（ブラックオーバープリント）	91
色見本印刷して希望色の RGB 値を決めたい	92
特定の色味を強くしたい、または弱くしたい	95



カラーマッチングについて

カラーマッチング

データの作成から出力までに至る作業過程において、カラーを一貫した手法に基づいて管理することが重要になります。例えばスキャナーやデジタルカメラやモニターなどは黒に対して「赤」「青」「緑」の3色の光を加えた配合率をRGBカラー空間上の値としてカラーを表現します（加法混色）。一方プリンタは白（白色光）に対して、「赤」「青」「緑」の3色を反射光から取り除く、「シアン」「マゼンタ」「イエロー」と「黒」の4色のトナーの配合率をCMYKカラー空間上の値としてカラーを表現します（減法混色）。

RGBカラー空間やCMYKカラー空間は、お使いの機器に依存したカラー空間であるために、カラー空間を変換するときにそれぞれの機器の特性を考慮しないと再現された色も異なった色になってしまいます。

データの作成から出力までカラーの一貫性を維持するには、機器によるカラーの違いを考慮してカラー変換する必要があります。この処理をカラーマッチングといいます。カラーマッチングを行うプログラムをカラーマネジメントシステム(CMS)といいます。

本プリンタでは、プリンタドライバのカラーマッチングとアプリケーションのカラーマッチングを利用することができます。



カラーマッチングを使用しても、印刷色がモニター上の色に比べくすんで見えることがあります。これはプリンタで再現できる色の範囲がモニターで再現できる色の範囲より狭いため、カラーマッチングを使用してもモニター上の鮮やかなカラーが再現できないためです。

利用できるカラーマネジメントシステム

プリンタドライバ カラーマッチング	Windows
プリンタに内蔵のカラーマッチング （[カラー調整] モード）	○
アプリケーションのカラーマッチング	○



カラー マッチングする（カラー調整）

ワープロソフト・表計算ソフトやプレゼンテーション用ソフトなどビジネス文書をよく使用するユーザー向けに最適な方法のカラーマッチングを提供します。これらのソフトウェアで使用されるRGBカラーで表現された色をお使いのプリンタ用にカラーマッチングします。

カラーマッチングにはプリンタに搭載されている専用のアクセラレータ（ASIC）を使用してカラーマッチングを行います。RGBカラースペースの印刷データをプリンタのCMYKカラースペースに変換するときに、カラーマッチング処理が適用されます。



- RGBカラースペースの印刷データに対してのみ有効です。
- CMYKカラースペースの印刷データに対しては【推奨】または【カラー調整】を選択してもカラーマッチングは適用されません。



【メモ】 [カラー調整]

カラーマッチング処理の色の表現方法を指定します。

- モニタ（6500K）／自動
モニタ（色温度6500K）との相性を重視したうえで、印刷するドキュメントに合わせて最適な方法で色を表現します。通常はこの設定でお使いください。
- モニタ（6500K）／コントラスト重視
モニタ（色温度6500K）との相性および写真などの自然画に適した階調性を重視した方法で色を表現します。
- モニタ（6500K）／鮮やかさ重視
モニタ（色温度6500K）との相性および図形や文字に適した鮮やかさを重視した方法で色を表現します。
- モニタ（9300K）
モニタ（色温度9300K）との相性および写真などの自然画に適した階調性を重視した方法で色を表現します。

・デジタルカメラ

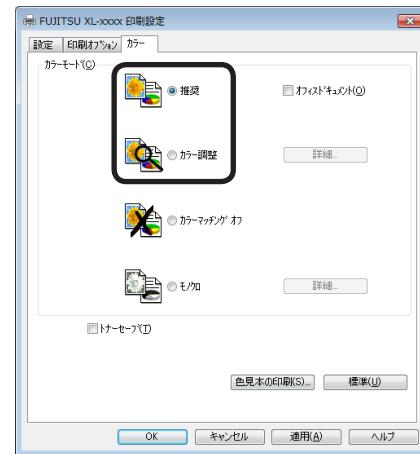
写真が明るくなるように色を表現します。撮影環境条件やシーンなど、場合によっては他のカラー調整項目を選択した方が良い場合があります。

・sRGB

プリンタの色再現域内の色はそのままとし、プリンタの色再現域内に入らない色はプリンタの色再現域の外殻の色にマッチングします。特定の色をマッチングするのに適しています。

[黒の生成]

カラーで印刷するときの黒の仕上がりを設定します。通常は自動のままでご使用ください。



① 印刷したいファイルを開きます。

② [ファイル]メニューの【印刷】を選択します。

③ [詳細設定]をクリックします。

④ [カラー]タブの【カラーモード】で【推奨】または【カラー調整】を選択します。

[カラー調整]を選択した場合、必要に応じて[詳細]ボタンをクリックして、表示されたウインドウ内の[カラー調整]や[黒の生成]などを適切な設定に変更します。

パレットカラーを変更してカラーマッチングしたい

カラー調整ユーティリティを使用して、Microsoft Excel や Word などで選択したパレットの色を調整範囲内で指定することができます。

- 注**
- ・ カラー調整ユーティリティのセットアップについては、8ページをご覧ください。
 - ・ プリンタドライバごとに設定を行ってください。
 - ・ テスト印刷はB5 サイズ以上の用紙を使用してください。
 - ・ プリンタの共有で接続されているプリンタでは使用できません。
 - ・ カラー調整ユーティリティを使用してカラーマッチングを行う場合、コンピューターの管理者の権限が必要です。

4

1 カラー調整ユーティリティで、カラー調整を行います。

- ① [スタート] - [すべてのプログラム] - [FUJITSU] - [カラー調整ユーティリティ] - [カラー調整ユーティリティ] を選択します。
Windows 7/Windows Vista/Windows Server 2008 で「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示されたら、[はい] または [続行] をクリックします。
- ② [パレットカラーを調整します] を選択し、[次へ] をクリックします。



- ③ 「プリンタ選択」ウィンドウが表示されたら、使用するプリンタを選択し、[次へ] をクリックします。



カラー調整ユーティリティが起動します。

メモ インストールされているプリンタドライバが表示されます。プリンタドライバごとに設定を行ってください。

- ④ 「設定選択」ウィンドウが表示されたら、リストボックスから設定を選択して[サンプル印刷]をクリックします。



「色見本サンプル」が印刷されます。

⑤ [次へ] をクリックします。

「パレットカラー調整」ウィンドウが表示されます。

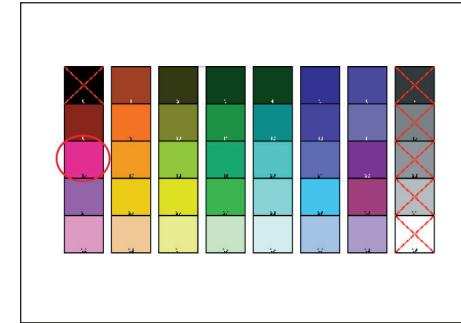
⑥ [テスト印刷] をクリックします。



「調整対象色サンプル」が印刷されます。

⑦ 「パレットカラー調整」ウィンドウのパレット（画面色）と、印刷された「調整対象色サンプル」を比較します。異なる色があった場合、調整を行います。（次は赤丸の部分のパレットカラーを調整する場合の例です）

《調整対象色サンプル》



《「パレットカラー調整」ウィンドウ》



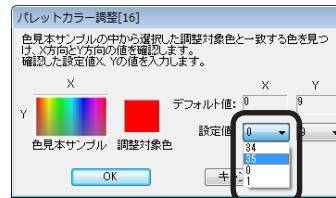
注! ×印がついている色は調整できません。

- ⑧「パレットカラー調整」ウィンドウの調整対象色（画面色）をクリックします。



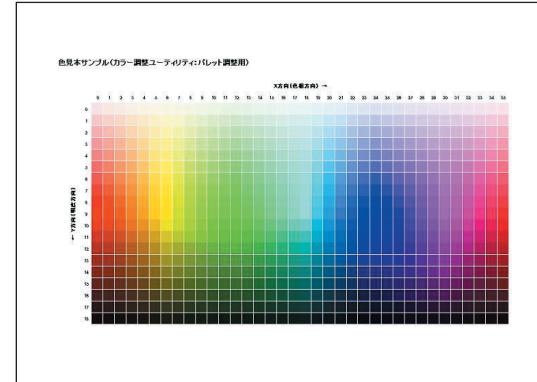
「調整値入力」ウィンドウが表示されます。

- ⑨ X 値、Y 値のプルダウンで調整可能な範囲を確認します。



メモ 全体のバランスを考慮して、調整可能な範囲は色により異なります。

- ⑩「パレットカラー調整」ウィンドウの調整対象色（画面色）に対して調整範囲内で最も希望する色を「色見本サンプル」の中から探し、X 方向（色相）、Y 方向（明度）の値（X 値、Y 値）を確認します。

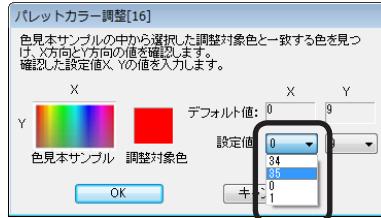


- ⑪「パレットカラー調整」ウィンドウの調整対象色（画面色）をクリックします。



「調整値入力」ウィンドウが表示されます。

- ⑫「調整値入力」ウィンドウで、⑩で確認した X 値と Y 値を選択し、[OK] をクリックします。



「パレットカラー調整」ウィンドウに戻ります。

- ⑬ [テスト印刷] をクリックして「調整対象色サンプル」を印刷します。変更後の「調整対象色サンプル」の色が、設定した値の色見本サンプルの色に近づいているか確認し、他にも調整したい色がある場合は、⑧～⑬を繰り返します。[次へ] をクリックします。



- ⑭ 設定の名前を入力し、[保存] をクリックします。



- ⑮ [OK] をクリックします。



注! プリンタドライバのアップデート、再インストールを行った場合は、カラー調整ユーティリティを起動すると、作成したカラー調整名を再度読み込みます。[設定選択] にカラー調整名が表示されるのを確認し、[終了] をクリックしてください。

- ⑯ [完了] をクリックし、カラー調整ユーティリティを終了します。

2 プリンタドライバで設定名を選択し、印刷します。



- ① 印刷したいファイルを開きます。
- ② [ファイル]メニューの [印刷]を選択します。
- ③ [詳細設定]をクリックします。
- ④ [カラー]タブの [印刷モード]で [カラー調整]を選択し、[詳細]をクリックします。
- ⑤ 「カラー調整詳細設定」ウィンドウの [RGB カラー設定]で [ユーザ設定]にチェックを付け、カラー調整ユーティリティで作成した設定値を選択します。



プリンタドライバのアップデート、再インストールを行った場合は、カラー調整ユーティリティを起動すると、作成したカラー調整名を再度読み込みます。[設定選択]にカラー調整名が表示されるのを確認し、[終了]をクリックしてください。



ガンマ値や色相を変更してカラーマッチングしたい

カラー調整ユーティリティを使用して、ガンマ値や色相を調整してカラーマッチングすることができます。



- ・カラー調整ユーティリティのセットアップについては、8ページをご覧ください。
- ・プリンタドライバごとに設定を行ってください。
- ・テスト印刷はB5サイズ以上の用紙を使用してください。
- ・プリンタの共有で接続されているプリンタでは使用できません。
- ・カラー調整ユーティリティを使用するには、コンピューターの管理者の権限が必要です。

1

カラー調整ユーティリティで、ガンマ値・色相などを変更します。

- ① [スタート] - [すべてのプログラム] - [FUJITSU] - [カラー調整ユーティリティ] - [カラー調整ユーティリティ] を選択します。
- ② [ガンマ・色相を補正します] を選択し、[次へ] をクリックします。



- ③ 「プリンタ選択」 ウィンドウが表示されたら、調整するプリンタを選択し、[次へ] をクリックします。



カラー調整ユーティリティが起動します。

- メモ** インストールされているプリンタドライバが表示されます。プリンタドライバごとに設定を行ってください。

- ④ リストボックスから基準となるモードを選択し、[次へ] をクリックします。



⑤ ガンマ、色相、明度・彩度の各スライドバーの値を変更して調整します。

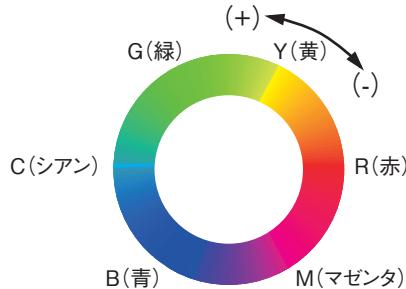


メモ

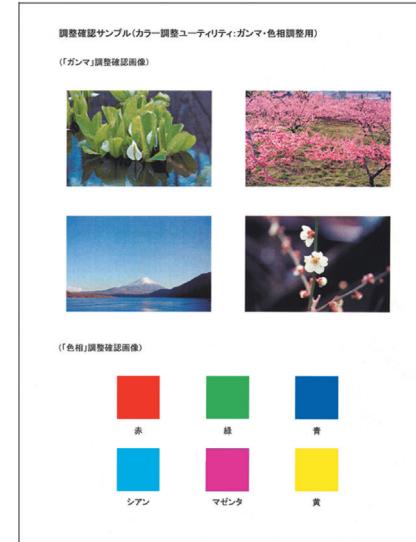
[インクの原色を使用する]は、トナーの原色 100% の色が使用されるよう調整します。ここをチェックした場合、その色に関しては[色相]スライドバーは固定され、次のようなトナー配合で印刷されるように調整します。

プリント色	結果
シアン (C)	シアントナー 100%
マゼンタ (M)	マゼンタトナー 100%
イエロー (Y)	イエロートナー 100%
赤 (R)	マゼンタトナー 100% + イエロートナー 100%
緑 (G)	シアントナー 100% + イエロートナー 100%
青 (B)	シアントナー 100% + マゼンタトナー 100%

- メモ
- ガンマ用スライドバーで全体の明暗を、色相 / 明度用スライドバーで出力色を調整できます。
 - [ガンマ] を左方向に調整するほど明るくなります。
 - プリント色ボタンで調整対象色が切り替えられます。
 - [色相] は色相環の順方向(+)または逆方向(-)に各色を調整します。例えば、Y(黄)のスライドバーを(+)方向に動かすと G(緑)に近づき、(-)方向に動かすと R(赤)に近づきます。



⑥ [テスト印刷] をクリックします。



「調整確認サンプル」が印刷されます。

⑦ 調整結果を確認し、[設定] をクリックします。

希望する調整結果が得られない場合は、手順⑤、⑥を繰り返します。

⑧ [保存] をクリックします。

⑨ 設定の名前を入力し、[保存] をクリックします。



⑩ [OK] をクリックします。



プリンタドライバのアップデート、再インストールを行った場合は、
カラー調整ユーティリティを起動すると、作成したカラー調整名を再
度読み込みます。[設定選択] にカラー調整名が表示されるのを確認し、
[完了] をクリックしてください。

⑪ [完了] をクリックし、カラー調整ユーティリティを終了します。

2 プリンタドライバで設定名を選択し、印刷します。



① 印刷したいファイルを開きます。

② [ファイル] メニューの [印刷] を選択します。

③ [詳細設定] をクリックします。

④ [カラー] タブの [印刷モード] で [カラー調整] を選択し、[詳細] をクリックします。

⑤ 「カラー調整詳細設定」ウィンドウの [RGB カラー設定] で [ユーザ設定] にチェックを付け、カラー調整ユーティリティで作成した設定値を選択します。



プリンタドライバのアップデート、再インストールを行った場合は、
カラー調整ユーティリティを起動すると、作成したカラー調整名を再
度読み込みます。[設定選択] にカラー調整名が表示されるのを確認し、
[終了] をクリックしてください。



カラー調整の設定をファイルに保存したい

カラー調整ユーティリティで設定した内容をファイルに保存できます。

- 注!**
- ・カラー調整ユーティリティのセットアップについては、8ページをご覧ください。
 - ・プリンタドライバごとに設定を行ってください。
 - ・テスト印刷はB5サイズ以上の用紙を使用してください。
 - ・プリンタの共有で接続されているプリンタでは使用できません。
 - ・カラー調整ユーティリティを使用するには、コンピューターの管理者の権限が必要です。

4

1 カラー調整ユーティリティを起動します。

- ① [スタート] - [すべてのプログラム] - [FUJITSU] - [カラー調整ユーティリティ] - [カラー調整ユーティリティ] を選択します。
- ② [設定をインポート・エクスポート・削除します]を選択し、[次へ]をクリックします。



- ③ 設定を保存したいプリンタを選択し、[次へ]をクリックします。

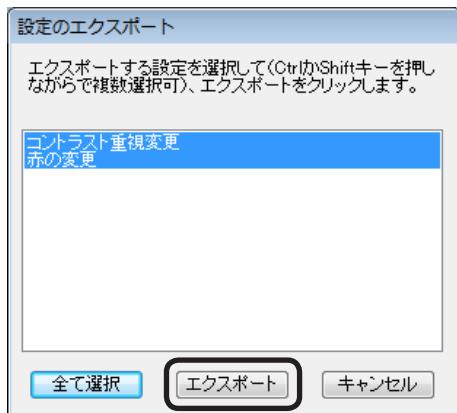


2 設定を保存します。

- ① [エクスポート] をクリックします。



- ② 「設定のエクスポート」 ウィンドウで設定リストからエクスポートしたい設定を選択し、[エクスポート] をクリックします。



メモ Ctrl キーまたは Shift キーを押しながら選択すると、複数の設定を選択できます。

- ③ 保存場所を選択し、設定用のフォルダ名を入力して [保存] をクリックします。
 ④ [OK] をクリックします。
 ⑤ [完了] をクリックし、カラー調整ユーティリティを終了します。



カラー調整の設定をファイルから読み込みたい

カラー調整の設定をファイルから読み込むことができます。



- ・ カラー調整ユーティリティのセットアップについては、8ページをご覧ください。
- ・ プリンタドライバごとに設定を行ってください。
- ・ テスト印刷はB5サイズ以上の用紙を使用してください。
- ・ プリンタの共有で接続されているプリンタでは使用できません。
- ・ カラー調整ユーティリティを使用するには、コンピューターの管理者の権限が必要です。

4

1 カラー調整ユーティリティを起動します。

- ① [スタート] - [すべてのプログラム] - [FUJITSU] - [カラー調整ユーティリティ] - [カラー調整ユーティリティ] を選択します。
- ② [設定をインポート・エクスポート・削除します]を選択し、[次へ]をクリックします。



- ③ 設定を読み込みたいプリンタを選択し、[次へ]をクリックします。

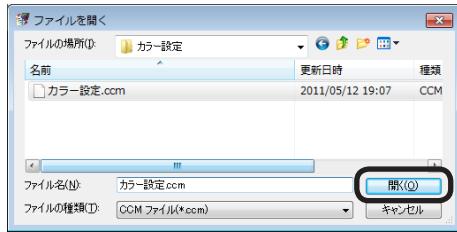


2 設定を読み込みます。

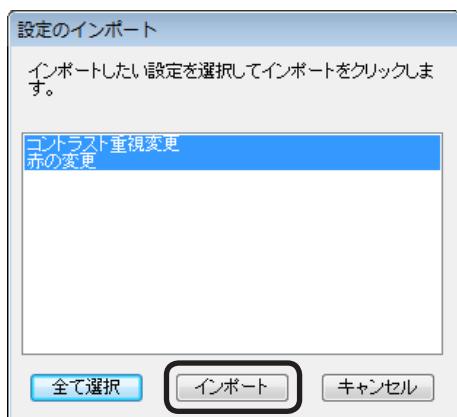
- ① [インポート] をクリックします。



- ② 読み込みたい設定が保存されているフォルダー内の“.CCM”ファイルを選択し、[開く] をクリックします。



- ③ 「設定のインポート」ウィンドウの設定リストからインポートしたい設定を選択し、[インポート] をクリックします。



メモ Ctrl キーまたは Shift キーを押しながら選択すると、複数の設定を選択できます。

- ④ 設定が読み込めたことを確認し、[完了] をクリックします。





カラー調整の設定を削除したい

不要になったカラー調整を削除できます。

- ① [スタート] - [すべてのプログラム] - [FUJITSU] - [カラー調整ユーティリティ] - [カラー調整ユーティリティ] を選択します。
- ② [設定をインポート・エクスポート・削除します]を選択し、[次へ]をクリックします。



- ③ 設定を保存したいプリンタを選択し、[次へ]をクリックします。



- ④ 削除したい設定をリストから選択し、[削除]をクリックします。



- ⑤ [はい]をクリックし、設定を削除します。



- ⑥ 設定が削除されたことを確認し、[完了]をクリックします。





黒の部分の仕上がりを変更したい

カラーで印刷するときの黒の部分の仕上がりを変えられます。印刷モードが【カラー調整】の場合に利用できます。



黒の生成

- ・自動
印刷するドキュメントに合わせて最適な方法で黒を生成します。
印刷モードが【カラー調整】の場合のみ選択できます。
- ・CMYKトナーで生成
シアン、マゼンタ、イエロー、黒のトナーで黒を合成します。茶色に近い黒になります。写真に適しています。
- ・黒(K)トナーのみで生成
黒トナーのみで黒を印刷します。図形、文字に適しています。写真を印刷すると暗い部分が黒っぽくなることがあります。



- ① 印刷したいファイルを開きます。
- ② [ファイル]メニューの [印刷]を選択します。
- ③ [詳細設定]をクリックします。
- ④ [カラー]タブの [印刷モード]で [カラー調整]を選択し、[詳細]をクリックします。
- ⑤ [黒の生成]から適当な項目を選択します。



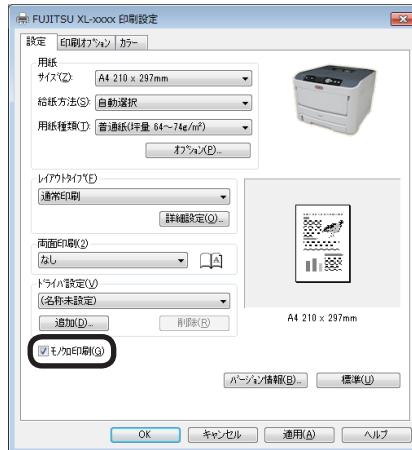
モノクロ（白黒）で印刷したい

印刷データに手を加えることなく、カラーデータをモノクロ（階調のある白黒）で印刷します。

4



- ① 印刷したいファイルを開きます。
- ② [ファイル]メニューの [印刷] を選択します。
- ③ [詳細設定] をクリックします。
- ④ [カラー]タブの[印刷モード]で [モノクロ] を選択します。
または、[設定] タブの [モノクロ印刷] にチェックを付けます。

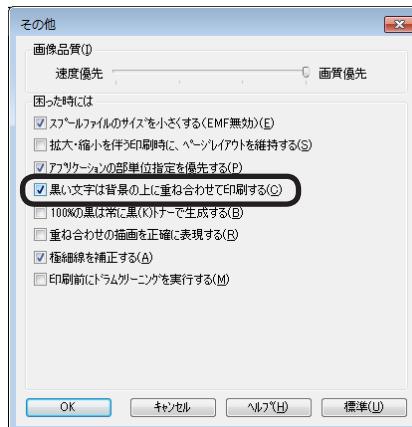


文字と背景の間のすき間をなくしたい（ブラックオーバープリント）

黒 100% の文字を色の付いた背景上に描画する場合に、文字と背景部分を重ねあわせて印刷（オーバープリント）することができます。文字と背景の境界に白すじなどのすき間ができた場合に設定してください。



- ・アプリケーションによっては利用できない場合があります。
- ・文字が黒 100% でない場合や、文字がアウトライン抽出などによりグラフィックス化されている場合やイメージとなっている場合には利用できません。
- 例えば、Windows で Microsoft Office アプリケーションを使用する場合、True Type フォントを使用して大きな文字を印刷すると、アプリケーション側で文字をグラフィックイメージに置き換えるため、ブラックオーバープリントが効かないことがあります。この場合はプリンタ内蔵フォントを指定してください。
- ・背景の色が濃い場合（トナー層厚として 240% を超える場合）にはトナーがきちんと定着しないことがあります。例えばシアン 50%、マゼンタ 50%、イエロー 50% の背景色の上に黒 100% の文字を描画すると、トナー層厚は $50+50+50+100=250\%$ となり、240% を超ることになります。



- ① 印刷したいファイルを開きます。
- ② [ファイル]メニューの [印刷]を選択します。
- ③ [詳細設定]をクリックします。
- ④ [印刷オプション]タブの[その他]をクリックします。
- ⑤ [黒い文字は背景の上に重ね合わせて印刷する]にチェックを付けます。



色見本印刷して希望色の RGB 値を決めたい

色見本印刷ユーティリティはプリンタで RGB 色の見本を印刷するためのユーティリティです。印刷された色見本を見ることにより、希望する色を印刷するにはアプリケーションでどのような RGB 値の指定を行えば良いかを確認することができます。

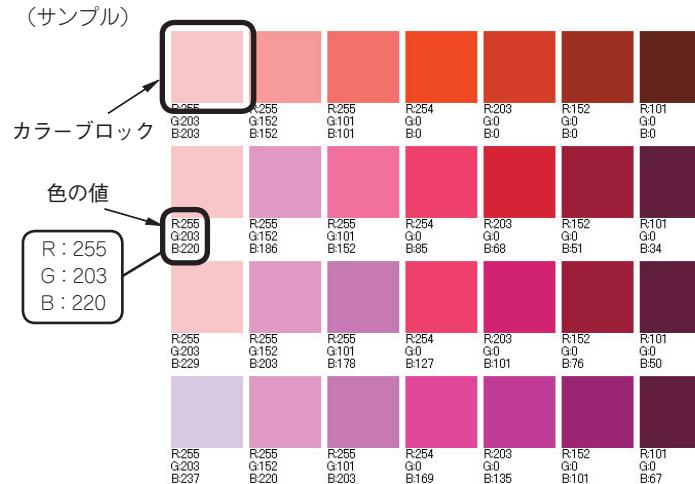


色見本印刷ユーティリティのセットアップについては、8ページをご覧ください。

1 色見本を印刷します。

- ① [スタート] - [すべてのプログラム] - [FUJITSU] - [色見本印刷ユーティリティ] - [色見本印刷ユーティリティ] を選択します。
- ② [印刷] ボタンをクリックします。
- ③ プリンタを選択します。
- ④ [OK] または [印刷] をクリックします。

色見本が3ページ印刷されます。



メモ カラーブロックの下に表示される RGB 値は、カラーブロックの R(赤)、G(緑)、B(青)の色の成分量(0 ~ 255)を表しています。

- ⑤ 印刷された色見本から、印刷したい色を選択し、印刷されている RGB 値をメモします。

メモ

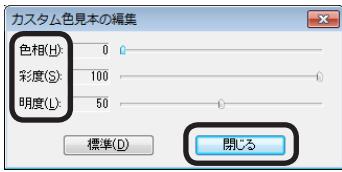
色見本に印刷したい色がない場合は、次の手順で色見本のカスタマイズを行います。



① [切り替え] ボタンをクリックし、カスタム色見本に切り替えます。



② [詳細] ボタンをクリックし、[カスタム色見本の編集] ダイアログを表示します。

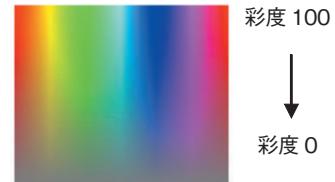


③ 希望の色がモニター画面で表示されるまで、3つのバーを調整し、[閉じる] をクリックします。

色相：色相を変更します。0は赤を示し、値を増加すると緑方向へと回ります。



彩度：鮮やかさを変更します。彩度が高ければより鮮やかに、低ければ濁った色(グレー)となります。



4

明度：濃さを変更します。明度が最大(100%)の場合には白、最も暗くなる(0%)と黒となります。



④ [印刷] ボタンをクリックします。

⑤ プリンタを選択します。

⑥ [OK] または [印刷] をクリックします。
プリンタから1ページ印刷されます。

⑦ 色見本に希望する色が見つからない場合は、手順①から繰り返します。

2 アプリケーションから希望する色を印刷します。

- ① アプリケーションを起動します。
- ② アプリケーション上で、テキストやグラフィックを選択し、印刷したい色の色見本のRGB値を変更します。

 アプリケーション上での色の指定方法は、各アプリケーションのマニュアルをご覧ください。

- ③ 印刷します。

 アプリケーションから希望する色を印刷するとき、色見本を印刷したときに使用した設定値と同じプリンタドライバ設定値を使用してください。

特定の色味を強くしたい、または弱くしたい

プリンタの色味を好みに合わせて調整する場合は、プリンタの操作パネルで調整を行ってください。

調整は、各色の淡い（Highlight）・濃い（Dark）・中間（Mid-tone）の3ヶ所の部分を濃くしたり、薄くしたりすることで指定します。

ここでは、シアンの色の淡い部分を少し濃くする手順について説明します。シアンの他の部分や、他の色を調整したい場合は、それぞれの色について調整を行ってください。

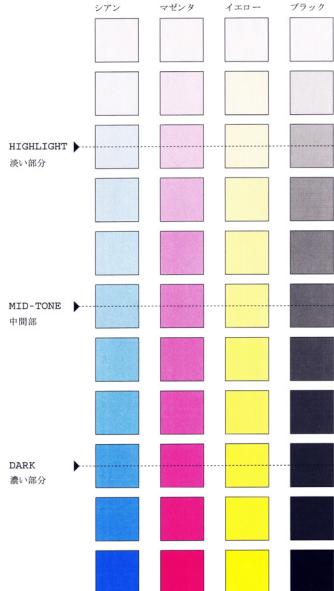
1 カラー調整パターンを印刷します。

- ① ボタンを数回押して [プリンタ調整] を選択し、 設定ボタンを押します。
- ② ボタンを数回押して [調整パターン印刷 / 実行] を表示します。
- ③ 設定ボタンを押します。

カラー調整パターン印刷が開始されます。

カラー調整パターンには四角が縦11行、横4列で配置されていて、縦11行は色の調子を表しており、[HIGHLIGHT 淡い部分]、[MID-TONE 中間部]、[DARK 濃い部分] とそれぞれの文字右側に破線が印刷されています。横4列は左からシアン、マゼンタ、イエロー、ブラックを表しており、[シアン]、[マゼンタ]、[イエロー]、[ブラック] と印刷されています。

カラー調整パターン



2 シアンの色を調整します。

淡い部分の調整は、淡い部分（Highlight）の設定値を変更します。

- ① [Highlight／XX]（XXは現在設定されている値）と表示されていることを確認します。表示されている場合は、⑤に進みます。そうでない場合は、②～④を実行します。

②  ボタンを数回押して [プリント調整] を選択し、 設定ボタンを押します。

③  ボタンを数回押して [シアン調整] を選択し、 設定ボタンを押します。

④  ボタンまたは  ボタンを数回押して [Highlight] を選択し、 設定ボタンを押します。

⑤  ボタンを数回押して、設定されている値より大きい値を選択し、 設定ボタンを押します。

メモ 数字を増やすと濃い方向に、減らすと薄い方向に調整されます。

⑥  設定ボタンを押し、値の右側に [*] を付けます。

⑦  「オンライン」ボタンを押し、「オンライン」にします。

3 アプリケーションから印刷します。

好みの調子にならない場合は手順1,2を繰り返してください。

5

プリンタメニューの使い方について

省電力モード（パワーセーブ）に入るまでの時間を変更したい	98
スリープモードに入るまでの時間を変更したい	99
印刷をキャンセルしたい	102
コンピューターからプリンタの状態を確認したい	103
コンピューターからプリンタの設定を変更したい	104
プリンタ内蔵フォントを確認したい	105
プリンタの操作パネルで IP アドレスを設定したい	106



省電力モード（パワーセーブ）に入るまでの時間を変更したい

省電力モードに入るまでの時間を設定できます。

省電力モードに入るまでの時間を長くすると、印刷開始までの時間を短くできる場合があります。

設定した時間、データを受信しないと省電力モードになります。

「1分」
「3分」
*「5分」
「15分」
「30分」
「60分」
「240分」

*は初期値です。

5

ここでは操作パネルで時間を変更する手順を説明します。

- ① ボタンを数回押して [メニュー] を選択し、 設定ボタンを押します。
- ② ボタンを数回押して [システム設定] を選択し、 設定ボタンを押します。
- ③ [パワーセーブ移行時間] が選択されているので、 設定ボタンを押します。
- ④ ボタンまたは ボタンを数回押して、設定したい時間を選択し、 設定ボタンを押します。
- ⑤ オンラインボタンを押し、[印刷できます] を表示します。

スリープモードに入るまでの時間を変更したい

スリープモードに入るまでの時間を設定できます。

省電力モード（パワーセーブ）に入ってから、設定した時間データを受信しないとスリープモードになります。

* は初期値です。

「1分」
「2分」
「3分」
「4分」
*「5分」
「10分」
「15分」
「30分」
「60分」
「120分」
「180分」

5

ここでは操作パネルで時間を変更する手順を説明します。

- ①  ボタンを数回押して [メニュー] を選択し、 設定ボタンを押します。
- ②  ボタンを数回押して [システム設定] を選択し、 設定ボタンを押します。
- ③  ボタンを押して [スリープ移行時間] を選択し、 設定ボタンを押します。
- ④  ボタンまたは  ボタンを数回押して、設定したい時間を選択し、 設定ボタンを押します。
- ⑤  オンラインボタンを押し、「印刷できます」を表示します。

スリープモードの解除方法

スリープモードを解除するには、 節電 / 解除ボタンを押すか、ネットワークから印刷データをプリンタに送信します。

スリープモード時の制限事項

プリンタがスリープモードに移行すると、プリンタドライバ、ユーティリティの機能が次のように制限されます。

プリンタがスリープモードに移行している場合は、操作パネルの  節電 / 解除ボタンを押し、「印刷できます」が表示されることを確認してください。
「印刷できます」と表示していれば、次の制限事項は発生しません。



USB 接続時にコンピューターの電源が入っている間はスリープモードに移行しません。

ソフトウェア名	スリープモード時の制限事項	節電 / 解除ボタンを押す以外の対処方法
プリンタドライバ	USB で接続している場合は、印刷できません。	ネットワークでプリンタに接続します。
Network Extention	プリンタに接続できません。	-
カラー調整ユーティリティ	USB で接続している場合は、テスト印刷ができません。	ネットワークでプリンタに接続します。
ドライバインストーラ	<ul style="list-style-type: none"> ネットワークで接続している場合は、ドライバインストール時、プリンタのオプション情報を自動で取得できません。 USB で接続している場合は、プリンタがスリープモードから復帰するまで、ドライバのインストールが完了しません。 	-

スリープモードのネットワーク機能制限事項

スリープモードでは、ネットワークの機能に次のような制限があります。

TCP のコネクションが確立している場合は、スリープモードに移行しません

印刷できない

スリープモード中は、NBT プロトコルを使用した印刷はできません。

検索・設定できない

スリープモード中は、次の機能 / プロトコルを使用した検索 / 設定はできません。

- 1) PnP-X
- 2) UPnP
- 3) LLTD
- 4) FLDP
- 5) ODNSP
- 6) JCP
- 7) MIB ※1

※1 スリープモード中にサポートする一部の MIB による参照 (Get コマンド) は可能です。

クライアント機能をもつプロトコルが動作しない

- 1) Eメールアラート※2
- 2) SNMP トラップ
- 3) WINS ※3

※2 スリープモード中の経過時間は、Eメールアラートの定期的な通知時間の間隔には含まれません。

※3 スリープモード中の経過時間は、WINS の更新時間の間隔に含まれません。

スリープモード中は WINS の定期更新を行わないため、WINS サーバーに登録された名前が削除されることがあります。

スリープモードを無効にして使用するプロトコル

IPv6 プロトコルを使用する場合は、スリープモードを無効にしてください。



印刷をキャンセルしたい

プリンタで処理中のデータをキャンセルすることができます。

1 プリンタの操作パネルで印刷をキャンセルします。

① ● 「キャンセル」ボタンを“2秒以上”押して、表示が変わったら離します。

プリンタは印刷ジョブの最後まで受け取ってキャンセルします。



- ・ プリンタで印刷準備が整ったページはそのまま印刷されます。
- ・ [データを削除しています] が長く続く場合はコンピューターで印刷ジョブを削除してください。

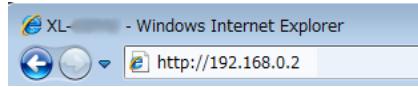
コンピューターからプリンタの状態を確認したい

ネットワーク上のコンピューターからプリンタの状態を確認できます。

Color Printia LASER InternetService を使う場合

注! TCP/IP でネットワークに接続している場合に利用できます。

「プリンタステータス」 ウィンドウで確認する

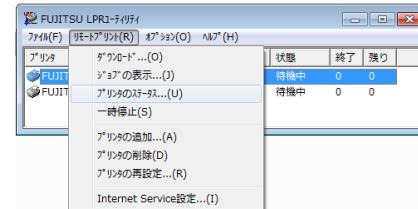


① Web ブラウザーを起動し、[アドレス] にプリンタの IP アドレスを入力し、Enter キーを押します。

「プリンタステータス」 ウィンドウが表示されます。

FUJITSU LPR ユーティリティを使う場合

注! TCP/IP でネットワークに接続している場合に利用できます。



① FUJITSU LPR ユーティリティを起動します。

② 対象のプリンタを選択します。[リモートプリント] メニューの [プリンタのステータス ...] または [ジョブの表示 ...] を選択します。

プリンタの表示パネルの内容が表示されます。



コンピューターからプリンタの設定を変更したい

プリンタの設定の一部を変更することができます。

Color Printia LASER InternetService を使う場合



TCP/IP でネットワークに接続している場合に利用できます。



- ① Web ブラウザーを起動し、[アドレス] にプリンタの IP アドレスを入力し、Enter キーを押します。

「プリンタステータス」ウィンドウが表示されます。

- ② [管理者のログイン] をクリックし、[ユーザー名] に「xladmin」、[パスワード] に現在のパスワードを入力し、[OK] をクリックします。

メモ パスワードの初期値は、「PrintiaLaser」です。

- ③ 左のフレームから設定を変更したい項目をクリックします。

- ④ 必要な変更をした後、[OK] をクリックします。



プリンタ内蔵フォントを確認したい

プリンタに内蔵しているフォントを確認できます。

操作パネルを使う場合

プリンタに標準で内蔵しているフォント名を印刷します。

 A4 用紙以外で印刷を行うとすべての内容が印刷されないことがあります。

- ① トレイに A4 用紙をセットします。
- ②  ボタンを数回押して [プリンタ情報印刷] を選択し、 設定ボタンを押します。
- ③  ボタンを数回押して [フォントリスト／印刷実行] を選択し、 設定ボタンを押します。

フォント名が印刷されます。



プリンタの操作パネルで IP アドレスを設定したい

プリンタの操作パネルから、プリンタのIPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスを設定できます。

 IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスの入力を間違えると、ネットワークがダウンするなど、重大な障害が発生します。ネットワーク管理者と相談のうえ、IPアドレスを設定してください。

①  ボタンを数回押して [管理者用メニュー] を選択し、 設定ボタンを押します。

② パスワード入力画面になるので、パスワードを入力します。

メモ パスワードの初期値は [aaaaaa] です。

③  ボタンまたは  ボタンを押して [ネットワーク設定] を選択し、 設定ボタンを押します。

④ [TCP/IP] が [無効] に設定されている場合は、[有効] に設定します。

⑤  ボタンを数回押して [IPアドレス] を選択し、 設定ボタンを押します。

⑥  ボタンまたは  ボタンを押して、IPアドレスの1桁目を設定します。

⑦  設定ボタンを押します。

⑧ ⑥～⑦を繰り返して、すべての桁を設定します。

⑨ 4桁目を設定すると、値の左側に * がつきます。



⑩ 戻るボタンを押します。

⑪ [IPアドレス] と同様に、[サブネットマスク]、[ゲートウェイアドレス] を設定します。

⑫  オンラインボタンを押し、[印刷できます] を表示します。

6

ネットワーク機能について

ネットワーク設定項目の一覧	108
ネットワーク機能を初期化します	116
ネットワークの設定情報 (Network Information) を印刷します	117
IP アドレスの設定	118
通信を暗号化します (SSL/TLS)	121
IP アドレスでのアクセス制限機能 (IP フィルタ) を使います	128
MAC アドレスでのアクセス制限機能を使います	131
メール送信機能 (SMTP) を使います	135
SNMP を使います	143
IPv6 を使います	144



ネットワーク設定項目の一覧

プリンタのネットワーク機能で設定できる項目を説明します。

現在設定されている値は、メニュー「マップ印刷」の「ネットワーク」の設定情報（Network Information）で確認できます。

設定値を変更するには、Color Printia LASER InternetService を使用します。

TCP/IP

網かけ部は初期値です。

Color Printia LASER InternetService	設定値	機能説明
—	ENABLE DISABLE	TCP/IP プロトコルの使用／非使用を設定します。
IP アドレス設定	AUTO（自動） MANUAL（手動）	DHCP サーバへ IP アドレス取得を要求するか、しないかを設定します。
IP アドレス	192.168.100.100	IP アドレスを設定します。
サブネットマスク	255.255.255.0	サブネットマスクを設定します。
ゲートウェイアドレス	0.0.0.0	ゲートウェイ（デフォルトルーター）アドレスを設定します。0.0.0.0 はルーターなしを意味します。
DNS サーバアドレス（プライマリ）	0.0.0.0	プライマリ DNS サーバーの IP アドレスを設定します。SMTP（E-Mail）プロトコルを使用するときに設定してください。「SMTP Server Name」を IP アドレスで設定する場合は、設定する必要はありません。
DNS サーバアドレス（セカンダリ）	0.0.0.0	セカンダリ DNS サーバーの IP アドレスを設定します。SMTP（E-Mail）プロトコルを使用するときに設定してください。「SMTP Server Name」を IP アドレスで設定する場合は、設定する必要はありません。
ダイナミック DNS	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	IP アドレスなどが、変更されたときに、それらの情報を DNS サーバーに登録し直すか、しないかを設定します。
ドメイン名	なし	プリンタが属するドメイン名を設定します。
WINS サーバ（プライマリ）	0.0.0.0	Windows 環境で、ネームサーバー（コンピューター名から IP アドレスに変換するためのサーバー）を使用している場合に、ネームサーバーの IP アドレスまたはネームサーバー名を設定します。
WINS サーバ（セカンダリ）	0.0.0.0	Windows 環境で、ネームサーバー（コンピューター名から IP アドレスに変換するためのサーバー）を使用している場合に、ネームサーバーの IP アドレスまたはネームサーバー名を設定します。
スコープ ID	なし	WINS の ScopelD を設定します。1～223 文字の英数字です。
Windows	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	Windows の自動検出機能の使用／非使用を設定します。

網かけ部は初期値です。

Color Printia LASER InternetService	設定値	機能説明
プリンタ名	「FUJITSU」 + 「-」 + 「製品名」 + 「-」 + 「MAC アドレス英数字下 6 桁」	自動検出機能で、プリンタ名をコンピューターにどのように表示させるかを設定します。
パスワード設定	PrintiaLaser	管理者パスワードを変更します。15 文字以内の英数字です。大文字、小文字は区別されます。忘れてしまうと設定を変更できなくなります。
IPv6	ENABLE (有効) DISABLE (無効)	IPv6 の機能の使用／非使用を設定します。
WSD Print	ENABLE (有効) DISABLE (無効)	WSD Print の使用／非使用を設定します。
LLTD	ENABLE (有効) DISABLE (無効)	LLTD の使用／非使用を設定します。

SNMP

網かけ部は初期値です。

Color Printia LASER InternetService	設定値	機能説明
管理者の連絡先	なし	システム管理者の連絡先を入力します。半角で 255 文字以内です。
プリンタ名	「FUJITSU」 + 「-」 + 「製品名」 + 「-」 + 「MAC アドレス英数字下 6 桁」	プリンタの名前を入力します。半角で 31 文字以内です。
設置場所	なし	プリンタの設置場所を入力します。半角で 255 文字以内です。
プリンタ管理番号	なし	お客様がプリンタを管理するための数値を入力することができます。半角で 8 文字以内です。
使用する SNMP 設定	SNMPv1	使用する SNMP バージョンを設定します。
SNMP Read コミュニティの設定	public	SNMPv1 で使用する、Read Community を設定します。15 文字以内の英数字です。
SNMP Write コミュニティの設定	public	SNMPv1 で使用する、Write Community を設定します。15 文字以内の英数字です。

printer trap

Color Printia LASER InternetService	設定値	機能説明
プリンタ Trap コミュニティ名設定	public	プリンタ Trap のコミュニティ名を設定します。31文字以内の英数字です。
Trap 送信許可 #1-5	ENABLE DISABLE	TCP #1-5 でプリンタ Trap を使用するかどうか設定します。
プリンタ再起動 #1-5	ENABLE DISABLE	プリンタが再起動したときに SNMP メッセージを送信するかを選択します。
不正 Trap 受信 #1-5	ENABLE DISABLE	「プリンタ Trap コミュニティ名設定」で指定した以外のコミュニティ名でプリンタにアクセスしたときに Trap を使用するかどうか設定します。
オンライン #1-5	ENABLE DISABLE	プリンタが ON-LINE になるたびに SNMP メッセージを送信するかを設定します。
オフライン #1-5	ENABLE DISABLE	プリンタが OFF-LINE になるたびに SNMP メッセージを送信するかを設定します。
用紙なし #1-5	ENABLE DISABLE	プリンタが用紙切れ状態になったときに SNMP メッセージを送信するかを選択します。
用紙ジャム #1-5	ENABLE DISABLE	プリンタに用紙がつまつたときに SNMP メッセージを送信するかを選択します。
カバーオープン #1-5	ENABLE DISABLE	プリンタのカバーが開かれるたびに SNMP メッセージを送信するかを選択します。
プリンタエラー #1-5	ENABLE DISABLE	プリンタにエラーが発生したときに SNMP メッセージを送信するかを選択します。
アドレス #1-5	0.0.0.0	TCP/IP の場合の Trap 送信先アドレスを設定します。設定値は 10 進数 「***.***.***.***」 形式で入力します。IP アドレスが 0.0.0.0 の場合は、Trap を送信しません。アドレスは 5ヶ所まで指定できます。

網かけ部は初期値です。

SMTP (Email 送信)

網かけ部は初期値です。

Color Printia LASER InternetService	設定値	機能説明
SMTP 送信	ENABLE (有効) DISABLE (無効)	SMTP (Email) 送信プロトコルを使用するかどうか設定します。
SMTP サーバ名	なし	SMTP サーバー名を設定します。ドメイン名または IP アドレスを指定してください。ドメイン名を指定する場合は、DNS (Pri) (sec) の設定が必要です。
SMTP ポート番号	25	SMTP のポート番号を設定します。通常は初期設定でご使用ください。
プリンタ Email アドレス	なし	プリンタの Email アドレスを設定します。
返信先 Email アドレス	なし	返信用のアドレスを設定します。通常はネットワーク管理者のメールアドレスを指定してください。
Email アドレス 1-5	なし	送信先のアドレスを設定します。アドレスは 5ヶ所まで指定できます。
障害通知方法	EVENT (障害発生時の通知) PERIOD (定期的な通知)	障害を通知する方法を設定します。
メール通知間隔	1 ↳ 24	通知間隔を設定します。定期的な通知を選択した場合のみ有効です。
消耗品 警告	DISABLE (無効) Immediate (即時) ↳ 48 H 45 M ENABLE (有効)	プリンタの消耗品(トナーカートリッジ、ドラムカートリッジなど)に関する警告を通知するかどうかを設定します。 発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
消耗品 警告	ENABLE (有効) DISABLE (無効)	プリンタの消耗品(トナーカートリッジ、ドラムカートリッジなど)に関する警告を通知するかどうかを設定します。 定期的な通知を選択している場合のみ有効です。
消耗品 エラー	DISABLE (無効) Immediate (即時) ↳ 48 H 45 M ENABLE (有効)	プリンタの消耗品(トナーカートリッジ、ドラムカートリッジなど)に関するエラーを通知するかどうかを設定します。 発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
消耗品 エラー	ENABLE (有効) DISABLE (無効)	プリンタの消耗品(トナーカートリッジ、ドラムカートリッジなど)に関するエラーを通知するかどうかを設定します。 定期的な通知を選択している場合のみ有効です。

網かけ部は初期値です。

Color Printia LASER InternetService	設定値	機能説明
メンテナスユニット 警告	DISABLE (無効) Immediate (即時) ↓ 2 H 0 M ↓ 48 H 45 M ENABLE (有効)	メンテナスユニット（定着器ユニット、ベルトユニットなど）に関する警告を通知するかどうかを設定します。 発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
メンテナスユニット 警告	ENABLE (有効) DISABLE (無効)	メンテナスユニット（定着器ユニット、ベルトユニットなど）に関する警告を通知するかどうかを設定します。 定期的な通知を選択している場合のみ有効です。
メンテナスユニット エラー	DISABLE (無効) Immediate (即時) ↓ 48 H 45 M ENABLE (有効)	メンテナスユニット（定着器ユニット、ベルトユニットなど）に関するエラーを通知するかどうかを設定します。 発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
メンテナスユニット エラー	ENABLE (有効) DISABLE (無効)	メンテナスユニット（定着器ユニット、ベルトユニットなど）に関するエラーを通知するかどうかを設定します。 定期的な通知を選択している場合のみ有効です。
用紙の補充 警告	DISABLE (無効) Immediate (即時) ↓ 0 H 15 M ↓ 48 H 45 M ENABLE (有効)	用紙に関する警告を通知するかどうかを設定します。 発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
用紙の補充 警告	ENABLE (有効) DISABLE (無効)	用紙に関する警告を通知するかどうかを設定します。 定期的な通知を選択している場合のみ有効です。
用紙の補充 エラー	DISABLE (無効) Immediate (即時) ↓ 48 H 45 M ENABLE (有効)	用紙に関するエラーを通知するかどうかを設定します。 発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
用紙の補充 エラー	ENABLE (有効) DISABLE (無効)	用紙に関するエラーを通知するかどうかを設定します。 定期的な通知を選択している場合のみ有効です。

網かけ部は初期値です。

Color Printia LASER InternetService	設定値	機能説明
印刷中の用紙 警告	DISABLE (無効) Immediate (即時) ↓ 48 H 45 M ENABLE (有効)	用紙の搬送に関する警告を通知するかどうかを設定します。 発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
印刷中の用紙 警告	ENABLE (有効) DISABLE (無効)	用紙の搬送に関する警告を通知するかどうかを設定します。 定期的な通知を選択している場合のみ有効です。
印刷中の用紙 エラー	DISABLE (無効) Immediate (即時) ↓ 2 H 0 M ↓ 48 H 45 M ENABLE (有効)	用紙の搬送に関するエラーを通知するかどうかを設定します。 発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
印刷中の用紙 エラー	ENABLE (有効) DISABLE (無効)	用紙の搬送に関するエラーを通知するかどうかを設定します。 定期的な通知を選択している場合のみ有効です。
印刷の結果 警告	DISABLE (無効) Immediate (即時) ↓ 48 H 45 M ENABLE (有効)	印刷結果に影響する障害に関する警告を通知するかどうかを設定します。 発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
印刷の結果 警告	ENABLE (有効) DISABLE (無効)	印刷結果に影響する障害に関する警告を通知するかどうかを設定します。 定期的な通知を選択している場合のみ有効です。
印刷の結果 エラー	DISABLE (無効) Immediate (即時) ↓ 2 H 0 M ↓ 48 H 45 M ENABLE (有効)	印刷結果に影響するエラーを通知するかどうかを設定します。 発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
印刷の結果 エラー	ENABLE (有効) DISABLE (無効)	印刷結果に影響するエラーを通知するかどうかを設定します。 定期的な通知を選択している場合のみ有効です。
インターフェースの異常警告	DISABLE (無効) Immediate (即時) ↓ 48 H 45 M ENABLE (有効)	インターフェース（ネットワーク etc.）に関する警告を通知するかどうかを設定します。 発生時の通知を選択している場合のみ有効です。

Color Printia LASER InternetService	設定値	機能説明
インターフェースの異常警告	ENABLE (有効) DISABLE (無効)	インターフェース(ネットワーク etc.)に関する警告を通知するかどうかを設定します。 定期的な通知を選択している場合のみ有効です。
インターフェースの異常エラー	DISABLE Immediate (即時) ` 2 H 0 M ` 48 H 45 M ENABLE	インターフェース(ネットワーク etc.)に関するエラーを通知するかどうかを設定します。 発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
インターフェースの異常エラー	ENABLE (有効) DISABLE (無効)	インターフェース(ネットワーク etc.)に関するエラーを通知するかどうかを設定します。 定期的な通知を選択している場合のみ有効です。
その他	DISABLE (無効) Immediate (即時) ` 2 H 0 M ` 48 H 45 M ENABLE (有効)	その他の重大なエラーを通知するかどうかを設定します。 発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
その他	ENABLE (有効) DISABLE (無効)	その他の重大なエラーを通知するかどうかを設定します。 定期的な通知を選択している場合のみ有効です。
付加情報設定 プリンタモデル	ENABLE (有効) DISABLE (無効)	送信メールに記載するプリンタ情報に、プリンタモデル名を含めるかどうかを設定します。
付加情報設定 ネットワークインターフェース	ENABLE (有効) DISABLE (無効)	送信メールに記載するプリンタ情報に、ネットワークインターフェース名を含めるかどうかを設定します。
付加情報設定 プリンタシリアルナンバー	ENABLE (有効) DISABLE (無効)	送信メールに記載するプリンタ情報に、プリンタのシリアルナンバーを含めるかどうかを設定します。
付加情報設定 プリンタ管理番号	ENABLE (有効) DISABLE (無効)	送信メールに記載するプリンタ情報に、プリンタの管理番号を含めるかどうかを設定します。
付加情報設定 プリンタ名	ENABLE (有効) DISABLE (無効)	送信メールに記載するプリンタ情報に、System-Nameを含めるかどうかを設定します。
付加情報設定 設置場所	ENABLE (有効) DISABLE (無効)	送信メールに記載するプリンタ情報に、System-Locationを含めるかどうかを設定します。
付加情報設定 IP アドレス	ENABLE (有効) DISABLE (無効)	送信メールに記載するプリンタ情報に、IP アドレスを含めるかどうかを設定します。

網かけ部は初期値です。

Color Printia LASER InternetService	設定値	機能説明
付加情報設定 MAC アドレス	ENABLE (有効) DISABLE (無効)	送信メールに記載するプリンタ情報に、MAC アドレスを含めるかどうかを設定します。
付加情報設定 ショートプリンタ名	ENABLE (有効) DISABLE (無効)	送信メールに記載するプリンタ情報に、プリンタのコンピューター名を含めるかどうかを設定します。
付加情報設定 プリンタ URL	ENABLE (有効) DISABLE (無効)	送信メールに記載するプリンタ情報に、プリンタのURLを含めるかどうかを設定します。
コメント	なし	送信メールの文末に付加するコメントを設定します。4行設定できます。1行は63文字まで入力でき、それを越える場合は自動的に改行します。
SMTP 認証設定	ENABLE (有効) DISABLE (無効)	SMTP 認証をするかどうかを設定します。
ユーザ ID	なし	SMTP 認証のユーザ ID を設定します。
パスワード	なし	SMTP 認証のパスワードを設定します。

網かけ部は初期値です。

Maintenance

網かけ部は初期値です。

Color Printia LASER InternetService	設定値	機能説明
LAN の規模の設定	NORMAL (普通) SMALL (小規模)	Normal (普通) : 通常この設定を使用してください。スパンニングツリー機能をもつハブに接続した場合でも効率よく動作します。ただし、コンピューターが2,3台の小さなLANに接続するとプリンタが起動する時間が長くなるデメリットがあります。 SMALL (小規模) : コンピューターが2,3台の小さなLANから大型のLANまで対応しますが、スパンニングツリー機能をもつハブに接続した場合に効率よく動作できない場合があります。
HEX ダンプモード	NO YES	このモードに設定すると、受信した印刷データをすべて16進数で表示します。プリンタを再起動すると本モードを抜けます。
HUBとの接続の設定	AUTO NEGOTIATION 100BASE-TX FULL 100BASE-TX HALF 10BASE-T FULL 10BASE-T HALF	HUBとの通信速度と通信方法を設定することができます。通常は、AUTO NEGOTIATIONを設定します。 HUBの通信速度を固定して使用したい場合は、プリンタ側の通信速度設定と同じ値にすることをお勧めします。

Security

網かけ部は初期値です。

Color Printia LASER InternetService	設定値	機能説明
Web (ポート番号: 80)	ENABLE (有効) DISABLE (無効)	プリンタに対してWebブラウザでのアクセスの使用 / 非使用を設定します。
Web	1 ＼ 80 ＼ 65535	プリンタのWebページ(Internet Service)にアクセスするためのポート番号を設定します。
IPP (ポート番号: 631)	ENABLE (有効) DISABLE (無効)	IPPプロトコルの使用 / 非使用を設定します。
SNMP	ENABLE (有効) DISABLE (無効)	プリンタに対してSNMPでのアクセスの使用 / 非使用を設定します。通常はENABLE(使用する)でお使いください。
SMTP	1 ＼ 25 ＼ 65535	SMTPプロトコルのポート番号を設定します。
パスワード設定	PrintiaLaser	管理者パスワードを変更します。15文字以内の英数字です。大文字、小文字は区別されます。忘れてしまうと設定を変更できなくなります。

IP Filtering

Color Printia LASER InternetService	設定値	機能説明
IP フィルタリング	ENABLE (有効) DISABLE (無効)	IP アドレスごとのアクセスを制限する機能の 使用／非使用を設定します。 ただし、この機能は IP アドレスについて充分な知識を必要とします。 通常は必ず DISABLE (使用しない) になるように設定しておいてください。 ENABLE (使用する) に設定し、次の設定をしないと TCP/IP によるアクセスが一切できなくなってしまいます。
開始アドレス #1-10	0.0.0.0	プリンタへアクセスを許可する IP アドレスを指定します。
終了アドレス #1-10	0.0.0.0	単一の IP アドレスを指定することもできますが、範囲で指定することもできます。アドレスの範囲（「開始アドレス」と「終了アドレス」）を設定してください。0.0.0.0 を入力すると無効になります。
印刷 #1-10	ENABLE DISABLE	IP Address Range #1-10 で設定した IP アドレスからの印刷を許可します。
設定 #1-10	ENABLE DISABLE	IP Address Range #1-10 で設定した IP アドレスからの設定変更を許可します。
管理者の IP アドレス	0.0.0.0	管理者の IP アドレスを指定します。 このアドレスだけは、必ずプリンタにアクセスできます。 ただし、管理者がプロキシ経由でプリンタにアクセスするように設定している場合には、プロキシのアドレスが設定されてしまいます。プロキシのアドレスが設定されるとプロキシ経由でアクセスする人はすべて許可となります。 管理者はプリンタに対してプロキシを経由しないでアクセスすることが理想です。

網かけ部は初期値です。

MAC Address Filtering

Color Printia LASER InternetService	設定値	機能説明
MAC アドレスフィルタリング	ENABLE (有効) DISABLE (無効)	MAC アドレスごとのアクセスを制御する機能の 使用／非使用を設定します。ただし、この機能は MAC アドレスについて充分な知識を必要とします。通常は必ず DISABLE (使用しない) になるように設定しておいてください。ENABLE (使用する) に設定し、次の設定をしないとネットワークによるアクセスが一切できなくなってしまいます。
MAC アドレスからの通信	ACCEPT (許可) DENY (拒否)	MAC Address Access #1-50 で設定した MAC アドレスからのアクセスを許可するか拒否するかを設定します。
フィルタする MAC アドレス #1-50	00:00:00: 00:00:00	プリンタへアクセスを許可（拒否）する MAC アドレスを指定します。 00:00:00:00:00:00 を入力すると無効になります。
管理者の MAC アドレス	00:00:00: 00:00:00	管理者の MAC アドレスを指定します。 このアドレスだけは、必ずプリンタにアクセスできます。ただし、管理者がプロキシ経由でプリンタにアクセスするように設定している場合には、プロキシのアドレスが設定されてしまいます。プロキシのアドレスが設定されているとプロキシ経由でアクセスする人はすべて許可となります。 管理者はプリンタに対してプロキシを経由しないでアクセスすることが理想です。

網かけ部は初期値です。

SSL/TLS

網かけ部は初期値です。

Color Printia LASER InternetService	設定値	機能説明
SSL/TLS	ON (オン) OFF (オフ)	SSL/TLS の使用 / 非使用を設定します。
暗号化強度	Weak (弱) Standard (標準) Strong (強)	暗号化の強度を設定します。
使用する証明書の作成	自身で署名した証明書を使用する (自己署名証明書) 認証局が発行した証明書を使用する (認証局証明書)	自己署名証明書を作成します。また、認証局へ送付する CSR の作成と認証局が発行する証明書のインストールをします。
Common Name	(プリンタ自身の IP アドレス)	自己署名証明書作成時には装置の IP アドレス (固定) となります。
Organization	なし	組織名 : 所属する組織の正式名称を指定します。入力可能文字数は 64 文字。
Organizational Unit	なし	組織単位 : 属する部門や課、その他組織内のサブグループを指定します。入力可能文字数は 64 文字。
Locality	なし	都市名 : 組織がある都市名や地名を指定します。入力可能文字数は 128 文字。
State/Province	なし	州 / 県 : 組織がある州や県を指定します。入力可能文字数は 128 文字。
Country/Region	なし	国コード : 2 文字の ISO 国 / 地域コードを入力します。(JP (日本)、US (アメリカ合衆国) など) 入力可能文字数は 2 文字
鍵タイプ	RSA	暗号通信に使用する鍵の方式を設定します。
鍵サイズ	2048 bit 1024 bit 512 bit	暗号通信に使用する鍵のサイズを設定します。

Job List

網かけ部は初期値です。

Color Printia LASER InternetService	設定値	機能説明
ジョブキュー表示項目設定	ドキュメント名 ジョブ状態 ジョブ種類 コンピュータ名 ユーザ名 印刷済み面数 送信時間 送信ポート	現在プリンタの印刷待ちになっているジョブ (印刷データ) の一覧に表示する項目を選択します。選択しない場合には、初期値の項目で一覧が表示されます。



ネットワーク機能を初期化します



初期化するとすべてのネットワーク設定項目が初期値になります。

- ① 電源スイッチのオン（|）を押します。
- ② 操作パネルに「印刷できます」と表示していることを確認します。
- ③ ボタンを数回押し、「管理者用メニュー」を選択し、 設定ボタンを押します。
- ④ パスワード入力画面になるので、 ボタンまたは ボタンで1桁目の英小文字または数字を選択し、 設定ボタンを押します。次の桁に移るので、同様の手順で入力します。
最後に 設定ボタンを押します。
- ⑤ ボタンまたは ボタンを押して「ネットワーク設定」を選択し、 設定ボタンを押します。
- ⑥ ボタンを数回押して「工場出荷時設定」を選択し、 設定ボタンを押します。
- ⑦ 「[実行]」と表示されます。
- ⑧ 設定ボタンを押します。
- ⑨ 「[しばらくお待ちください。ネットワーク初期化中です]」と表示されます。

プリンタに設定値が保存され、ネットワーク機能が再起動します。

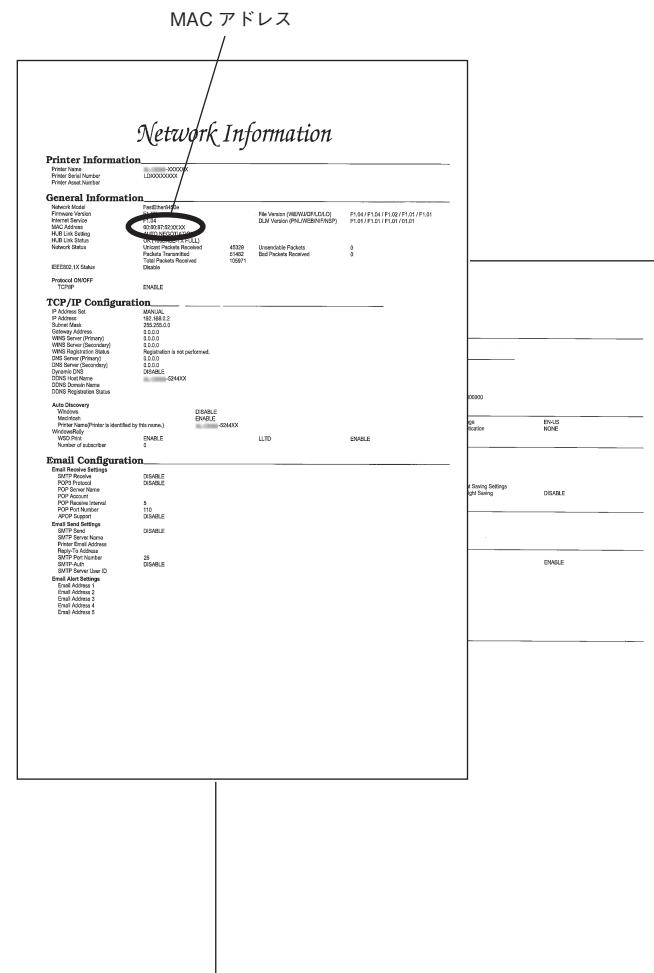
「[印刷できます]」と表示されたら完了です。

ネットワークの設定情報 (Network Information) を印刷します

- ① 電源スイッチのオン (|) を押します。
- ② トレイに A4 用紙をセットします。
- ③ 操作パネルに [印刷できます] と表示していることを確認します。
- ④  ボタンを数回押し、[プリンタ情報印刷] を選択し、 設定ボタンを押します。
- ⑤  ボタンを押して [ネットワーク] を選択し、 設定ボタンを押します。
[印刷実行] が表示されます。
- ⑥  設定ボタンを押します。

ネットワークの設定情報 (Network Information 2枚) の印刷が開始されます。

(例)



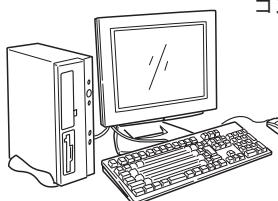


IP アドレスの設定

IP アドレスとは…

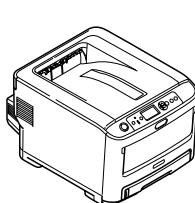
TCP/IP プロトコルを使用してネットワーク接続する場合、コンピューターとプリンタに IP アドレスを設定する必要があります。IP アドレスはネットワーク上に接続されたコンピューターやプリンタの住所のようなものです。正しく設定しないと必要な情報を届ける住所がわからず、通信ができなくなります。

(例)



コンピューター	IP アドレス	: 192. 168. 0. 3
		└── ネットワークアドレス
		└── ホスト ID

サブネットマスク	: 255. 255. 255. 0
ゲートウェイ	: 192. 168. 0. 1



プリンタ	IP アドレス	: 192. 168. 0. 2
		└── ネットワークアドレス
		└── ホスト ID

サブネットマスク	: 255. 255. 255. 0
ゲートウェイ	: 192. 168. 0. 1

IP アドレスはどんな値でも使えるわけではなく、決まりがあります。3 衔の数字が 4 つに区切られた形で設定します。

例でいうと「192.168.0」までをネットワークアドレスといい、残りの「3」や「2」をホスト ID といいます。標準的なネットワークの場合、コンピューターとプリンタのネットワークアドレスが同じでないと通信できません。ホスト ID は、どの機器とも重複しないような値で、1 ~ 254 の間で設定します。

また、IP アドレス以外に、サブネットマスク、ゲートウェイの設定も必要です。基本的にサブネットマスクは「255.255.255.0」を設定します。ゲートウェイは、接続しているルーターの IP アドレスを指定します。通常、コンピューターとプリンタに設定するサブネットマスクとゲートウェイは同じ値にします。

コンピューターの IP アドレス

お手元のコンピューターに設定されている IP アドレスを確認しましょう。

コンピューターの IP アドレスは、接続しているネットワーク環境によって異なります。インターネットをご利用の場合、接続しているプロバイダーやルーターメーカーから指定された値に設定されています。何の値が設定されているかや DHCP などのサーバーがあるかどうかは、プロバイダーやルーターメーカーに確認してください。社内などでネットワーク管理者がいる場合は、管理者に確認してください。

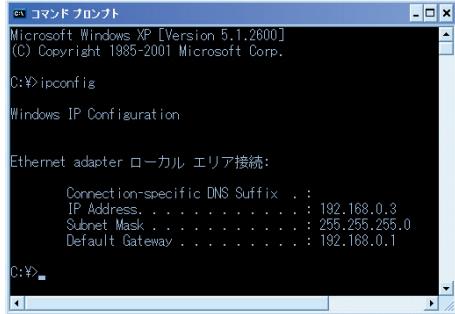
多くの場合、コンピューターは初期設定で「IP アドレスを自動取得する」設定になっています。一般的家庭用ルーター（ADSL ルーターや ISDN ルーター）には DHCP サーバーが標準で搭載されている場合が多く、お手元のコンピューターに何も設定しなくても、ルーターに接続し、コンピューターの電源を入れただけで、サーバーより自動的に IP アドレスを取得します。

お手元のコンピューターの取得している IP アドレスがわからない場合は、下記手順で確認してください。手順はシステム環境のバージョンにより異なりますので、詳しくは各システム環境のマニュアルをご覧ください。

Windows の場合

- ① Windows を起動します。
- ② [スタート] - [すべてのプログラム] - [アクセサリ] - [コマンドプロンプト] を選択します。
- ③ キーボードから [ipconfig] と入力し、Enter キーを押します。

現在設定されている IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイが表示されます。



```
Microsoft Windows XP [Version 5.1.2600]
(C) Copyright 1985-2001 Microsoft Corp.

C:> ipconfig

Windows IP Configuration

Ethernet adapter ローカル エリア接続:

Connection-specific DNS Suffix ：
IP Address . . . . . : 192.168.0.3
Subnet Mask . . . . . : 255.255.255.0
Default Gateway . . . . . : 192.168.0.1

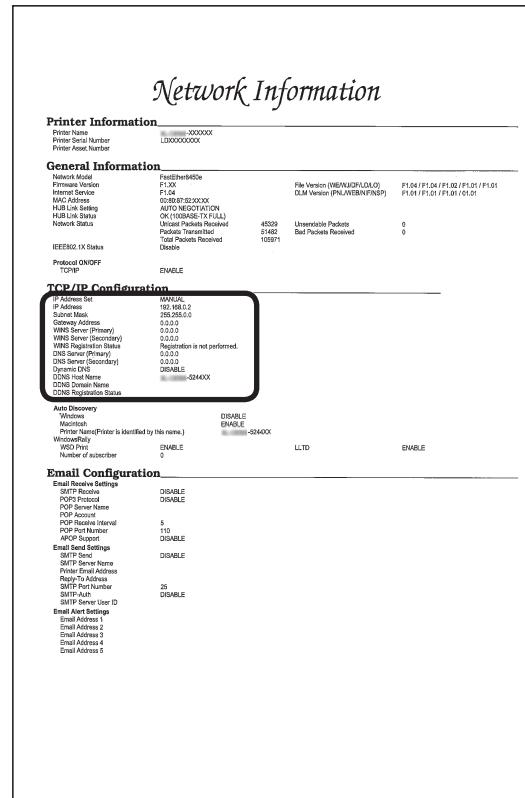
C:>
```

(Windows XP の場合)

プリンタの IP アドレスを確認します

現在、プリンタにどんな IP アドレスが設定されているか確認しましょう。

プリンタに設定されている IP アドレスは、ネットワークの設定情報 (Network Information) に表示されています。ネットワークの設定情報 (Network Information) を印刷し、IP アドレスを確認してください。ネットワークの設定情報 (Network Information) の詳細は 117 ページをご覧ください。



プリンタのIPアドレスを設定します

ネットワークの環境に応じて、プリンタにIPアドレスを設定しましょう。

(1) 初期設定のまま使用します。

- ・ネットワーク上にDHCPサーバーなどがある場合

プリンタは初期設定で「IP ADDRESS SET」が「AUTO」に設定されています。ネットワーク上にDHCPサーバーなどがある場合は、ネットワークに接続し、プリンタの電源を入れただけで、サーバーより自動的にIPアドレスを取得します。

現在のコンピューターとプリンタの設定が下記のようになつていれば、そのままお使いになれます。プリンタのIPアドレスを設定したり変更をする必要はありません。

- IPアドレスのネットワークアドレスが、コンピューターとプリンタで同じ値になっていること。
- IPアドレスのホストIDが、コンピューターとプリンタで違う値になっていること。
- サブネットマスクとゲートウェイが、コンピューターとプリンタで同じ値になっていること。

(2) IPアドレスを手動で設定します。

- ・ネットワーク上にDHCPサーバーなどがない、接続しているコンピューターのシステム環境が異なっている、または社内ネットワーク管理者により決められたIPアドレスを指定されたなど、(1)に当てはまらない場合

プリンタに決められたIPアドレスを手動で設定してください。IPアドレスは、プリンタの操作パネルで設定できます。

「プリンタの操作パネルでIPアドレスを設定したい」(106ページ)をご覧ください。

通信を暗号化します (SSL/TLS)

Web ページからの設定および IPP 印刷時にコンピューター（クライアント） - プリンタ間の通信を暗号化できます。
(HTTP による通信の暗号化)

設定方法

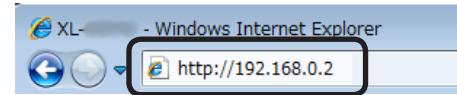
- 1 暗号化設定ツールとしては次のものがあります。
 - 1) Web ページ

- 2 設定の流れ
Web を使用してプリンタで証明書を作成する手順を示します。
作成できる証明書の種類は次の 2 種類があります。
 - 自己署名証明書
 - 認証局証明書 (CSR の作成)

 プリンタの IP アドレスが証明書作成時から変更されてしまうと、その証明書は無効になってしまいます。証明書作成後はプリンタの IP アドレスを変更しないでください。

証明書作成手順

- 1 Web ブラウザーを起動します。
- 2 [アドレス] に URL「http:// プリンタの IP アドレス」を入力し、Enter キーを押します。



「プリンタステータス」 ウィンドウが表示されます。

- 3 [管理者のログイン] をクリックします。



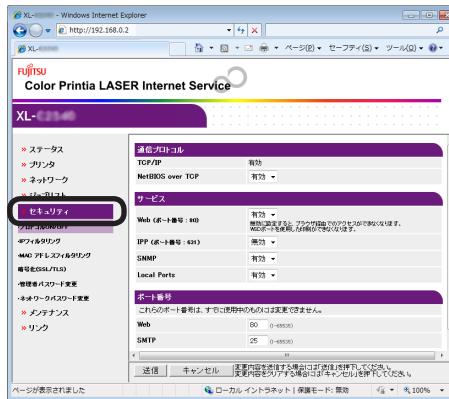
6

- ④ [ユーザー名] に「xladmin」、[パスワード] に現在のパスワードを入力し、[OK] をクリックします。

注 意 パスワードの初期値は「PrintiaLaser」です。

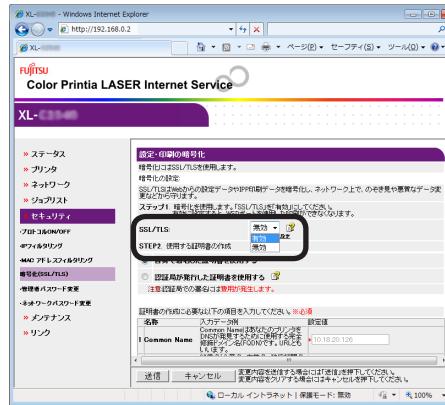


- ⑤ [セキュリティ] タブをクリックします。

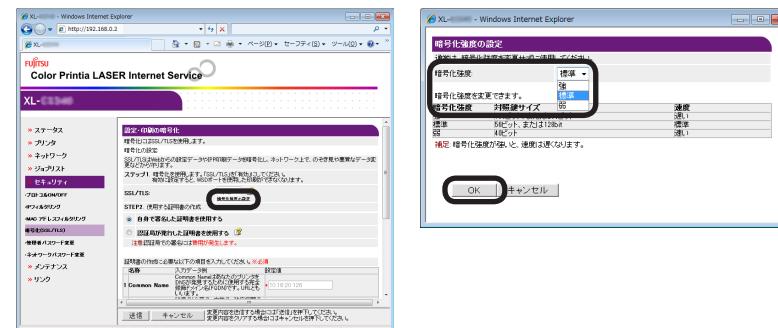


- ⑥ [暗号化 (SSL/TLS)] をクリックします。

- ⑦ SSL/TLS 設定を有効にします。



暗号化強度を変更したいときは？（通常は「標準」のままご使用ください。）
「暗号化強度の変更」をクリックします。



⑧ CommonName、Organization、などの項目を入力します。

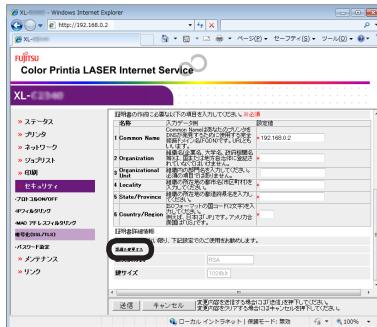
注! 「認証局が発行した証明書を使用する」を選択した場合、入力内容など証明書発行手続きの詳細は、認証局の手順に従ってください。



鍵交換方式、鍵サイズを変更したいときは?

(初期値は RSA、1024bit です。通常はそのまま変更せずにご使用ください。)

注! 「詳細を変更する」をクリックします。



⑨ 入力内容が表示されます。

内容を確認し、[OK] をクリックしてください。証明書を作成します。

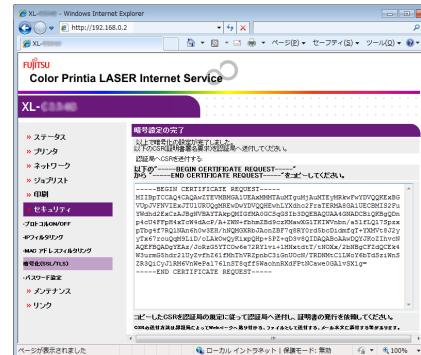


以上で自己署名証明書の作成は完了です。

認証局証明書の場合、続いて次の手順が必要です。

⑩ CSRを取り出し認証局へ送付します。(認証局証明書の場合)

注! テキストボックス内の「---- BEGIN CERTIFICATE REQUEST ----」から「---- END CERTIFICATE REQUEST ----」をコピーしてください。CSRの送付方法は、認証局によってWebページへ貼り付ける、ファイルとして送付する、メール本文に添付するなどがあります。



- ⑪ 認証局から発行された証明書を(Webを使用して)インストールします。(認証局証明書の場合)



手順①～⑥に従い、「暗号化(SSL/TLS)設定」ウィンドウを表示します。

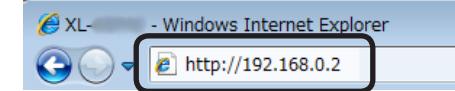
発行された証明書の「----- BEGIN CERTIFICATE -----」から「----- END CERTIFICATE -----」までをテキストボックスへ貼り付け、「送信」をクリックします。

これで認証局証明書の作成は完了です。

使用方法

Web ページからの設定

- ① Web ブラウザーを起動し、アドレスに「https:// プリンタの IP アドレス」と入力し、接続します。



印刷 (IPP 印刷)

環境

使用可能な OS Windows 7, Windows Vista, Windows Server 2008, Windows XP, Windows Server 2003

① コンピューターの電源を ON にし Windows を起動します。

工場出荷時の設定では、IPP は無効になっています。

注! IPP で印刷を行うためには、「Color Printia LASER InternetService」(25 ページ) を起動し、ネットワークタブの [IPP] (30 ページ) の設定を行ってください。

② プリンタを追加します。

⟨Windows 7 の場合⟩

[スタート] - [デバイスとプリンター] をクリックします。

[プリンターの追加] をクリックします。

⟨Windows Vista/Windows Server 2008 の場合⟩

[スタート] - [コントロールパネル] - [プリンタ] をクリックします。[プリンタのインストール] をクリックします。

⟨Windows XP の場合⟩

[スタート] - [コントロールパネル] を選択し、[プリンタとその他のハードウェア] をクリックします。

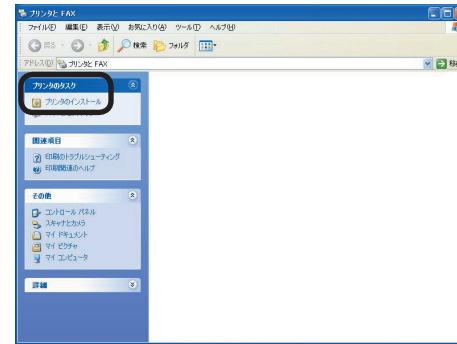
[コントロールパネルを選んで実行します] の [プリンタと FAX] をクリックします。

[プリンタのタスク] - [プリンタのインストール] をクリックします。

⟨Windows Server 2003 の場合⟩

[スタート] - [プリンタと FAX] をクリックします。

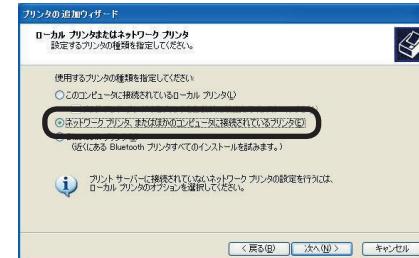
[プリンタの追加] をダブルクリックします。



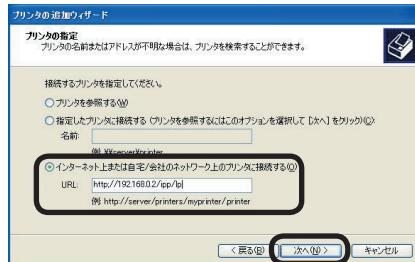
③ 「プリンタの追加ウィザード」 ウィンドウで、[次へ] をクリックします。

④ [ネットワークプリンタまたは他のコンピュータに接続されているプリンタ] を選択し、[次へ] をクリックします。

メモ [プラグアンドプレイ対応プリンタを自動的に検出してインストールする] のチェックは外してください。



- ⑤ [インターネット上または自宅／会社のネットワーク上のプリンタに接続する] を選択し、URL の設定を `https://` プリンタの IP アドレス /ipp または `https://` プリンタの IP アドレス /ipp/lp と入力し、[次へ] をクリックします。



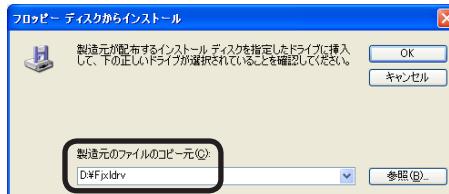
- ⑥ [ディスク使用] をクリックします。



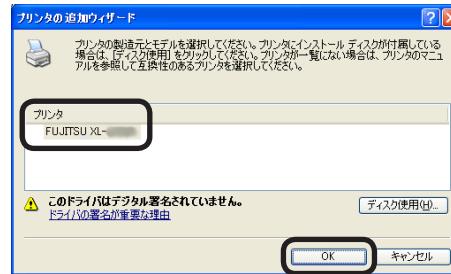
- ⑦ 「ソフトウェア CD-ROM」をセットします。

- ⑧ [製造元のファイルのコピー元] に次のように入力し、[OK] をクリックします。

ここでは CD-ROM ドライブが D: の場合を例にしています。
D:¥Fjxldr



- ⑨ プリンタ名を選択し、[OK] をクリックします。



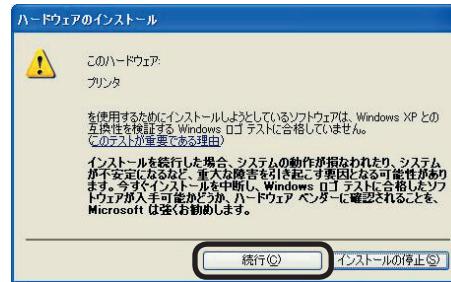
- ⑩ プリンタ名を確認し、通常使うプリンタで[はい]を選択し、[次へ]をクリックします。

メモ 「プリンタ共有」ウィンドウが表示されたら、[このプリンタを共有しない]を選択し、[次へ]をクリックします。

- ⑪ [テストページを印刷しますか?]で[いいえ]を選択し、[次へ]をクリックします。

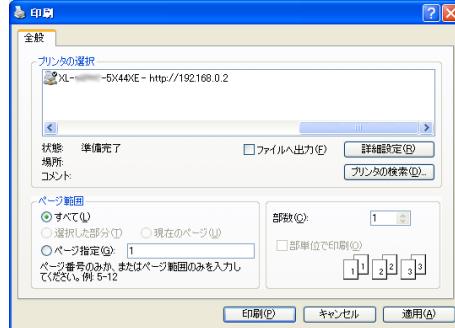
- ⑫ [完了] をクリックします。

- ⑬ 「ハードウェアのインストール」ウィンドウが表示されたら、[続行] をクリックします。



ファイルのコピーが開始されます。

- 14 プリンタアイコンを選択し、右クリックでプロパティを開きます。[テストページの印刷] をクリックします。
テストページが印刷されたら、セットアップは完了です。
印刷したいファイルを開きます。
- 15 [ファイル] - [印刷] を選択し、作成した IPP プリンタを指定して印刷を行います。





IP アドレスでのアクセス制限機能 (IP フィルタ) を使います

プリンタへのアクセスを IP アドレスを用いて管理できます。

Web ブラウザーで設定ができます。



- ・プリンタの初期設定では、「IP フィルタ」が「無効」に設定されています。
- ・IP アドレスの入力を間違えると、IP プロトコルを用いてプリンタへアクセスできなくなります。充分注意して設定してください。

次の説明は、下記の環境を例にしています。

プリンタ : XL-C2340

プリンタの IP アドレス : 192.168.0.2

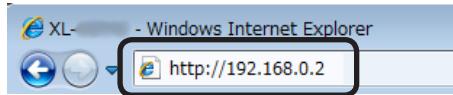
Web ブラウザー : Microsoft Internet Explorer Ver.8

6

起動と設定方法

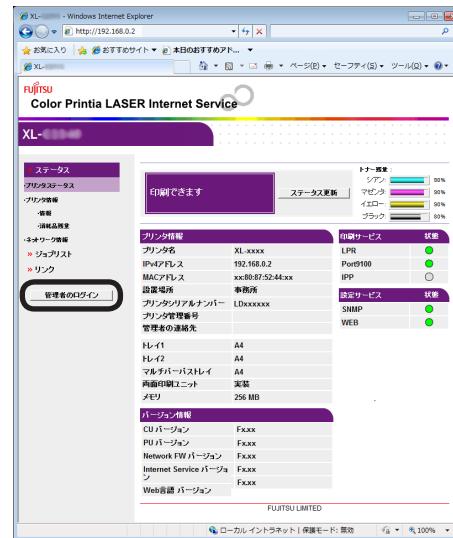
① Web ブラウザーを起動します。

② [アドレス] に URL 「http:// プリンタの IP アドレス」を入力し、Enter キーを押します。



「プリンタステータス」ウィンドウが表示されます。

③ [管理者のログイン] をクリックします。

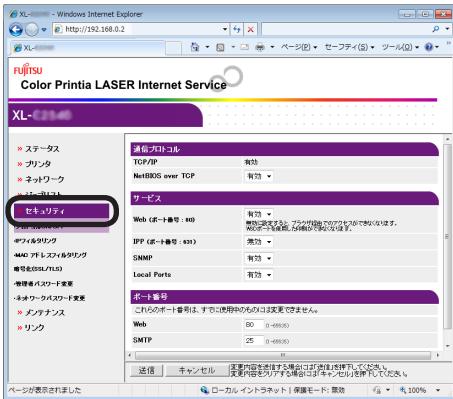


④ [ユーザー名] に「xladmin」、[パスワード] に現在のパスワードを入力し、[OK] をクリックします。



パスワードの初期値は「PrintiaLaser」です。

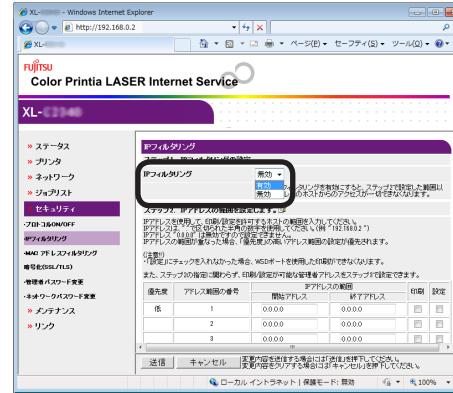
⑤ [セキュリティ] をクリックします。



⑥ [IP フィルタリング] をクリックします。



⑦ 「ステップ1」で、「IP フィルタリングの設定」を「有効」にします。

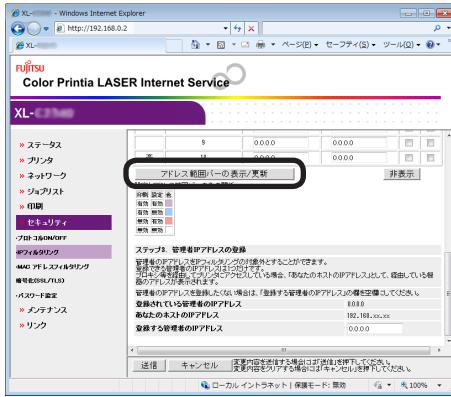


注! IP フィルタリングを「有効」にすると、「ステップ2」で設定した範囲以外の IP アドレスのホストからのアクセスが一切できなくなります。

⑧ 「ステップ2」で、IP アドレスの範囲を設定します。

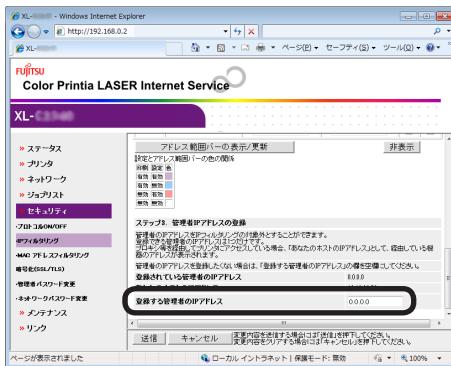
- 注!
 - IP アドレスを使用して、印刷 / 設定を許可するホストの範囲を入力してください。
 - IP アドレスは、“.” で区切られた半角の数字を使用してください。
 - IP アドレス 0.0.0.0 を入力すると、無効になります。
 - IP アドレスの範囲が重なった場合、「優先度」の高いアドレス範囲の設定が優先されます。
 - ステップ2の指定にかかわらず、印刷 / 設定が可能な管理者アドレスをステップ3で設定できます。

⑨ [アドレス範囲バーの表示 / 更新] ボタンをクリックします。



IP アドレスの範囲を、修正したい場合は、該当する IP アドレスを入力し直し、再度、[アドレス範囲バーの表示 / 更新] をクリックしてください。

⑩ 「ステップ3」で、「登録する管理者の IP アドレス」の値を設定します。

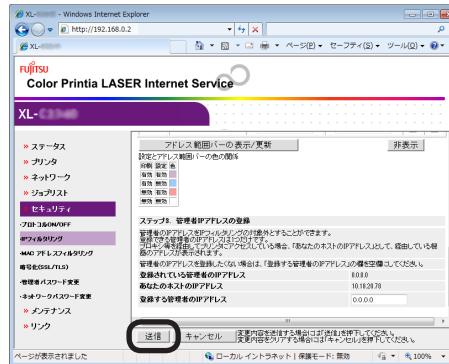


「登録する管理者の IP アドレス」に管理者の IP アドレスを入力することにより、万一「ステップ2」で誤った設定を行ってしまった場合でも、管理者は「登録する管理者の IP アドレス」で設定した IP アドレスのホストから再設定することができます。



- ・プロキシなどを経由してプリンタにアクセスしている場合、「あなたのホスト IP アドレス」として、経由している機器のアドレスが表示されます。したがって、あなたのホストのアドレスと表示されている「あなたのホストの IP アドレス」が異なる場合があります。
- ・「管理者 IP アドレス」として何も登録しない場合は、ステップ2の設定によっては、プリンタにまったくアクセスできなくなることがあります。
- ・管理者の IP アドレスを登録したくない場合は、「登録する管理者の IP アドレス」の欄を空欄にしてください。

⑪ 「送信」をクリックします。



⑫ プリンタに設定値が保存され、ネットワーク機能が再起動します。

MAC アドレスでのアクセス制限機能を使います

プリンタへのアクセスを MAC アドレスを用いて管理できます。

Web ブラウザーで設定ができます。

注! MAC アドレスの入力を間違えると、ネットワークを用いてプリンタへアクセスできなくなります。充分注意して設定してください。

次の説明は、下記の環境を例にしています。

プリンタ : XL-C2340

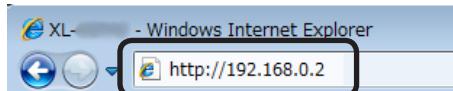
プリンタの IP アドレス : 192.168.0.2

Web ブラウザー : Microsoft Internet Explorer Ver.8

起動と設定方法

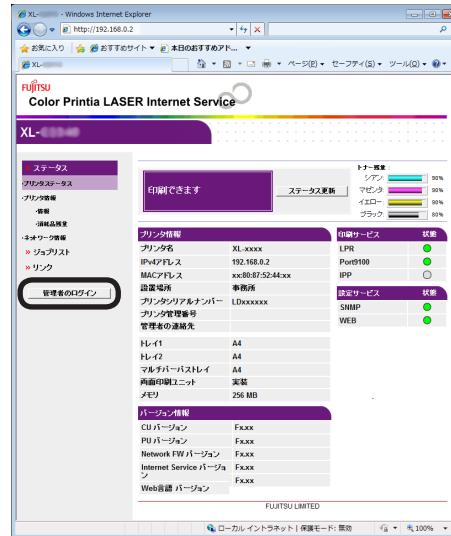
① Web ブラウザーを起動します。

② [アドレス] に [http:// プリンタの IP アドレス] を入力し、Enter キーを押します。



「プリンタステータス」ウィンドウが表示されます。

③ [管理者のログイン] をクリックします。



④ [ユーザー名] に「xadmin」、[パスワード] に現在のパスワードを入力し [OK] をクリックします。

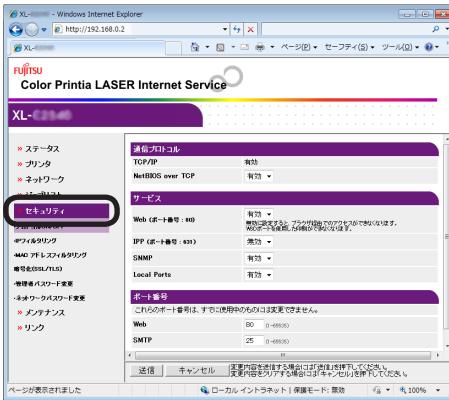


メモ

パスワードの初期値は「PrintiaLaser」です。

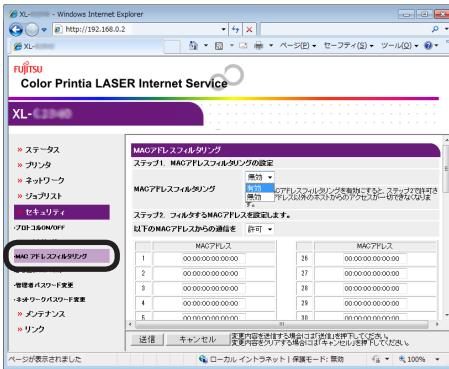
6

⑤ [セキュリティ] をクリックします。



6

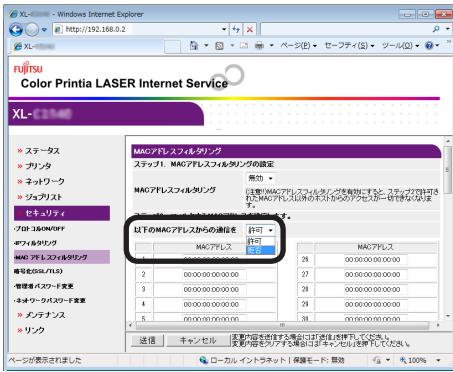
⑥ [MAC アドレスフィルタリング] をクリックします。



⑦ [ステップ 1] で [MAC アドレスフィルタリングの設定] を「有効」にします。

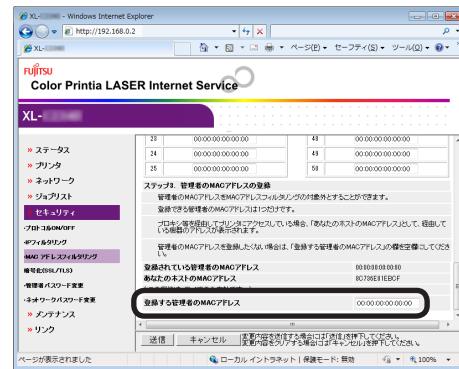


- ⑧「ステップ2」で特定のMACアドレスからの通信を「許可（拒否）」するかどうかを選択します。



- MACアドレスを使用して通信を許可（拒否）するホストのMACアドレスを入力してください。
- MACアドレスは、“:”で区切られた半角の数字を使用してください。
- ステップ2の指定にかかわらず、通信が可能な管理者アドレスをステップ3で設定できます。

- ⑨「ステップ3」で、「登録する管理者のMACアドレス」の値を設定します。

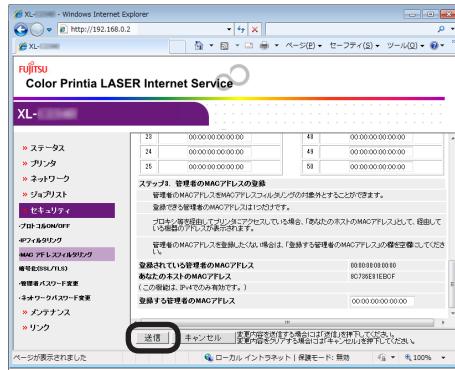


「登録する管理者のMACアドレス」に管理者のMACアドレスを入力することにより、万一「ステップ2」で誤った設定を行ってしまった場合でも、管理者は「登録する管理者のMACアドレス」で設定したMACアドレスのホストから再設定することができます。



- プロキシなどを経由してプリンタにアクセスしている場合、「あなたのホストのMACアドレス」として、経由している機器のアドレスが表示されます。したがって、あなたのホストのアドレスと表示されている「あなたのホストのMACアドレス」が異なる場合があります。
- 「管理者MACアドレス」として何も登録しない場合は、ステップ2の設定によっては、プリンタにまったくアクセスできなくなることがあります。
- 管理者のMACアドレスを登録したくない場合は、「登録する管理者のMACアドレス」の欄を 00:00:00:00:00:00 にしてください。

⑩「送信」をクリックします。



⑪ プリンタに設定値が保存され、ネットワーク機能が再起動します。

メール送信機能（SMTP）を使います

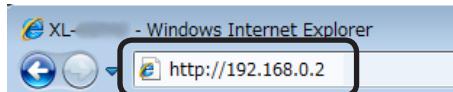
メール送信機能（SMTP）を実装しています。プリンタにエラーが発生した場合、メールを送信することができます。定期的にエラーが発生しているかどうかを送信する設定と、エラーが発生した時点でメールを送信する設定とを選択することができます。Web ブラウザーで設定ができます。

次の説明は、下記の環境を例にしています。

プリンタ : XL-C2340
プリンタの IP アドレス : 192.168.0.2
Web ブラウザー : Microsoft Internet Explorer Ver.8

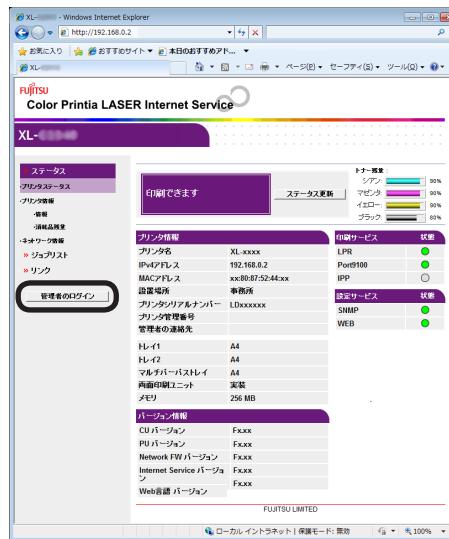
電子メール送信の設定をします

- 1 Web ブラウザーを起動します。
- 2 [アドレス] に URL 「http:// プリンタの IP アドレス」を入力し、Enter キーを押します。
ここでは、プリンタの IP アドレスが 192.168.0.2 の場合を例にしています。



「プリンタステータス」 ウィンドウが表示されます。

- 3 [管理者のログイン] をクリックします。



- 4 [ユーザー名] に「xladmin」、[パスワード] に「現在のパスワード」を入力し、[OK] をクリックします。



メモ

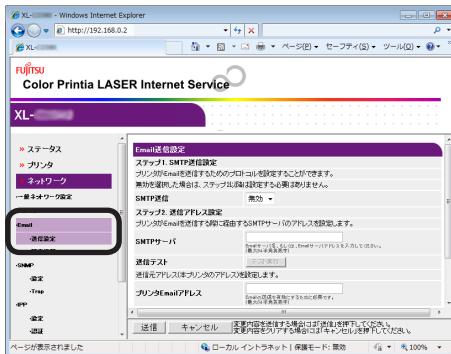
パスワードの初期値は「PrintiaLaser」です。

⑤ [ネットワーク] をクリックします。

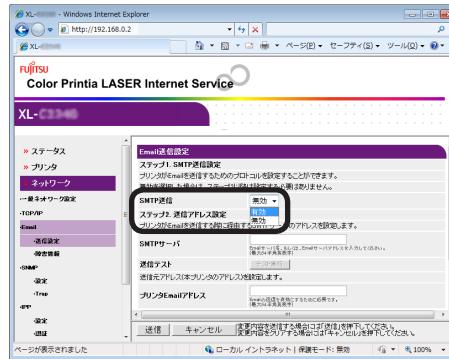


6

⑥ [Email] - [送信設定] をクリックします。



⑦ 「ステップ1」で、「SMTP 送信設定」を「有効」にします。



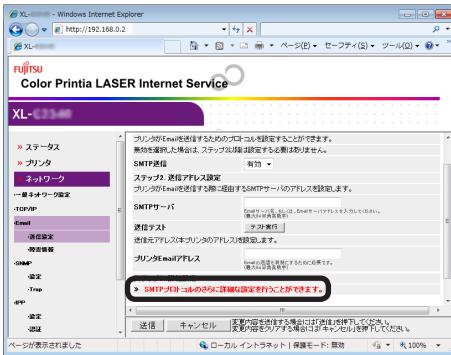
⑧ 「ステップ2」で、送信に必要なアドレスを設定します。

- ① 「SMTP サーバ」に、メールサーバーのドメイン名または IP アドレスを設定します。
- ② 「プリンタ Email アドレス」に、プリンタに与えられたメールアドレスを設定します。
- ③ 「返信先 Email アドレス」に、プリンタから送信されたメールに対する返信用メールアドレスを設定します。通常、プリンタの管理者のメールアドレスを設定してください。



- ・「SMTP サーバ」をドメイン名で設定する場合は、「TCP/IP」設定において、DNS サーバーの設定が必要です。
- ・メールサーバーにはプリンタからのメール送信を許可する設定が必要です。メールサーバーの設定についてはネットワーク管理者にご相談ください。

- ⑨ 以後、さらに詳しい設定をしたい場合は、「ステップ3」で【SMTPプロトコルのさらに詳しい設定を行うことができます。】をクリックします。



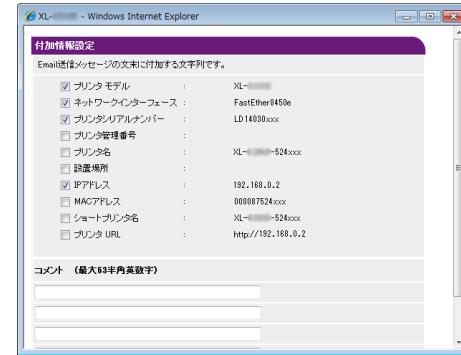
それ以外の場合は⑩へ進みます。

- ⑩ [セキュリティ設定] をクリックします。
次の画面が表示されます。



- ⑪ 「SMTP認証」を「有効」にします。
⑫ 「UserID」を入力します。
⑬ 「パスワード*」を入力します。
⑭ 「注!」 「UserID」と「パスワード」を間違えると、メール送信機能が正常に働きません。注意してください。
⑮ [OK] をクリックします。

- ⑯ [付加情報設定] をクリックします。
次の画面が表示されます。



- ⑯ Email送信メッセージの文末に追加したい情報を選択または入力します。
⑰ [OK] をクリックします。
⑱ [その他] をクリックします。
⑲ 「返信先Emailアドレス」に、プリンタから送信されたメールに対する返信用メールアドレスを設定します。通常、プリンタの管理者のメールアドレスを設定してください。



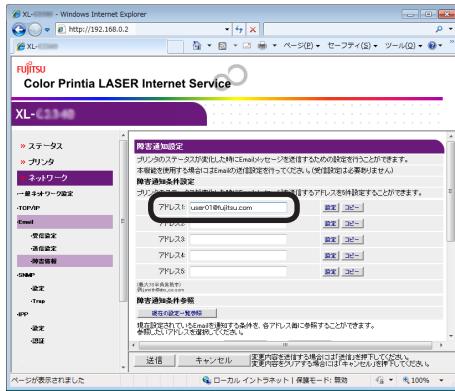
- ⑳ [OK] をクリックします。
㉑ 「送信」をクリックします。
㉒ プリンタに設定値が保存され、ネットワーク機能が再起動します。
メモ 認証方式はメールサーバーのサポートしている認証方式の中から自動的に選択されます。

発生した障害を定期的に通知します

- ① [Email] - [障害情報] をクリックします。



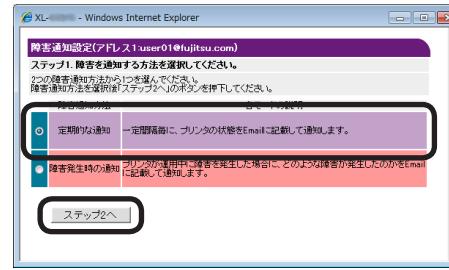
- ② 障害通知先のメールアドレスを入力します。



- ③ 設定したメールアドレスの [設定] ボタンをクリックします。

メモ [コピー] ボタンをクリックすると、障害通知条件の設定を他の宛先にコピーすることができます。複数の宛先に同じような障害通知条件を設定する場合に便利です。

- ④ 「定期的な通知」にチェックを付け、「ステップ2へ」をクリックします。



- ⑤ [障害通知間隔設定] でメールを送信する間隔を設定します。



メモ 期間内に通知対象のエラーが発生しなかった場合は、メールの送信は行われません。

⑥ [障害通知条件設定] で通知対象のエラー種別にチェックを付けます。



⑦ [OK] をクリックします。

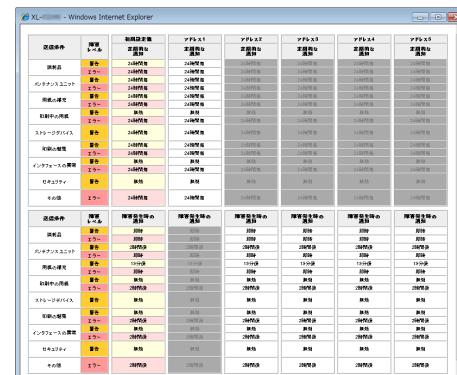
⑧ 障害通知条件の設定内容を確認します。

①一覧表示したい場合

a. [現在の設定一覧参照] ボタンをクリックします。



b. 設定内容を確認し、ウィンドウを閉じます。



②2つの宛先の設定条件を比較したい場合

- リストボックスでそれぞれ比較したい宛先を選択します。
- 表示された設定内容を確認します。

メモ 設定条件比較表内をクリックすることにより、通知条件設定を変更することができます。



⑨「送信」をクリックします。



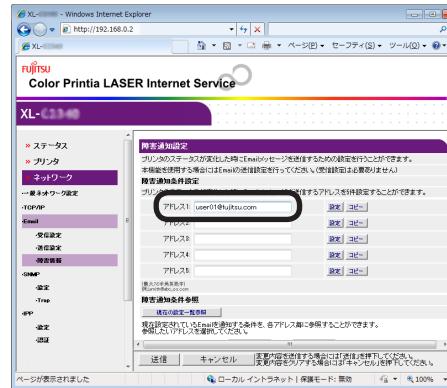
⑩ プリンタに設定値が保存され、ネットワーク機能が再起動します。

障害が発生したことを通知します

① [Email] - [障害情報] をクリックします。



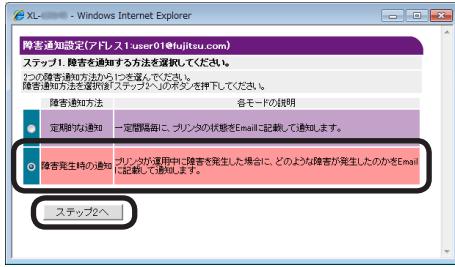
② 障害通知先のメールアドレスを入力します。



③ 設定したメールアドレスの [設定] ボタンをクリックします。

メモ [コピー] ボタンをクリックすると、障害通知条件の設定を他の宛先にコピーすることができます。複数の宛先に同じような障害通知条件を設定する場合に便利です。

④「障害発生時の通知」にチェックを付け、「ステップ2へ」をクリックします。



⑤「障害通知条件設定」で通知対象のエラー種別にチェックを付けます。



⑥ エラーが発生してからメールを送信するまでの遅延時間を設定します。



- メモ
- 遅延時間を設定することにより、長時間発生し続けているエラーだけを通知することができます。
 - 遅延時間を「0時間0分」に設定すると、エラーが発生すると同時にメールが送信されます。

⑦ [OK] をクリックします。

⑧ 障害通知条件の設定内容を確認します。

① 一覧表示したい場合

- [現在の設定一覧参照] ボタンをクリックします。
- 設定内容を確認し、ウィンドウを閉じます。

故障条件	状態	監視対象	監視対象	監視対象	監視対象	監視対象	監視対象
製品	監視	ドライバーコードリストアコードリスト	ドライバーコードリスト	ドライバーコードリスト	ドライバーコードリスト	ドライバーコードリスト	ドライバーコードリスト
メンテナンスユニット	監視	ドライバーコードリストアコードリスト	ドライバーコードリスト	ドライバーコードリスト	ドライバーコードリスト	ドライバーコードリスト	ドライバーコードリスト
用紙の補充	監視	ドライバーコードリストアコードリスト	ドライバーコードリスト	ドライバーコードリスト	ドライバーコードリスト	ドライバーコードリスト	ドライバーコードリスト
印刷中の用紙	監視	ドライバーコードリストアコードリスト	ドライバーコードリスト	ドライバーコードリスト	ドライバーコードリスト	ドライバーコードリスト	ドライバーコードリスト
オフセーブバイス	監視	ドライバーコードリストアコードリスト	ドライバーコードリスト	ドライバーコードリスト	ドライバーコードリスト	ドライバーコードリスト	ドライバーコードリスト
印刷の結果	監視	ドライバーコードリストアコードリスト	ドライバーコードリスト	ドライバーコードリスト	ドライバーコードリスト	ドライバーコードリスト	ドライバーコードリスト
インターフェースの異常	監視	ドライバーコードリストアコードリスト	ドライバーコードリスト	ドライバーコードリスト	ドライバーコードリスト	ドライバーコードリスト	ドライバーコードリスト
セキュリティ	監視	ドライバーコードリストアコードリスト	ドライバーコードリスト	ドライバーコードリスト	ドライバーコードリスト	ドライバーコードリスト	ドライバーコードリスト
その他	監視	ドライバーコードリストアコードリスト	ドライバーコードリスト	ドライバーコードリスト	ドライバーコードリスト	ドライバーコードリスト	ドライバーコードリスト

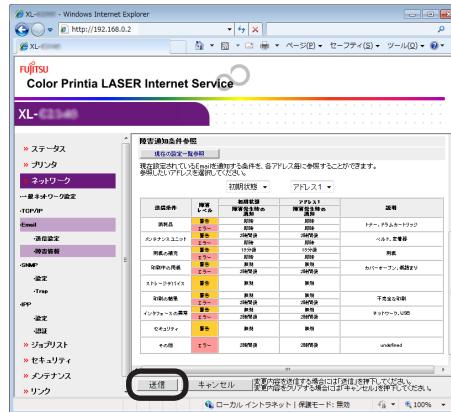
②2つの宛先の設定条件を比較したい場合

- リストボックスでそれぞれ比較したい宛先を選択します。
- 表示された設定内容を確認します。

メモ 設定条件比較表内をクリックすることにより、通知条件設定を変更することができます。



⑨「送信」をクリックします。



⑩ プリンタに設定値が保存され、ネットワーク機能が再起動します。



SNMP を使います

SNMP エージェントを実装しています。市販されている SNMP マネージャでプリンタの設定値の参照・変更をすることができます。SNMP マネージャで参照・変更可能な設定項目は MIB と呼ばれ、XL-C2340 は MIB-II およびプリンタ MIB に対応しています。



IPv6 を使います

IPv6 機能を実装しています。

IPv6 アドレスは自動的に取得されます。IPv6 アドレスの手動設定はできません。

IPv6 では次のプロトコルに対応しています。

印刷 : LPD、Port9100、IPP

設定 : HTTP、SNMPv1

SMTP 送信、IP フィルタリング、WINS 登録、SNMP Trap などは IPv4 にのみ対応しています。



IPv6 アドレスは、Windows 7/Windows Vista/Windows Server 2008 で使用できます。

次の説明は、下記の環境を例にしています。

プリンタ : XL-C2340

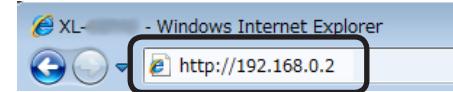
プリンタの IPv4 アドレス : 192.168.0.2

Web ブラウザー : Microsoft Internet Explorer Ver.8

IPv6 の設定をします

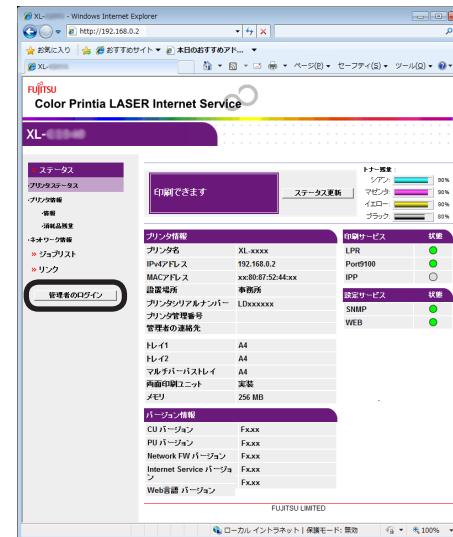
① Web ブラウザーを起動します。

② [アドレス]に[http:// プリンタのIPv4アドレス]を入力し、Enterキーを押します。

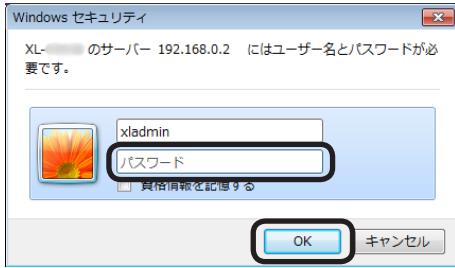


「プリンタステータス」 ウィンドウが表示されます。

③ [管理者のログイン] をクリックします。



- ④ [ユーザー名] に「xladmin」、[パスワード] に [現在のパスワード] を入力し [OK] をクリックします。



メモ パスワードの初期値は「PrintiaLaser」です。

- ⑤ [ネットワーク] タブをクリックします。



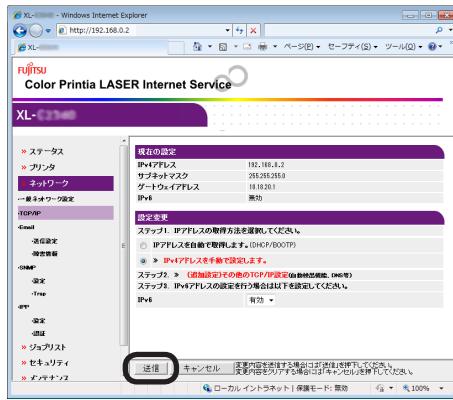
- ⑥ [TCP/IP] をクリックします。



- ⑦ [IPv6] で [有効] を選択します。



⑧「送信」をクリックします。



⑨ プリンタに設定値が保存され、ネットワーク機能が再起動します。

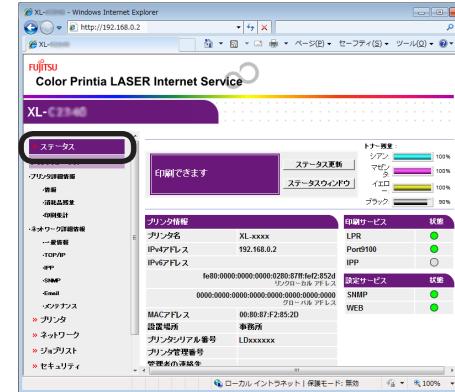
6

IPv6 アドレスを確認します

IPv6 アドレスは自動的に取得されます。

取得された IPv6 アドレスは、Web ブラウザー、ネットワークの設定情報（Network Information）に表示されます。

① [ステータス] タブをクリックします。



② [ネットワーク設定] - [TCP/IP] をクリックします。



④ [ローカルプリンタを追加します] をクリックします。



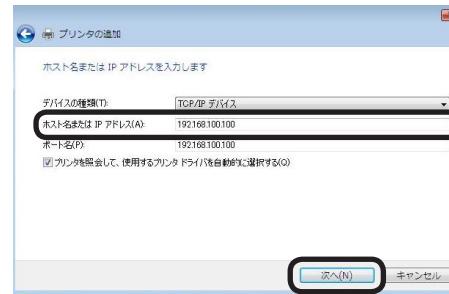
⑤ [新しいポートの作成] を○にし、[ポートの種類] で [Standard TCP/IP Port] を選択し、[次へ] をクリックします。



6

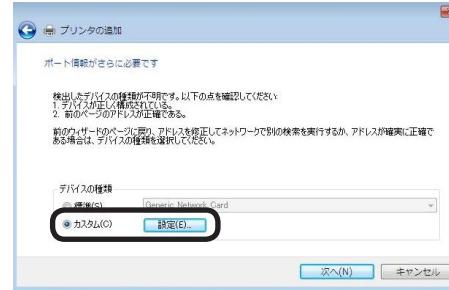
⑥ [ホスト名またはIPアドレス] にプリンタのIPアドレスを入力し、[次へ] をクリックします。

- IPv4 アドレスの例 (プリンタの IPv4 アドレスが 192.168.100.100 の場合)
192.168.100.100
 - IPv6 アドレスの例 (プリンタの IPv6 アドレスが fe80:0000:0000:0000:0280:87ff:fe9b:1234 の場合)
fe80:0280:87ff:fe9b:1234
- IP アドレスを入力すると、「ポート名」にも IP アドレスが自動的に反映されます。



注 IPv6 アドレスは、Windows 7/Windows Vista/Windows Server 2008 でのみ設定できます。

⑦ [カスタム] を選択し、[設定] をクリックします。



⑧ 印刷プロトコルによって、次のように設定します。

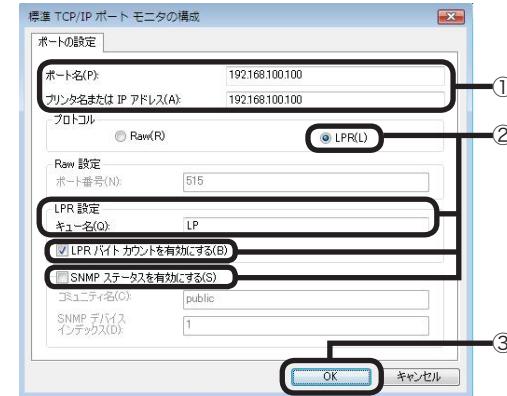
(RAW 印刷の場合)

- ① [ポート名] [プリンタ名または IP アドレス] を確認します。
- ② [プロトコル] を [Raw]、[ポート番号] を [9100]、[SNMP ステータスを有効にする] を にします。
- ③ [OK] をクリックします。



(LPR 印刷の場合)

- ① [ポート名] [プリンタ名または IP アドレス] を確認します。
- ② [プロトコル] を [LPR]、[キュー名] を [LP]、[LPR バイトカウントを有効にする] を 、[SNMP ステータスを有効にする] を にします。
- ③ [OK] をクリックします。



手順⑦の画面に戻ります。

- ⑨ [次へ] をクリックします。
[プリンタドライバのインストール] ウィンドウが表示されます。

⑩ [ディスク使用] をクリックします。

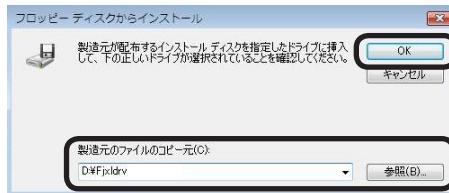


⑪ 「Color Printia LASER プリンタユーティリティ」 CD-ROM をコンピューターにセットします。

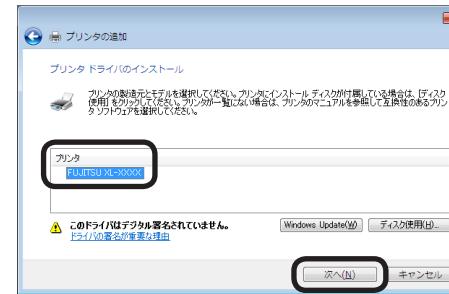
「Color Printia LASER プリンタユーティリティ セットアップ」 ウィンドウが自動的に表示されます。

⑫ メニューから「終了」をクリックします。

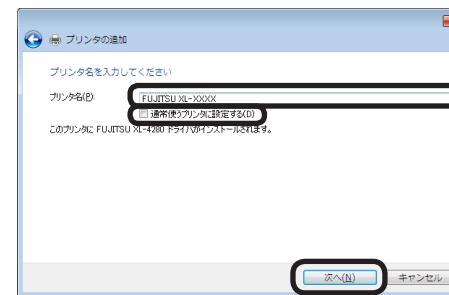
⑬ 「製造元のファイルのコピー元」 に、プリンタドライバが格納されている「D:\FJXLDRV」(CD-ROM ドライブが D: の場合) を入力し、[OK] をクリックします。



⑭ プリンタを選択し、[次へ] をクリックします。



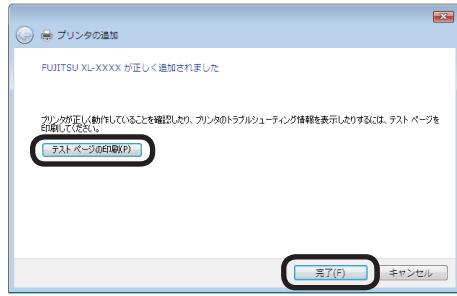
⑮ [プリンタ名] を入力し、通常使うプリンタに設定するかどうかを選択し、[次へ] をクリックします。



16 プリンタを共有するかどうかを設定し、[次へ] をクリックします。



17 テストページを印刷する場合は [テストページの印刷] をクリックし、[完了] をクリックします。



以上で設定は完了です。

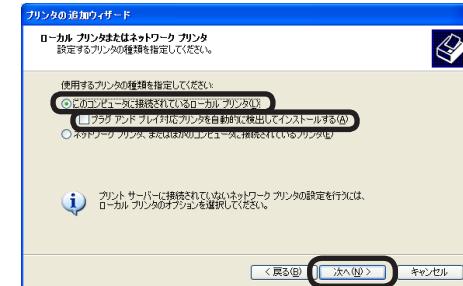
IPv4 アドレス環境の場合は、「Network Extension」をインストールします。インストール方法については、「Network Extension」(22 ページ)をご覧ください。

Windows XP/Windows Server 2003 の場合

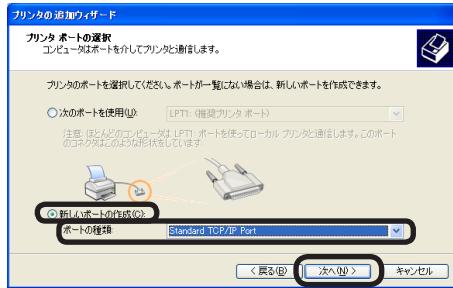
プリンタドライバのインストールとポートの設定を行います。

- ① プリンタの電源を入れます。
- ② 管理者権限をもったユーザーでログオンします。
- ③ 次の手順で、[プリンタの追加] ウィンドウを表示します。
 - ① [スタート] - [プリンタと FAX] の順にクリックします。
 - ② [プリンタのインストール] をクリックします。
- ④ [次へ] をクリックします。

- ⑤ [このコンピュータに接続されているローカルプリンタ] を にし、[プラグアンドプレイ対応プリンタを自動的に検出してインストールする] が になっていることを確認し、[次へ] をクリックします。



- ⑥ [新しいポートの作成] を○にし、[ポートの種類] で [Standard TCP/IP Port] を選択して、[次へ] をクリックします。

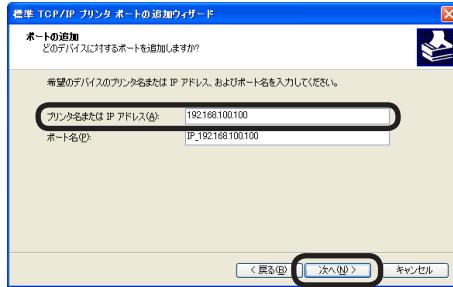


[標準 TCP/IP プリンタポートの追加ウィザード] ウィンドウが表示されます。

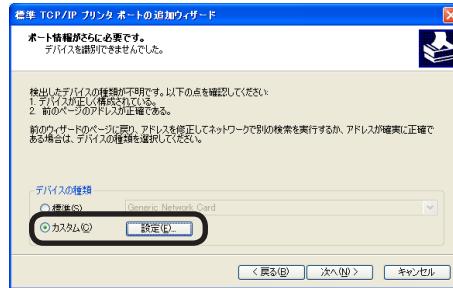
- ⑦ [次へ] をクリックします。

- ⑧ [プリンタ名または IP アドレス] にプリンタの IP アドレスを入力し、[次へ] をクリックします。

IP アドレスを入力すると、[ポート名] にも IP アドレスが自動的に反映されます。



- ⑨ [カスタム] を選択し、[設定] をクリックします。



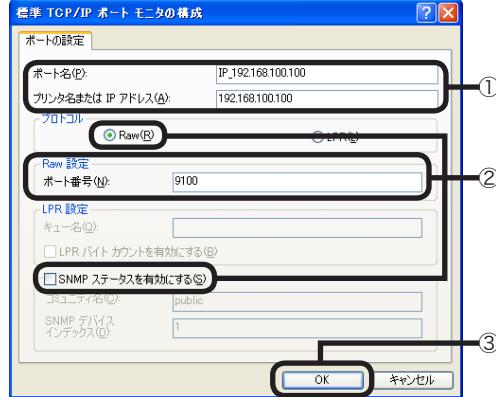
- ⑩ 印刷プロトコルによって、次のように設定します。

(RAW 印刷の場合)

- ① [ポート名] [プリンタ名または IP アドレス] を確認します。

- ② [プロトコル] を [Raw]、[ポート番号] を [9100]、[SNMP ステータスを有効にする] を□にします。

- ③ [OK] をクリックします。



(LPR 印刷の場合)

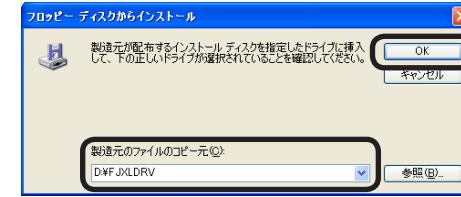
- ① [ポート名] [プリンタ名または IP アドレス] を確認します。
- ② [プロトコル] を [LPR]、[キュー名] を [LP]、[LPR バイトカウントを有効にする] を 、[SNMP ステータスを有効にする] を にします。
- ③ [OK] をクリックします。



手順⑨の画面に戻ります。

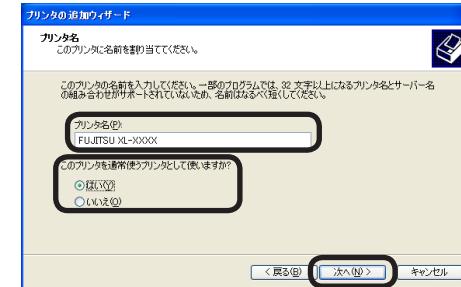
- ⑪ [次へ] をクリックします。
- ⑫ [標準 TCP/IP プリンタポートの追加ウィザードの完了] ウィンドウで、[完了] をクリックします。
- ⑬ [プリンタの追加ウィザード] ウィンドウで、[ディスク使用] をクリックします。
- ⑭ 「Color Printia LASER プリンタユーティリティ」CD-ROM をコンピューターにセットします。
「Color Printia LASER プリンタユーティリティ セットアップ」ウィンドウが自動的に表示されます。
- ⑮ メニューから [終了] をクリックします。

- ⑯ [フロッピーディスクからインストール] ウィンドウで、「製造元のファイルのコピー元」に「D:\\$FJXLDRV」(CD-ROM ドライブが D: の場合) と入力し、[OK] をクリックします。



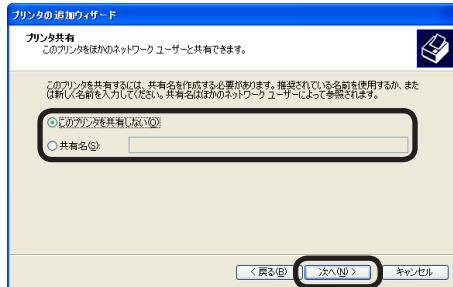
- ⑰ プリンタを選択し、[次へ] をクリックします。

- ⑱ [プリンタ名] を入力し、通常使うプリンタに設定するかどうかを選択し、[次へ] をクリックします。



プリンタドライバを初めてインストールする場合、「このプリンタを通常使うプリンタとして使いますか?」は表示されません。本製品が「通常使うプリンタ」になります。

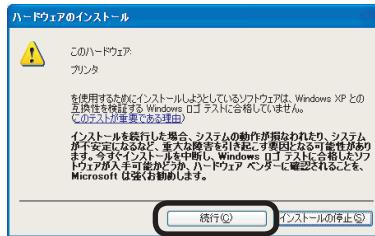
- ⑯ プリンタを共有するかどうかを設定し、[次へ] をクリックします。



- ⑰ テストページの印刷をするかどうかを設定し、[次へ] をクリックします。
ファイルのコピーが開始されます。



- 次のウィンドウが表示された場合は、「続行」をクリックしてください。



- 「ファイルの上書き確認」ウィンドウが表示された場合は、「はい」をクリックしてください。

- ⑱ [完了] をクリックします。

以上で設定は完了です。

次に、「Network Extension」をインストールします。

インストール方法については、「Network Extension」(22 ページ)をご覧ください。

OS 標準のインストーラでインストールします (IPP 印刷)

OS 標準のインストーラを使用して、プリンタドライバをインストールし、IPP 印刷の設定を行います。

なお、プリンタに IP アドレスをまだ設定していない場合は、「IP アドレスを設定します」(ハードウェアガイド)をご覧になり、設定しておいてください。



- 「IPP 印刷」を利用する場合は「Color Printia LASER InternetService (管理者モード)」で「IPP」を【有効】にしておく必要があります(初期値は【無効】です)。
「ネットワーク」-「IPP 設定」を順にクリックし、「IPP」を【有効】に設定してください。
- Windows Server 2008 R2 では、プリンタの追加ウィザードから「ネットワークプリンタを追加します」で共有プリンタの URL を指定して印刷を行う「IPP 印刷」を使用することができません。

Windows 7/Windows Vista/Windows Server (R2 以外) の場合

プリンタドライバのインストールとポートの設定を行います。

- ① プリンタの電源を入れます。
- ② 管理者権限をもったユーザーでログオンします。
- ③ 次の手順で、[プリンタの追加] ウィンドウを表示します。

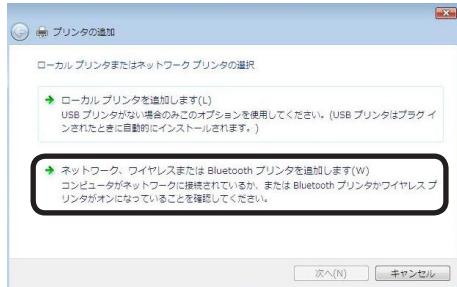
(Windows 7 の場合)

- ① [スタート] - [デバイスとプリンター] の順にクリックします。
- ② [プリンターの追加] をクリックします。

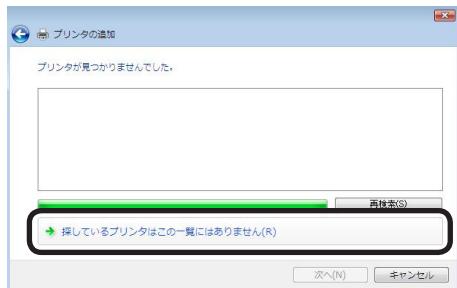
(Windows Vista/Windows Server 2008 (R2 以外) の場合)

- ① [スタート] ボタンまたは [スタート] - [コントロールパネル] の順にクリックします。
- ② [ハードウェアとサウンド] の [プリンタ] をクリックします。
- ③ [プリンタのインストール] をクリックします。

- ④ [ネットワーク、ワイヤレスまたはBluetooth プリンタを追加します] をクリックします。



- ⑤ [探しているプリンタはこの一覧にはありません] をクリックします。



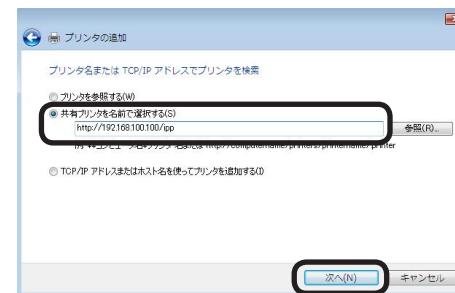
- ⑥ [共有プリンタを名前で選択する] を選択して [URL] に次のように URL を入力して、[次へ] をクリックします。

・ IPv4 の場合

http:// [プリンタの IP アドレス] /ipp
(例 : http://192.168.100.100/ipp)

・ IPv6 の場合

http:// [[プリンタの IP アドレス]] /ipp
(例 : http://[fe80::0280:87ff:fe9b:49d9]/ipp)



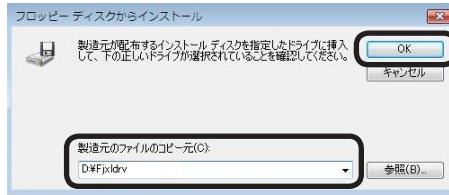
メモ

- ・ IPv6 アドレスは、Windows 7/Windows Vista/Windows Server 2008 で設定できます。
- ・ プリンタに DNS 設定がされていれば、IP アドレスの代わりにホスト名を入力することもできます。

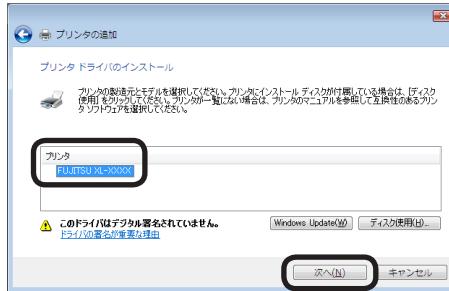
- ⑦ [ディスク使用] をクリックします。



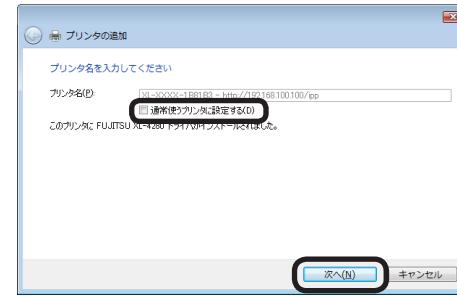
- ⑧ 「Color Printia LASER プリンタユーティリティ」 CD-ROM をコンピューターにセットします。
 「Color Printia LASER プリンタユーティリティ セットアップ」 ウィンドウが自動的に表示されます。
- ⑨ メニューから [終了] をクリックします。
- ⑩ [製造元のファイルのコピー元] に、プリンタドライバが格納されている 「D:\FJXLDRV」 (CD-ROM ドライブが D: の場合) を入力し、[OK] をクリックします。



- ⑪ プリンタを選択し、[次へ] をクリックします。



- ⑫ 通常使うプリンタに設定するかどうかを選択し、[次へ] をクリックします。



- ⑬ テストページを印刷する場合は [テストページの印刷] をクリックし、[完了] をクリックします。



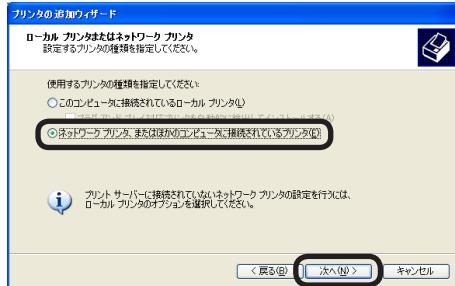
以上で設定は完了です。

IPv4 アドレス環境の場合は、「Network Extension」をインストールします。
 インストール方法については、「Network Extension」(22 ページ) をご覧ください。

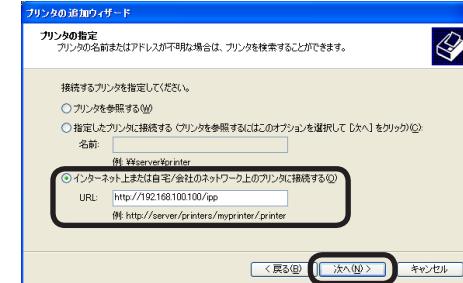
Windows XP/Windows Server 2003 の場合

プリンタドライバのインストールとポートの設定を行います。

- ① プリンタの電源を入れます。
- ② 管理者権限をもったユーザーでログオンします。
- ③ 次の手順で、[プリンタの追加] ウィンドウを表示します。
 - ① [スタート] - [プリンタと FAX] の順にクリックします。
 - ② [プリンタのインストール] をクリックします。
- ④ [次へ] をクリックします。
- ⑤ [ネットワークプリンタ、または他のコンピュータに接続されているプリンタ] を①にし、[次へ] をクリックします。

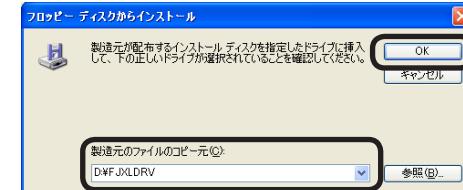


- ⑥ [インターネット上または自宅 / 会社のネットワーク上のプリンタに接続する] を選択し、[URL] に次のように URL を入力して、[次へ] をクリックします。
http:// [プリンタの IP アドレス] /ipp (例: http://192.168.100.100/ipp)



メモ プリンタに DNS 設定がされていれば、IP アドレスの代わりにホスト名を入力することもできます。

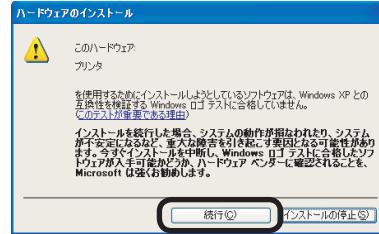
- ⑦ [プリンタの追加ウィザード] ウィンドウで、[ディスク使用] をクリックします。
- ⑧ 「Color Printia LASER プリンタユーティリティ」CD-ROM をコンピューターにセットします。
「Color Printia LASER プリンタユーティリティ セットアップ」ウィンドウが自動的に表示されます。
- ⑨ メニューから [終了] をクリックします。
- ⑩ [フロッピーディスクからインストール] ウィンドウで、[製造元のファイルのコピー元] に「D:¥FJXLDVR」(CD-ROM ドライブが D: の場合) と入力し、[OK] をクリックします。



⑪ プリンタを選択し、[OK] をクリックします。

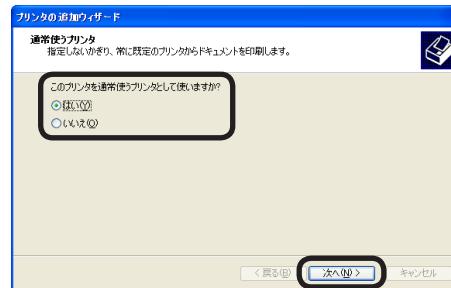


・次のウィンドウが表示された場合は、「続行」をクリックしてください。



・「ファイルの上書き確認」ウィンドウが表示された場合は、「はい」をクリックしてください。

⑫ 通常使うプリンタに設定するかどうかを選択し、[次へ] をクリックします。



⑬ [完了] をクリックします。

以上で設定は完了です。

次に、「Network Extension」をインストールします。

インストール方法については、「Network Extension」(22 ページ)をご覧ください。

7

困ったときには

Windows から印刷できない	160
ネットワーク経由で印刷できない	161
プリンタドライバを削除するには	162
プリンタドライバを更新するには	166
プリンタドライバのバージョンを確認するには	168
Windows 7/Windows Vista/ Windows Server 2008 に関する制限事項	169
Windows XP Service Pack2/ Windows Server 2003 Service Pack1 に関する制限事項	170



Windows から印刷できない



アプリケーションに関する問題については、各アプリケーションの発売元へお問い合わせください。

印刷できない

- プリンタの電源が OFF になって プリンタの電源を ON にしてください。(セットアップ編)
- [オフライン] になっています。 ○「オンライン」ボタンを押して [印刷できます] にしてください。
- プリンタケーブルが外れています。 プリンタケーブルを差し込んでください。
- プリンタケーブルに問題があります。 予備のプリンタケーブルがあれば取り替えてみてください。
- 切替器、バッファー、延長ケーブル、USB ハブを使用しています。 プリンタとコンピューターを直接接続してみてください。
- プリンタドライバの出力ポートが 間違っています。 プリンタケーブルを接続した出力ポートを指定してください。
- 他のインターフェースからの印刷を処理しています。 処理が完了するまでお待ちください。
- プリンタドライバが「通常使うプリンタ」になっていません。 [通常使うプリンタ] にしてください。
- USB で動作する他のプリンタドライバがインストールされています。 他のプリンタドライバを削除してみてください。
- LCD 表示が「無効なデータを受信しました／オンラインボタンを押してください」と表示され印刷しません。 プリンタのメニュー設定で「タイムアウト印刷」の設定値を長くしてみてください。
- USB 接続でプリンタアイコンが [オフライン] になっています。 プリンタアイコンを右クリックして [プリンタをオフラインにする] のチェックを外してください。

メモリ不足になる。

- 複数のアプリケーションを同時に 使用していないアプリケーションを終了してください。起動してます。

印刷が遅い。

印刷処理をコンピューター側でも 処理速度の速いコンピューターを使用してください。行っています。

[印刷オプション] の [高精細] を プリンタドライバの [印刷オプション] で [きれい] 選択しています。または [ふつう] を指定してください。

印刷データが複雑です。 印刷データを簡単にしてください。

ネットワーク接続でセットアップできない。印刷できない。

セットアップ、印刷方法などに問 「ネットワーク経由で印刷できない」(161 ページ)をご覧ください。



ネットワーク経由で印刷できない

ユーザリティ

- Web ブラウザーでプリンタを検出できるか確認します。確認方法は「Color Printia LASER InternetService」(25ページ)の「起動します」をご覧ください。
- ping でプリンタを検出できるか確認します。Windows のコマンドプロンプト (MS-DOS プロンプト) で「ping xxx.xxx.xxx.xxx」(xxx.xxx.xxx.xxx はプリンタの IP アドレス) と入力し、Enter キーを押します。



プリンタドライバを削除するには

他のWindowsで本製品を使用していて、プリンタドライバを削除せずにWindowsをアップグレードしたときや、プリンタを使用しなくなったときは、次の手順でプリンタドライバを削除します。

アンインストーラを使用せずにプリンタフォルダーから削除する方法と、アンインストーラを使用する方法があります。

アンインストーラを使用する場合は、プリンタに添付のCD-ROM「Color Printia LASER プリンタユーティリティ」または富士通製品情報ページ(<http://www.fmworld.net/biz/printer/>)からダウンロードしたプリンタドライバが必要です。

アンインストーラを使用して削除する場合



コンピューターの管理者の権限が必要です。

① プリンタに添付のCD-ROM「Color Printia LASER プリンタユーティリティ」をコンピューターにセットします。

「Color Printia LASER プリンタユーティリティ セットアップ」ウィンドウが自動的に表示されます。

② メニューから「終了」をクリックします。

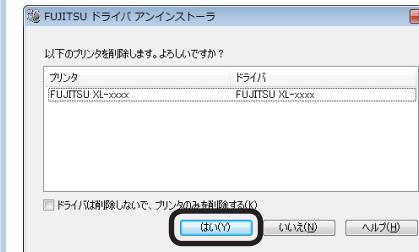
③ 「エクスプローラー」でプリンタドライバが格納されている「D:\drvinst\drvinst\DrvUninst.exe」(CD-ROMドライブがD:の場合)を選択し、ダブルクリックします。



- お使いのOSが64ビット版の場合は「D:\drvinst\drvuninst64\DrvUninst.exe」(CD-ROMドライブがD:の場合)を選択してください。
- Windows 7/Windows Server 2008/Windows Vistaで「ユーザー アカウント制御」ウィンドウが表示されたら、[はい]または[続行]をクリックします。



④ 削除するプリンタを選択し、[削除]をクリックします。

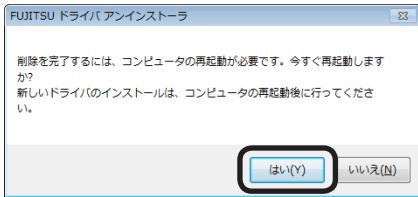


⑤ [はい]をクリックします。
[ドライバは削除しないで、プリンタのみを削除する]を選択すると、プリンタのみ削除されます。



⑥ [プリンタとドライバの削除が完了しました。]と表示されたら、[完了]をクリックします。

再起動を要求するメッセージが表示されます。

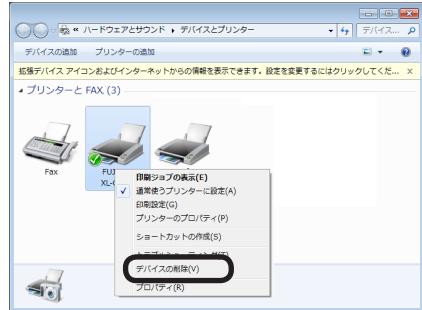


以上で、プリンタドライバの削除は完了です。

⑦ [はい] をクリックして、コンピューターを再起動します。

アンインストーラを使用せずに削除する場合

- 注.・コンピューターの管理者の権限が必要です。
・Windows が起動している場合は再起動してください。



- ❶ Windows 7/Windows Server 2008 R2 では [スタート]-[デバイスとプリンター]を選択します。
Windows Vista/Windows Server 2008 (R2以外) では [スタート]-[コントロールパネル]-[プリンタ] を選択します。
Windows XP では [スタート]-[コントロールパネル]-[プリンタとその他のハードウェア]-[プリンタとFAX]を選択します。
Windows Server 2003では[スタート]-[プリンタとFAX]を選択します。

❷ [FUJITSU XL-C2340]アイコンを右クリックし、[削除]（または [デバイスの削除]）を選択します。

❸ 以降、画面の指示に従います。

❹ Windows 7/Windows Vista/Windows Server 2008をお使いの方は❺へ進みます。
Windows XP/Windows Server 2003をお使いの方は❻へ進みます。



- ⑤ Windows 7/Windows Server 2008 R2 ではプリンターを選択します。

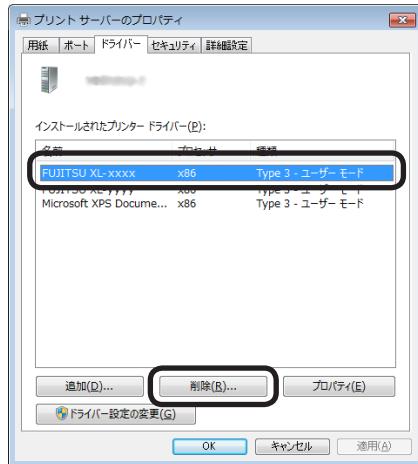
Windows Vista/Windows Server 2008 (R2 以外) ではプリンタアイコンを選択しない (プリンタフォルダーの何もないところ) で、右クリックして、[管理者として実行]-[サーバーのプロパティ] を選択します。

- ⑥ 「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示されたら、[はい] または [続行] をクリックします。

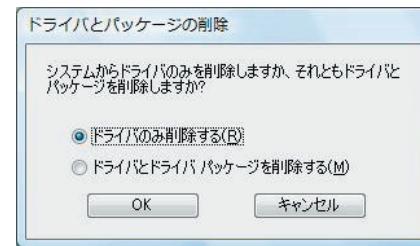
- ⑦ [プリント サーバーのプロパティ] の、[ドライバー] タブを選択します。

- ⑧ [FUJITSU XL-C2340] を選択し、[削除] をクリックします。

注 「指定されたプリンタドライバは現在、使用中です」とのメッセージが表示される場合は、Windows を再起動して、再度プリンタドライバの削除を行ってください。



7



- ⑨ [ドライバとパッケージの削除] が表示されたら、[ドライバとドライバ パッケージを削除する] (または [ドライバーとパッケージ]) を選択して [OK] をクリックします。

- ⑩ 確認のメッセージが表示されたら、[はい] をクリックします。

- ⑪ [ドライバパッケージの削除] が表示されたら、[削除] をクリックします。

- ⑫ 削除が終了したら、[OK] をクリックします。

- ⑬ ⑯へ進みます。



- ⑭ 「プリントと FAX」フォルダーの[ファイル]-[サーバーのプロパティ]を選択します。

- ⑮ [ドライバ] タブで、該当する機種名を選択し、[削除] をクリックします。

- ⑯ [プリントサーバーのプロパティ] で、[閉じる] をクリックします。

- ⑰ Windows を再起動します。



- ・プリンタをプリンタケーブルで接続しているとき、再起動後にプラグアンドプレイによって添付の CD-ROM を挿入するようにメッセージが表示される場合があります。このときは、[キャンセル] をクリックしてください。
- ・プリンタドライバといっしょにインストールされる FUJITSU LPR ユーティリティと Network Extension は、プリンタドライバの削除をしても削除されません。
FUJITSU LPR ユーティリティと Network Extension を削除する場合は、「ソフトウェア」の「FUJITSU LPR ユーティリティ」(11 ページ)、「Network Extension」(22 ページ) をご覧ください。



プリンタドライバを更新するには

プリンタドライバなどのソフトウェアは、今後、機能アップなどのバージョンアップが行われることがあります。

バージョンアップ情報やソフトウェアは、富士通製品情報ページ (<http://www.fmworld.net/biz/printer/>) から入手できます。

プリンタドライバの更新には、すでにインストールされているバージョンより新しいバージョンのプリンタに添付のCD-ROM「Color Printia LASER プリンタユーティリティ」または富士通製品情報ページ (<http://www.fmworld.net/biz/printer/>) からダウンロードしたプリンタドライバが必要です。



コンピューターの管理者の権限が必要です。

- ① プリンタに添付のCD-ROM「Color Printia LASER プリンタユーティリティ」をコンピューターにセットします。
「Color Printia LASER プリンタユーティリティ セットアップ」ウィンドウが自動的に表示されます。



「Color Printia LASER プリンタユーティリティ セットアップ」ウィンドウが自動的に表示されない場合は、「エクスプローラー」などを使用してCD-ROMを開き、一番上の階層にある「XLSTART.EXE」をダブルクリックしてください。「Color Printia LASER プリンタユーティリティ セットアップ」ウィンドウが表示されます。

- ② [自動再生] が表示されたら、[Xlstart.exe の実行] をクリックします。

- ③ [プリンタドライバのインストール] をクリックします。

(Windows 7/Windows Server 2008 R2の場合)

「ユーザー アカウント制御」ウィンドウが表示されたら、[はい] をクリックします。

(Windows Vista/Windows Server 2008 (R2 以外) の場合)

「プログラムを実行するにはあなたの許可が必要です」と表示されたら、[続行] をクリックします。

インストーラが起動し、「ローカル / ネットワーク」ウィンドウが表示されます。

- ④ お使いの環境 (LAN または USB) に合わせ、プリンタドライバのインストールと同じ手順で画面の指示に従ってセットアップします。
詳しくは、「ネットワーク接続で Windows にセットアップします」または「USB 接続で Windows にセットアップします」(ハードウェアガイド) をご覧ください。



USB 接続でプリンタを使用する場合は、セットアッププログラムの「ケーブルの接続」ウィンドウが表示されてから USB ケーブルを接続してください。

「インストールの中断」ウィンドウが表示されます。



- ⑤ 新しいバージョンを確認し、[次へ] をクリックします。



- ⑥ インストールを中断する場合は、
[インストールしない] を選択し、
[次へ] をクリックします。

- ⑦ 以降、プリンタドライバのインストールと同じ手順で画面の指示に従ってセッ
トアップします。
詳しくは、「ネットワーク接続で Windows にセットアップします」または
「USB 接続で Windows にセットアップします」(ハードウェアガイド) をご
覧ください。

以上で、プリンタドライバの更新は完了です。



プリントドライバのバージョンを確認するには

現在、インストールされているプリントドライバのバージョンは、次の方法で確認できます。



- ・コンピューターの管理者の権限が必要です。
- ・Windows が起動されている場合は再起動してください。

① Windows 7/Windows Vista/Windows Server 2008 では [スタート]-[コントロールパネル]-[プリンタ] を選択します。

Windows XP では [スタート]-[コントロールパネル]-[プリンタとその他のハードウェア]-[プリンタと FAX] を選択します。

Windows Server 2003 では [スタート]-[プリンタと FAX] を選択します。



② [Fujitsu XL-C2340] アイコンを右クリックし、[印刷設定] を選択します。

③ [設定] タブの[バージョン情報] をクリックします。



④ 「バージョン情報」 ウィンドウが表示されたら、バージョン情報を控えて[OK]をクリックします。

⑤ 「プリントドライバを削除するには」 (162ページ) に従って、プリントドライバを削除します。

Windows 7/Windows Vista/ Windows Server 2008 に関する制限事項

項目	発生する制限事項	詳細、回避方法
Network Extension	ヘルプが表示されない。	Windows 7/Windows Vista/Windows Server 2008 でのヘルプの表示には対応しておりません。
プリントドライバ カラー調整ユーティリティ 色見本印刷ユーティリティ Network Extension	「ユーザー アカウント制御」 ウィンドウが表示される。	インストーラやユーティリティの起動時などで、「ユーザー アカウント制御」 ウィンドウが表示される場合があります。インストーラやユーティリティを管理者権限で実行するためには必要ですので、[はい] または [続行] をクリックしてください。[キャンセル] をクリックすると、インストーラやユーティリティは起動されません。
カラー調整ユーティリティ 色見本印刷ユーティリティ Network Extension	「プログラム互換性アシスタント」 ウィンドウが表示される。	インストール完了後（インストールを途中で中止した場合も含みます）、「プログラム互換性アシスタント」 ウィンドウが表示された場合は、必ず [このプログラムは正しくインストールされました] をクリックしてください。
Network Extension	「Network Extension のアンインストール中にエラーが発生しました。すでにアンインストールされている可能性があります。[プログラムと機能] の一覧から Network Extension を削除しますか？」 というメッセージが表示される。	アンインストール時、「Install Wizard の完了」 ウィンドウで [はい、今すぐコンピュータを再起動します] を選択し、[完了] をクリックすると、左記のメッセージが表示される場合がありますが、自動的に再起動され、アンインストールが正しく行われますので、問題ありません。



Windows XP Service Pack2/ Windows Server 2003 Service Pack1 に関する制限事項

Windows ファイアウォールの設定による制限事項について

Windows XP Service Pack 2/Windows Server 2003 Service Pack1 セキュリティ強化機能搭載では、Windows ファイアウォールの機能が強化されており、それに伴いプリンタドライバ・ユーティリティに次の制限事項が生じる場合があります。

項目	発生する制限事項	詳細、回避方法
プリンタドライバ 全般	PC ネットワーク共有時、 印刷ができません。	サーバー側で [Windows ファイアウォール] - [例外] を開き、 「ファイルとプリンタの共有」にチェックを入れてください。
FUJITSU LPR ユーティリティ	プリンタ検索が行えませ ん。	ファイアウォールの設定で「例外を許可しない」にチェック がついている場合は、ルーターを超えるセグメントに対して プリンタの検索ができなくなります。同一セグメント内に接 続されたプリンタは問題ありません。プリンタの検索ができ ない場合でも、「プリンタの追加」や「プリンタの再設定」ウ ィンドウで IP アドレスを直接入力することで設定できます。

付 錄

インターフェース仕様172



インターフェース仕様

USB インタフェース仕様

基本仕様

USB (Hi-Speed USB をサポート)

コネクタ

B レセプタクル (メス) アップストリームポート

ケーブル

5m 以下の USB2.0 仕様のケーブル (2m 以下を推奨)
(シールドされているケーブル線を使用してください。)

伝送モード

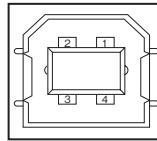
フルスピード (最大 12Mbps \pm 0.25%)

ハイスピード (最大 480Mbps \pm 0.05%)

電力制御

セルフパワーデバイス

コネクタピン配列



インターフェース信号

	信号名	機能
1	Vbus	電源 (+5V)
2	D-	データ転送用
3	D+	データ転送用
4	GND	信号グランド
Shell	Shield	

ネットワークインターフェース仕様

基本仕様

ネットワークプロトコル

TCP/IP 関連

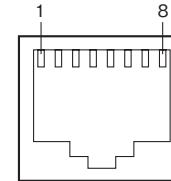
コネクタ

100 BASE-TX / 10 BASE-T (自動切り替え、同時使用不可)

ケーブル

RJ-45 コネクタ付き非シールドツイストペアケーブル (Category 5 推奨)

コネクタピン配列



インターフェース信号

ピン No.	信号名	方 向	機 能
1	TxD+	FROM PRINTER	送信データ +
2	TxD-	FROM PRINTER	送信データ -
3	RxD+	TO PRINTER	受信データ +
4	—	—	使用していません。
5	—	—	使用していません。
6	RxD-	TO PRINTER	受信データ -
7	—	—	使用していません。
8	—	—	使用していません。

**カラーページプリンタ XL-C2340
ソフトウェアガイド**

B5WY-1571-01 Z0-00

発行日 2012年10月

発行責任 富士通株式会社

〒105-7123 東京都港区東新橋 1-5-2 汐留シティセンター

- このマニュアルの内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
- このマニュアルに記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権および
その他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
- 無断転載を禁じます。